SONY®

3-865-327-03 (1)

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Trinitron
WEGA

KV-32DR9
KV-36DR9

© 1998 by Sony Corporation

目次

見る

テレビ/BS放送を見る 4
画質を選ぶ（お好み画質） 6
映像に合ったリアル高画質で見る（DRC-MFモード切換） ... 7
節電しながら見る（消費電力） 8
ワイド画面を楽しむ 9
自動でワイド画面にする（オートワイド） 9
手動でワイド画面に切り換える（速攻ワイド/ワイド切換） ... 10
2画面で見る（2画面） 11
画面サイズを変える（左拡大/右拡大） 11
操作する画面を選ぶ（左操作/右操作） 12
チャンネルを一覧表示する（インデックス） 14
メモするために画面を静止させる（メモ） 15
文字放送を見る 16
「カテゴリ目次」を使って見る（モジネット） 16
好きな文字番組を登録して見る（登録番組） 19
字幕放送を見る（字幕） 21
テレビにつないだ機器の画像を見る 22

調整する／設定する

オートワイドの設定を変える 23
オートワイドの設定について 23
オートワイドを設定する/切る 25
画質を調整する 26
音質を調整する 28
音声を切り換える（二重音声） 29
画面の上下位置/縦サイズを調整する 30
BS放送を録画/予約録画する（BS固定） 31
自動で電源を切る（オフタイマー） 32
時刻を設定し表示する 33

テレビの接続と準備

付属品を確かめる 35
接続と準備の早わかり 36
手順1：テレビアンテナをつなぐ 38
手順2：BSアンテナをつなぐ 40
手順3：チャンネルを設定する 41
自動設定する 41
手動設定する 42
手順4：BS受信の設定をする 44
BSアンテナ電源を設定する 44
BSアンテナの向きを調整する 45
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ（10キー選局）........ 46
画像の傾きを補正する 48

他機との接続

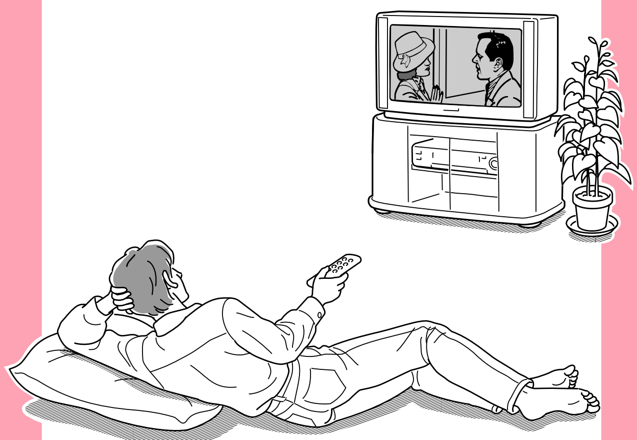
接続端子の名前とはたらき 49
ビデオをつなぐ 51
BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ 54
MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ 56
デジタルCSチューナーをつなぐ 58
テレビゲームをつなぐ 59
DVDプレーヤーをつなぐ 59
オーディオ機器をつなぐ 60

その他

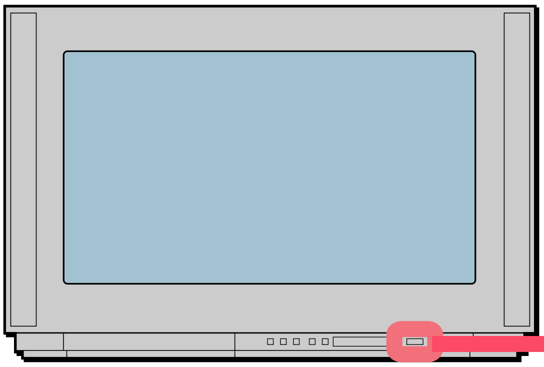
故障かな？と思ったら 61
自己診断表示—画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら 61
本機の症状と対処のしかた 62
ブラウン管表面のお手入れについて 65
保証書とアフターサービス 65
主な仕様 66
用語集 67
各部の名前/Identifying parts and controls 68
メニュー一覧 70
索引 71

見る

ここでは、通常のテレビやBS放送をはじめ、ビデオやテレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
画質を選んだり、節電しながら見たり、ワイド画面や2画面・多画面で見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。
文字放送や字幕放送を見るときの操作も説明しています。



テレビ / BS放送を見る



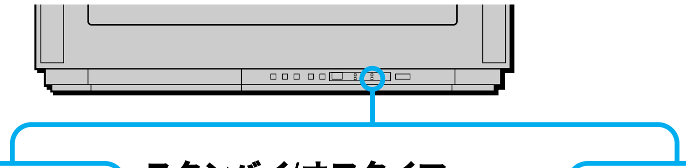
消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

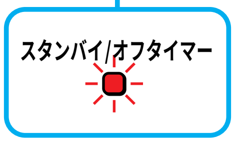
画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。

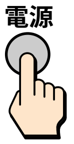
ちょっと一言
- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル＋/－ボタン、インデックスボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能/インデックスポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

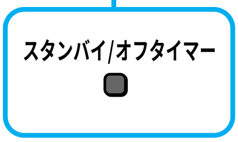
1 テレビの電源を入れる。



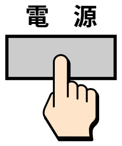


スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。



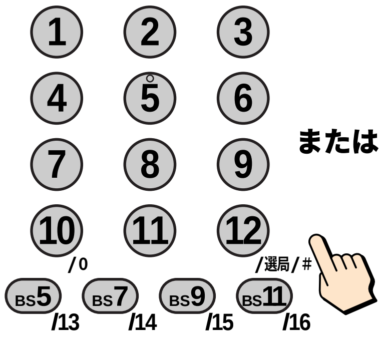


スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

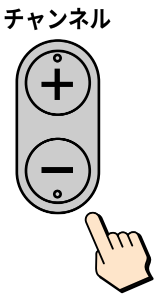


2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル＋/－ボタンでもチャンネルを選べます。



または

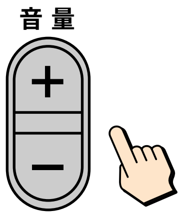


BS放送は以下のチャンネルになります。

見たい放送	押すボタン
WOWOW（BS5）*1	BS5 /13
NHK衛星第一（BS7）	BS7 /14
ハイビジョン放送（BS9）*2	BS9 /15
NHK衛星第二（BS11）	BS11 /16

*1 BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れてください。なお、WOWOWは、別途WOWOWと受信契約し、専用のBSデコーダー（WOWOW）が必要です。
*2 BS9ボタンを押してハイビジョン放送を見るには、別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です（☞56ページ）。通常のテレビ放送（NTSC）と同じ画質で、見ることができます。1998年9月現在、BS9チャンネルで実用化試験局によるハイビジョン放送が行われています。

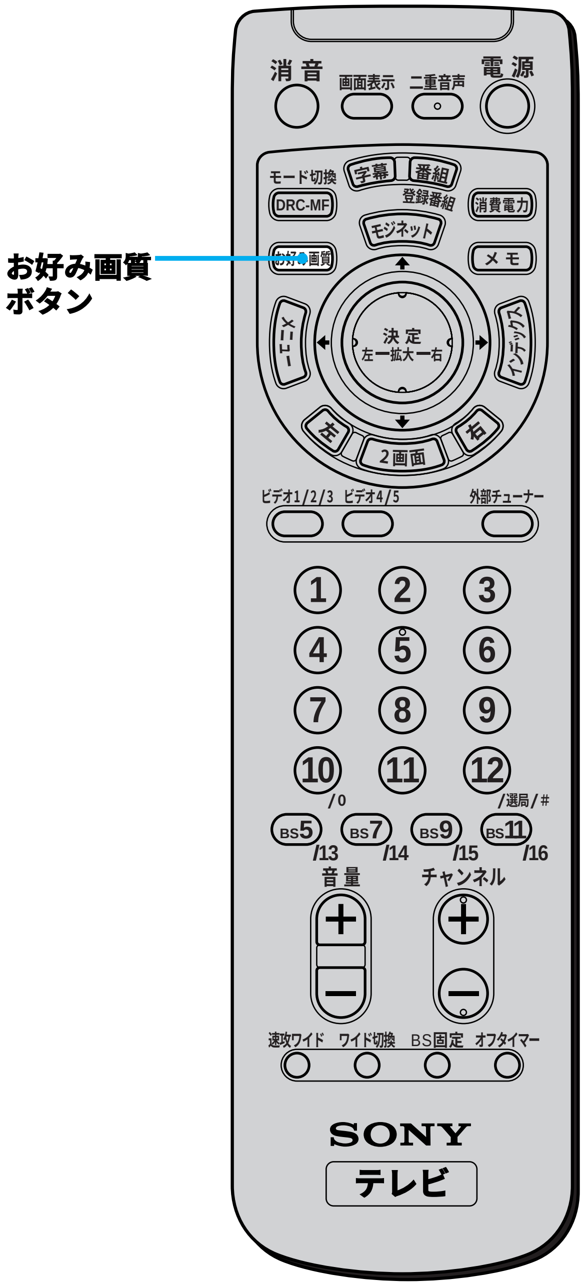
3 音量＋/－ボタンで音量を調節する。



画質を選ぶ

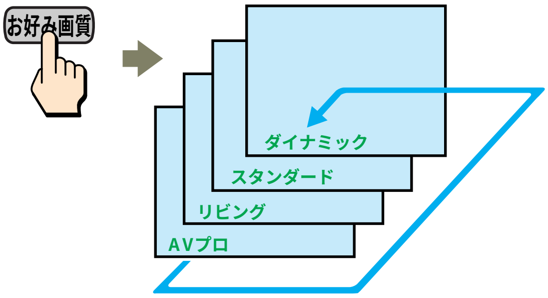
（お好み画質）

お好み画質ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。また、「リビング」や「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます（☞26ページ）。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選び、各調整項目を「標準」にしておくことをおすすめします。



お好み画質ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質設定が表示されます。その後、押すたびに、次のように変わります。



ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い画質になります。

スタンダード
明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある画質になります。

リビング
明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます（☞26ページ）。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある画質になります。

AVプロ
色温度や黒補正など、よりきめ細かな調整ができます（☞26ページ）。「標準」では、コントラストと輪郭強調を抑えて、オリジナルにできるかぎり忠実な、DRC（☞7ページ）の性能をより引き出した画質になります。

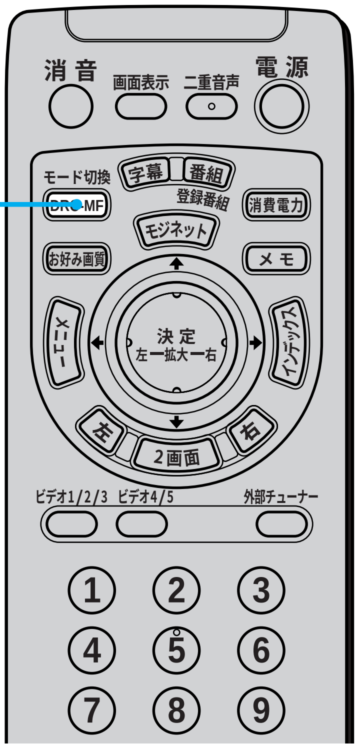
映像に合ったリアル高画質で見る

（DRC-MFモード切換）

本機搭載の高画質回路「DRC-MF」（デジタル・リアリティー・クリエーション:マルチファンクション）で、大画面で気になる画像の粗さをなくし、きめ細かくて質感のあるリアルな画像を楽しめます。
通常ご覧になるときは、お買い上げ時の設定であるDRC4倍密（標準）モードのまま、お楽しみください。よりきめ細かく自然な映像をお楽しみいただけます。静止画の文字などのチラツキが気になるときは、DRCプログレッシブモードに切り換えてください。

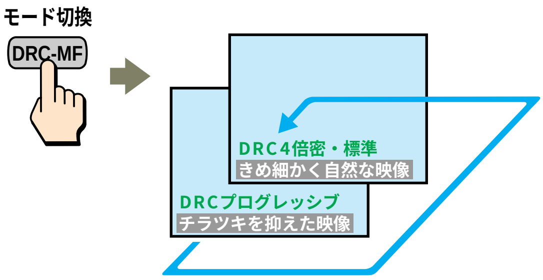
DRC4倍密（標準）モード
走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にするとともに、水平方向の密度も2倍にした4倍密画像です。きめ細かく自然な映像にします。

DRCプログレッシブモード
走査線525本の順次走査（プログレッシブ）を行い、チラツキを抑えた映像にします。



DRC-MF
モード切換
ボタン

DRC-MF**モード切換ボタンをくり返し押す。**



この画像のときは	この画面表示を選ぶ
テレビやBS放送、ビデオなどの一般的な映像を見るとき	
静止画の文字やグラフィックス、細かい横線などが多い映像で、部分的な映像の揺れやチラツキが気になるとき	

ちょっと一言
メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「[icon]」（画質/音質）」から、「DRC-MF」を選び、「DRC4倍密・標準」か「DRCプログレッシブ」を選んでください。

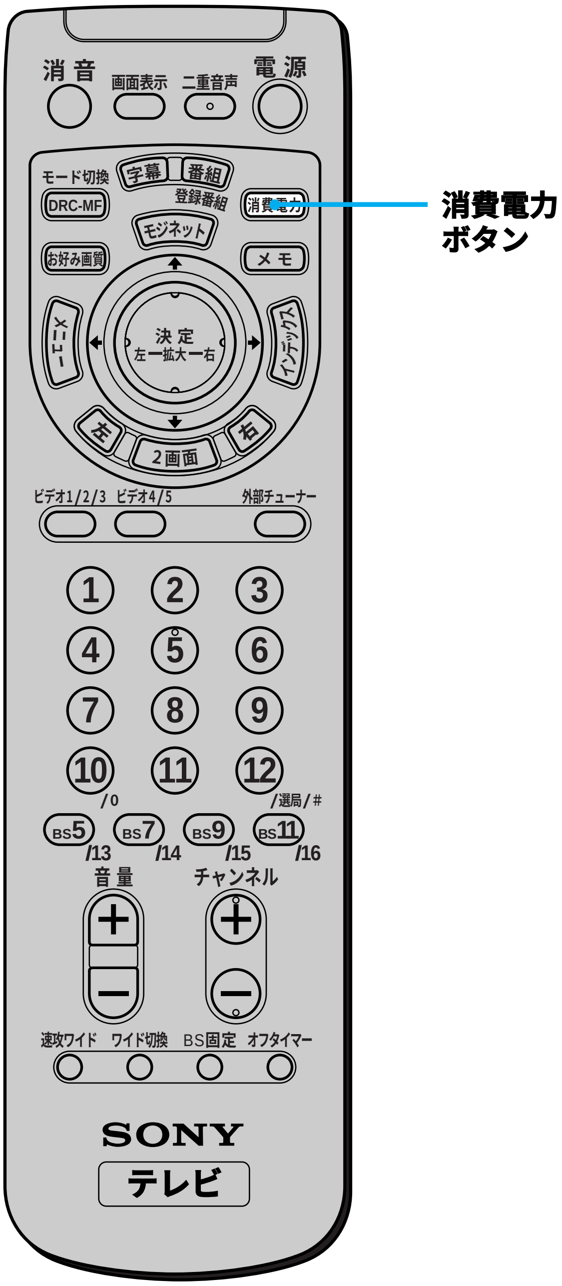
ご注意
2画面やインデックス画面、メモ画面、モジネット画面のときは、DRC-MFモード切換ボタンは働きません。

映像がざらついて見えるときは

受信信号の状態が良くないときに、ざらついて見えることがあります。お好み画質ボタンを押して「リビング」または「AVプロ」を選んでから、画質調整のメニュー画面でシャープネスを弱めてください（☞26ページ）。

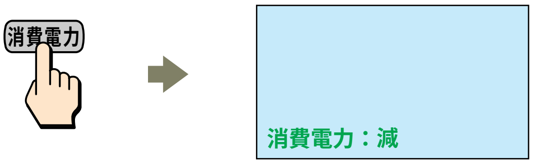
節電しながら見る
（消費電力）

画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。



消費電力ボタンを押す。

節電中になります。



節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

ちょっと一言

- 「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも節電中のままになります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「（各種切換）」から、「消費電力」を選び、「標準」か「減」を選んでください。
- お好み画質で「リビング」または「AVプロ」を選んでいるときは、「消費電力:減」でも、画質を調整できます（☞26ページ）。ただし、「ピクチャー」を上げると節電にならなくなる場合があるため、おすすめしません。

ワイド画面を楽しむ

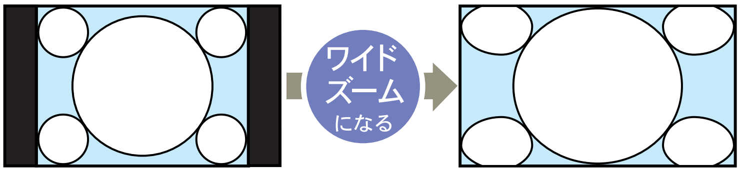
自動でワイド画面にする（オートワイド）

通常のテレビ放送も、ワイドクリアビジョン放送や映画など横長サイズの映像も、下のイラストのように、本機が最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、お買い上げ時の設定*を示しています。

* お買い上げ時は、オートワイドの「2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています（☞23ページ）。

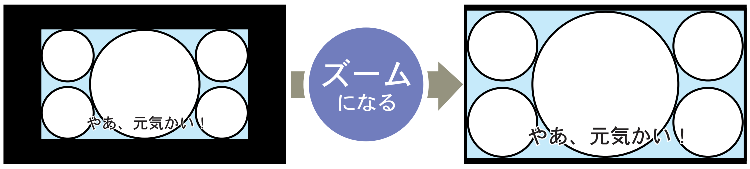
オリジナルの映像（映像の種類） ｜ **画面モード** ｜ **オートワイドの映像**

- **通常のテレビやBS放送（画面横縦比4:3）**



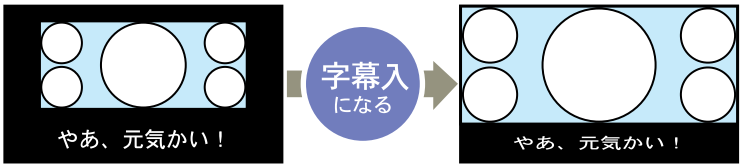
違和感少なく画面いっぱいに拡大します。

- **ワイドクリアビジョン放送（横縦比16:9）**
- **ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1）**
- **横縦比情報の入ったDVDソフトの映像（ID-1方式）**



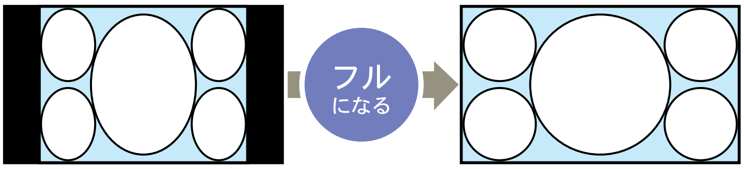
画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。

- **シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）**



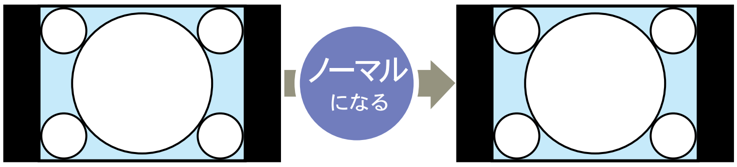
画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。

- **横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS1方式）**



天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。

- **オートワイドの「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」（お買い上げ時は「ワイドズーム」）に設定したとき（☞23〜25ページ）**



拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

次のページにつづく

ワイド画面を楽しむ（つづき）

手動でワイド画面に切り換える（速攻ワイド/ワイド切換）

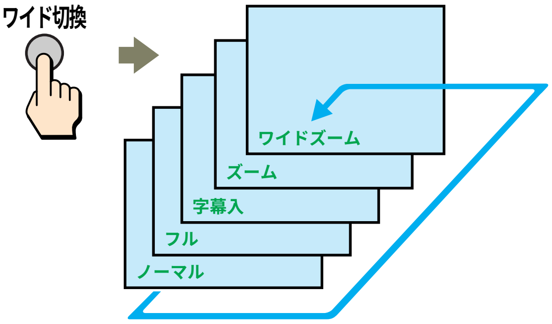
オートワイド機能とは別に好きな画面モードを手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

すばやくワイド画面に切り換えるときは（速攻ワイド）

速攻ワイドボタンを押す。
映像のサイズや種類に応じて、本機が最適な画面モードをすばやく選びます。

好きなワイド画面に切り換えるときは（ワイド切換）

ワイド切換ボタンをくり返し押す。
1回押すと、現在の画面モードが表示されます。その後、押すたびに、次のように画面モードが変わります。画面モードの詳しい説明については、☞9ページをご覧ください。



ご注意

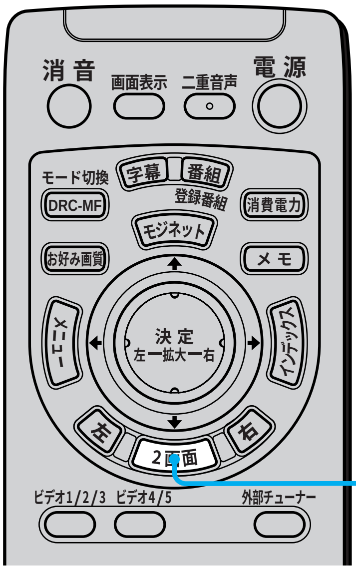
オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき（☞25ページ）は、速攻ワイドボタンを押しても、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま（「ノーマル」のまま）になります。

ちょっと一言

手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください（☞25ページ）。

2画面で見る（2画面）

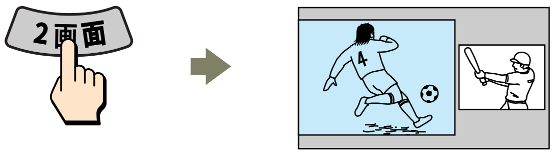
左右の画面サイズを変えて、2つのチャンネルを同時に見ることができます。また、通常のテレビやBS放送と、テレビにつないだビデオなどの画像も同時に見ることができます。



2画面ボタン

2画面ボタンを押す。

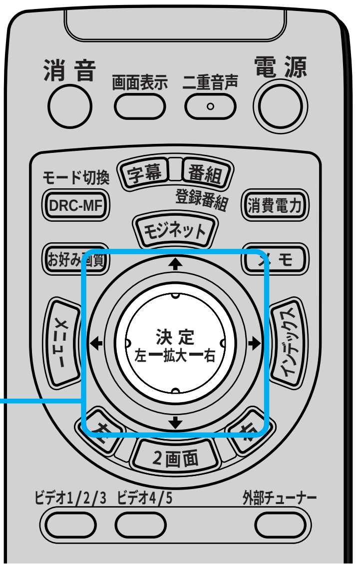
もう1度押すと、1画面に戻ります。



ご注意

- 次の画像は、2画面で同時に見ることができません。
  – 同じテレビ（VHF/UHF）チャンネル
  – 同じまたは別々のBSチャンネル（BSチューナー内蔵ビデオでBS放送を受信し、その画像を本機のビデオ入力に選べば、表示できます。）
  – 同じ入力の画像（ビデオ1とビデオ1など）
  – ビデオ4、5入力のDVD入力同士の画像の組み合わせ
- ビデオ4、5入力のDVD入力（映像）端子からの映像は左画面にのみ表示されます。右画面に表示したいときは、ビデオ4、5入力の映像入力端子にも同時につないでください。

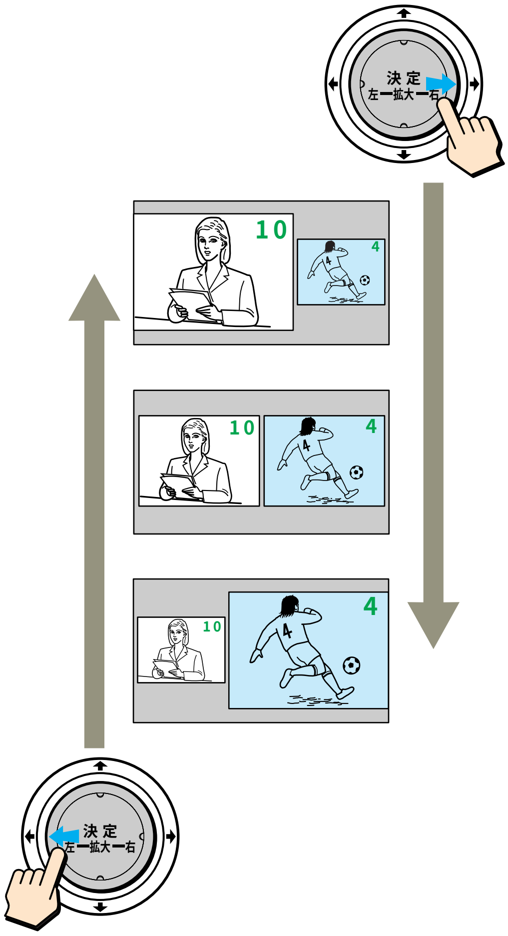
画面サイズを変える（左拡大/右拡大）



左拡大（←）/
右拡大（→）

大きくする側に←/→を押し続け、希望のサイズになったら指を離す。

右画面拡大（左画面縮小）



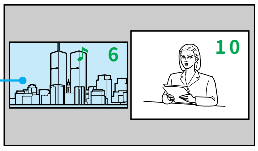
左画面拡大（右画面縮小）

次のページにつづく

2画面で見る（つづき）

ご注意

- 2画面の映像は録画できません。BS/ビデオ出力端子からは、通常は左画面の映像/音声を出力します。BS固定時（☞31ページ）は、固定したBSチャンネルの映像/音声を出力します。ただし、ビデオ1入力端子につないだ機器、およびビデオ4、5入力のDVD入力（映像）端子につないだ機器の画像は、常に出力されません。
- 操作画面（ヘッドホンモード「1」のとき）またはスピーカーから音声が出ている画面（ヘッドホンモード「2」のとき）で放送が終了すると、両画面とも自動的に消音します。1画面に戻してから、終了していないチャンネルを選ぶと音が出ます。また、省電力のため、操作画面で放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- 2画面のまま電源を切り、再び電源を入れると1画面に戻ります。
- 2画面では、オートワイド機能は働きません。ただし、左画面では、識別制御信号のある画像はワイド画像のまま表示されます。

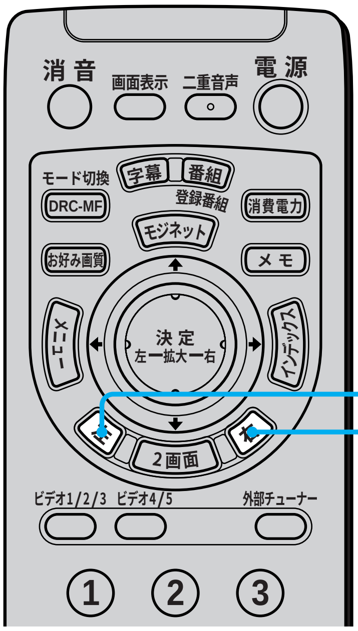


ちょっと一言

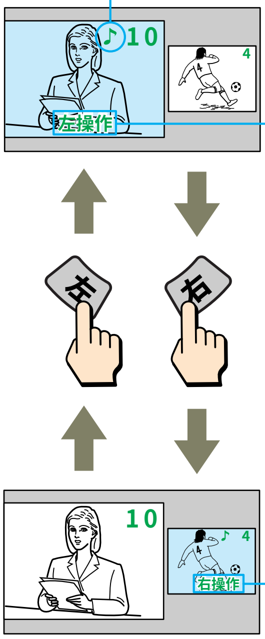
左右の画面サイズを変えたときは、その大きさを本体が記憶するため、再び2画面にしたときに、その大きさで表示します。

操作する画面を選ぶ（左操作/右操作）

チャンネルや入力を選んだり、音量を調節できる画面（操作画面）を選びます。
2画面を表示した直後は、左画面が操作画面になっています。また、操作画面の音声がスピーカーから出ます（ヘッドホンの音声は☞13ページ）。

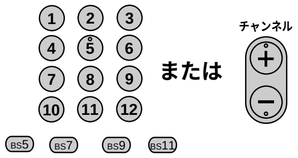
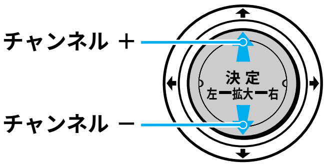


操作したい側のボタン（左・右ボタン）を押す。



2画面でチャンネルを選ぶには

どちらの画面もそれぞれ別々にチャンネルを選べます。

チャンネルを切り換えたい画面	押すボタン
操作画面 （「左操作」または「右操作」と表示される画面）	
操作画面でない画面	

ちょっと一言
メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「 (2画面)」から、「操作入替」を選び、「左操作」か「右操作」を選んでください。

ヘッドホンの音声を選ぶには

スピーカーから音声を出さずにヘッドホンで聞いたり、ヘッドホンとスピーカーで左右画面の音声を別々に出したりできます。ヘッドホンモードを設定してください。

ヘッドホンモード「1」にすると

操作画面の音声がヘッドホンから聞こえます。スピーカーからは音声は出ません。
左・右ボタンを押すと、ヘッドホンの音声も切り換わります。

ヘッドホンモード「2」にすると

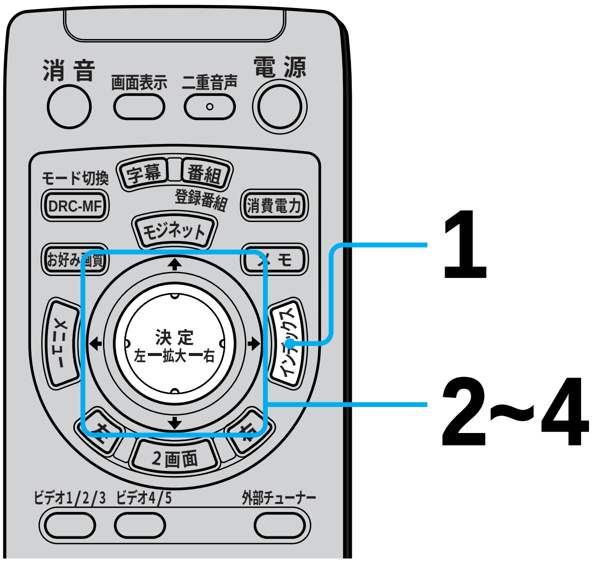
ヘッドホンとスピーカーから左右それぞれの画面の音声が別々に出ます。
設定後は、左・右ボタンを押して操作画面を切り換えても、ヘッドホンの音声は切り換わりません。

1. **ヘッドホンモードを「2」に設定するときは、左・右ボタンを押して、スピーカーで音声を聞く画面を選ぶ。**
   （「1」に設定するときは、この操作は不要です。）
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **↑/↓で「 (2画面)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
4. **↑/↓で「ヘッドホンモード」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
5. **↑/↓で「1」または「2」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
   「2」を選んだときは、ヘッドホンからはスピーカーとは逆の画面の音声が出ます。
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ちょっと一言
ヘッドホンを抜くと、「ヘッドホンモード」の設定によって、次の音声がスピーカーから出ます。
–「1」のとき:ヘッドホンで聞いていた音声
–「2」のとき:そのままのスピーカーの音声

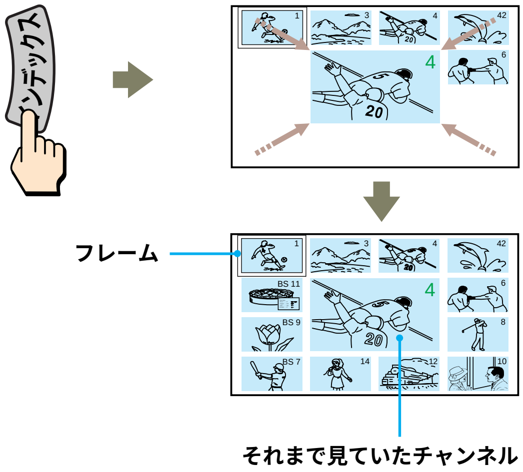
チャンネルを一覧表示する（インデックス）

見ているチャンネルのまわりに12画面を表示し、その中から見たいチャンネルをカーソル（↑/↓/←/→）で選んで決定すると、そのチャンネルが中央にズームアップして音声も切り換わります。番組内容のチェックやチャンネル選びが、より簡単に楽しくできます。
あらかじめ、チャンネルを設定しておいてください（☞41ページ）。



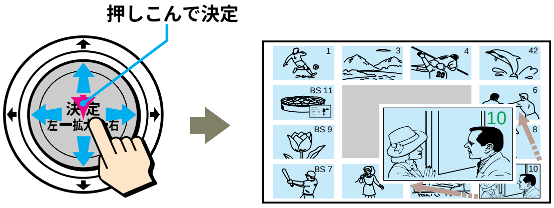
1 インデックスボタンを押す。

画面が動画のまま縮小し、周囲に時計まわりで、あらかじめ受信設定されたチャンネルが、12画面まで順番に表示されます。



2 ↑/↓/←/→で周囲の見たいチャンネルにフレームを合わせて、真ん中を押しこんで決定する。

選んだチャンネルが中央にズームアップして、音声も切り換わります。



3 他のチャンネルを見たいときは、手順2をくり返す。

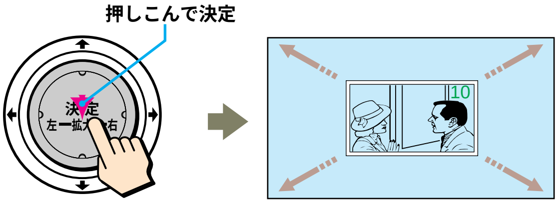
↑/↓/←/→で再びフレームを周囲の画面に移動すると、画面中央にはインデックス画面にしたときのチャンネルが表示されます。

手順2で選んだチャンネルを1画面で見るときは

手順4へ進んでください。

4 真ん中を押しこんで決定する。

中央のチャンネルがズームアップして、1画面になります。



途中でインデックス画面を消すときは

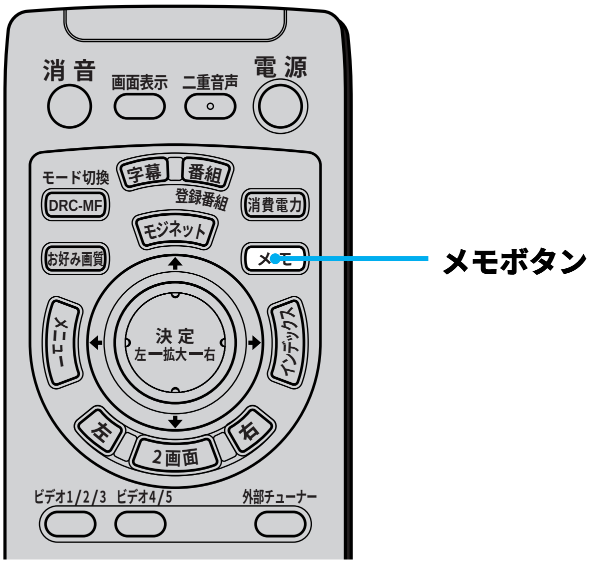
インデックスボタンを押すと、インデックス画面にしたときのチャンネルの1画面になります。

ご注意
- モジネット画面（☞16ページ）を見ているときは、インデックス画面を表示できません。
- インデックス画面は録画できません。BS/ビデオ出力端子からは中央画面の映像/音声のみ出力されます。
- BS/ビデオ出力端子からの信号を録画しているときに、インデックス画面の操作をすると、出力される信号が切り換わることがあります。
- インデックス画面表示中に、チャンネルを選んだり、入力を切り換えたりすると、1画面に戻って、そのチャンネルまたは入力になります。
- 2画面のときにインデックスボタンを押すと、操作画面が中央に移動します。ただし、「ヘッドホンモード」が「2」で（☞13ページ）、ヘッドホンをつないでいると、スピーカーから音声が出ている画面が中央に移動します。
- 中央画面で放送が終了すると、省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- BS固定時（☞31ページ）は固定されたBSチャンネルのみインデックス画面に表示されます。
- 画面中央にBSチャンネルが映っているときは、BSチャンネルはそのチャンネルのみが、インデックス画面に表示されます。
- WOWOWはスクランブルがかかったまま表示されることがあります。

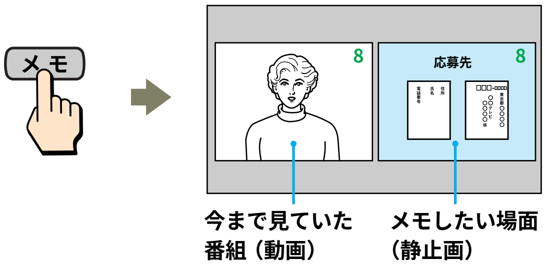
ちょっと一言
- スタンバイ/オフタイマーランプ点灯中にインデックスボタンを押すと、電源が入り、インデックス画面が表示されます（インデックスポン機能）。見たい番組が決まっていないときに便利です。
- チャンネルが13以上設定されているときは、左上の画面から順に上書きされます。
- インデックス画面は、ワイド切換ボタン（☞10ページ）で「ノーマル」または「フル」に切り換えられます。

メモするために画面を静止させる
（メモ）

視聴者プレゼントの応募先や料理の材料など、メモしたい場面を静止画で確認できます。同時に今まで見ていた番組もお楽しみいただけます。



メモしたい場面で、メモボタンを押す。
2画面になり、メモしたい場面が右に出ます。もう1度押すと、1画面に戻ります。



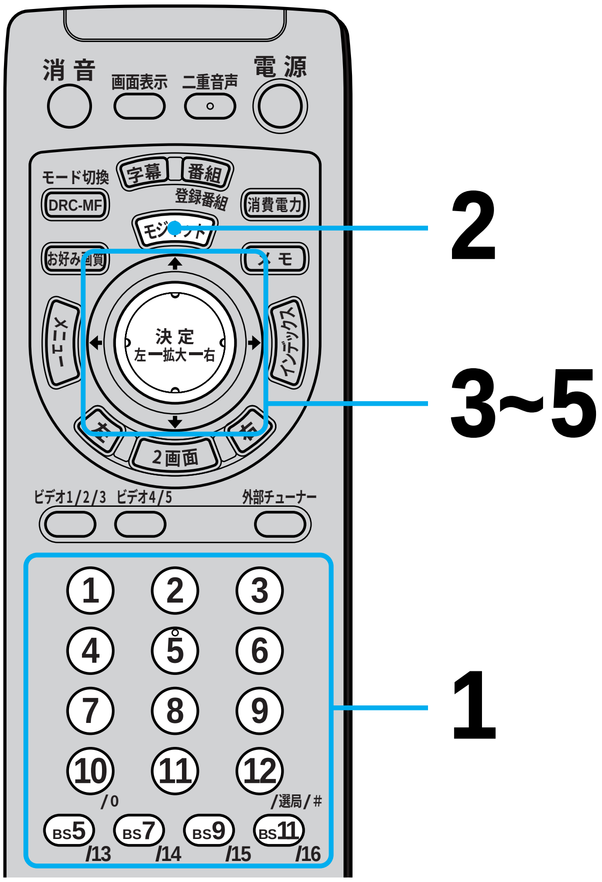
ご注意
- 次のときは、メモはできません。
  – 2画面やインデックス画面を見ているとき
  – モジネット画面（☞16ページ）を見ているとき
- メモ中に、チャンネルや入力を切り換えると、1画面に戻ります。
- 省電力のため、左の通常画面で放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

文字放送を見る

文字放送（モジネット）は、一般のテレビ放送の画面と画面のすき間を利用して送られる静止画像による放送で、加入手続きもなく、受信料なしで、ニュースや天気などの最新情報を各局の放送時間中いつでもお楽しみいただけます。
各チャンネルごとに、別々の文字放送を行っています。
「カテゴリ目次」を使って見る方法と、あらかじめ登録した番組を見る方法（☞19ページ）があります。

「カテゴリ目次」を使って見る（モジネット）

見たい文字放送が簡単に選べる「カテゴリ目次」を使って番組を選ぶ操作を説明します。
「カテゴリ目次」とは、文字放送をニュース、スポーツといったカテゴリに分類して、各放送局が送信している目次画面です。



1 **チャンネル数字ボタンで、見たい文字放送を行っているチャンネル*を選ぶ。**

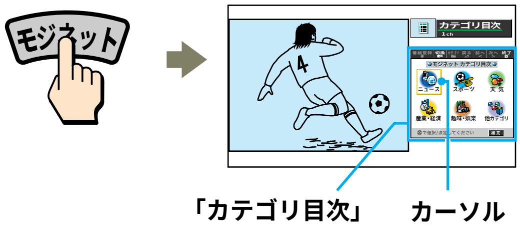
チャンネル＋/－ボタンでも選べます。

* 地域ごとに異なります。

2 **モジネットボタンを押す。**

手順1で選んだチャンネルのテレビ番組が左側に、そのチャンネルの文字放送の「カテゴリ目次」が右側に表示されます*。

* 放送されていないカテゴリは薄く表示されます。



「カテゴリ目次」が表示されないときは

放送局によっては「カテゴリ目次」を送信していないためです。このときは、各放送局独自の目次画面（000#　目次）が表示されます。その目次画面で↑/↓/←/→を使って選ぶか、「番組番号で番組を選ぶには」（☞18ページ）をご覧ください。

「しばらくお待ちください」と表示されたときは

次のときは、文字情報を新たに取り込むため、「カテゴリ目次」を表示するのに、しばらく時間がかかります。

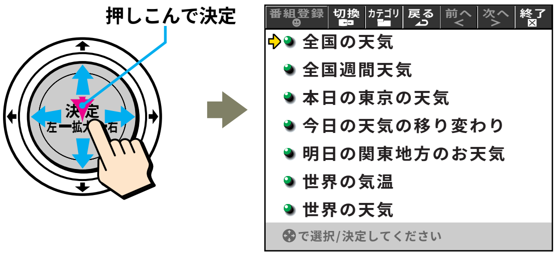
- 本体の電源スイッチで電源を入れた直後に、モジネットボタンを押したとき
- 「文字メモリー」を「切」に設定した状態で（☞18ページ）、リモコンの電源スイッチで電源を入れた直後に、モジネットボタンを押したとき
- 文字放送中にチャンネルを切り換えたとき

3 **文字放送画面を左側に大きく映したいときは、←/→で「切換（▭▭）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

手順2の画面位置のまま見たいときは、この手順をとばしてください。

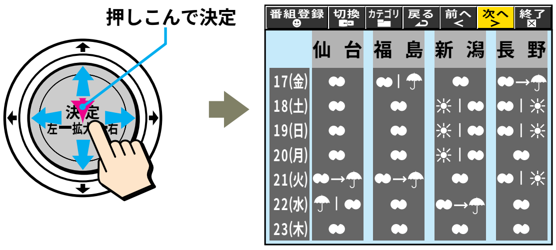
4 ↑/↓/←/→でカテゴリを選び、真ん中を押しこんで決定する。

選んだカテゴリの番組一覧が表示されます。



5 ↑/↓/←/→で文字番組を選び、真ん中を押しこんで決定する。

選んだ文字番組が映ります。



文字放送をやめるには

モジネットボタンを押す。または、↑/↓/←/→で文字放送画面上部（操作パネルの右端）の「終了（☒）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

テレビ画面に戻ります。

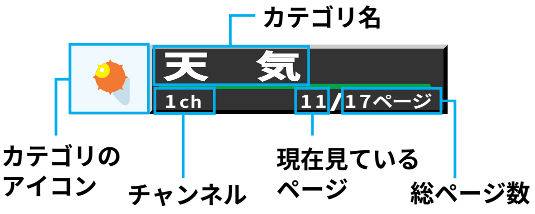
文字放送中にチャンネル数字ボタンやチャンネル＋/－ボタンを押すと

切り換えた先の番組とそのチャンネルの「カテゴリ目次」が表示されます*。

* そのチャンネルの文字情報を新たに取り込むため、表示するまで、しばらく時間がかかります。また、登録番組（☞19ページ）のときは、チャンネルを切り換えても、文字放送画面は切り換わりません。

文字画面情報について

選んだ文字番組の情報が、テレビ画面右上に以下のように表示されます。



操作パネルについて

文字放送画面上部には、操作パネルが以下の項目で表示されます*。表示されている画面によって、選べる項目は変わります。

* テレビ画面上に文字情報を重ねて表示する文字番組のときは、操作パネルは約3秒間表示されて消えますが、↑/↓/←/→を動かすと再び表示されます。

←/→で各項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。

この項目を選ぶと	こうなります。
番組登録（☻）	好きな番組を登録するときに選ぶ（☞19ページ）。
切換（■■）	文字放送が表示される画面位置（左・右）を切り換える。
カテゴリ（■）	「カテゴリ目次」に戻る。
戻る（↩）	ひとつ前の階層に戻る。（例:文字番組→番組一覧へ、番組一覧→「カテゴリ目次」へ）
前へ*（＜）	文字番組中の前ページに戻る。
次へ*（＞）	文字番組中の次ページに進む。
終了（☒）	文字放送画面が消え、見ていたテレビ番組に戻る。

* 最新情報が送られてきた順にページが更新されるため、選んだときに、ページが飛ぶことがあります。

ご注意

- 文字放送画面を左側に大きく映しているときは、文字番組のページが変わるたびに、操作パネルが上に動いて、一時的に文字放送局の名前などが表示されます。
- 文字放送がないときは、「現在、文字放送は送られていません」と表示されます。モジネットボタンを押すか、操作パネルの「終了（☒）」を選んで、テレビ画面に戻ってください。

ちょっと一言

- 手順4で、↑/↓/←/→でカテゴリを選んでいるときに、テレビ画面右上の文字画面情報に番組番号（例:121#や854#など）が表示されたときは、そのまま押しこんで決定すると、直接、その文字番組になります。
- 手順4で「他カテゴリ」を選んだときは、「ニュース」「スポーツ」「天気」「産業・経済」「趣味・娯楽」は選べません。これらを選ぶときは、「カテゴリ（■）」か「戻る（↩）」を選んで「カテゴリ目次」に戻ってください。
- ビデオの再生画像やCATV放送などをビデオ2以外のビデオ入力または外部チューナー入力で見ているときにモジネットボタンを押すと、文字画面情報の「チャンネル」部分には入力端子名（「ビデオ1」など）が灰色で表示されます。このとき、正しく文字情報を取り込めないことがあります。
- 文字放送画面を左側に大きく表示したまま文字放送をやめたときは、再びモジネットボタンを押したときも「カテゴリ目次」は左に大きく表示されます。
- 次のときは、「戻る（↩）」を選ぶと「カテゴリ目次」の1枚目に戻ります。
  －「カテゴリ目次」の2枚目以降のとき
  －カテゴリの番組一覧の2枚目以降のとき

次のページにつづく

文字放送を見る（つづき）

リンク番組について

見ている番組に関連した他の文字番組です。文字番組中に、番組番号が下線つきで表示されているときは、↑/↓/←/→で選んで真ん中を押しこむと、リンク番組を見ることができます（文字画面情報には「リンク番組」と表示されます）。
リンク番組で「戻る（⮌）」は選べないため、「カテゴリ（▀▀）」を選んで「カテゴリ目次」に戻ってください。

番組番号で番組を選ぶには

各文字番組に割り振られている特定の番組番号で、見たい番組を選べます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「モジ（文字）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 ↑/↓で「番組番号入力」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

4 ↑/↓で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

6 チャンネル数字ボタンで、見たい文字放送を行っているチャンネルを選ぶ。

7 モジネットボタンを押す。

操作パネルは次のように表示されます。

「番組登録（☻）」は「登録（☻）」に省略される

8 ←/→で「番号（#）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

9 チャンネル数字ボタンで見たい文字番組の番号を入力し、⑫（＝#）ボタン*を押す。

例）番組番号が106#のときは、①、⑩（＝0）、⑥、⑫（＝#）の順で押す。

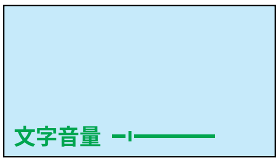
* ⑫（=#）ボタンの代わりに、↑/↓/←/→の真ん中を押しこんでも決定できます。

文字放送の音声を聞くには

カラオケの文字番組などでは音声を聞けます。

1 2画面で使う左・右ボタンを押して、文字放送画面に「♪」を表示させる。

2 音量＋/－ボタンで文字番組の音量を調節する。



ご注意

- テレビ番組の音声を聞くときは、左・右ボタンを押して、テレビ番組側に「♪」を表示させて、音量＋/－ボタンで調節してください。また、チャンネルや入力を切り換えたときも、テレビ番組の音声になります。
  このとき、文字音量は本体に記憶されないため、再び文字番組の音声に切り換えると、テレビ番組と同じ音量になるため、ご注意ください。
- 音声無しの文字番組は、「♪」が表示されていても音声は出ません。

文字放送の設定を変えるには

メニュー画面および設定メニュー画面で設定します。

メニュー画面で設定できる項目

項目	説明	選べる設定*1
番組番号入力	「入」にすると、文字番組の番組番号を数字ボタンで入力して選べる	入/**切**
ページ送り*2	「自動」:約20秒経つと自動的に次ページに切り換わる 「手動」:好きなときにページをめくる	**自動**/手動
字幕放送	「自動」:字幕放送（☞21ページ）が始まったときに自動的に字幕を表示させる 「手動」:字幕放送の字幕を手動で表示させる	自動/**手動**
文字メモリー	「入」にすると、自動的に最新の情報に更新する	**入**/切

*1 太文字がお買い上げ時の設定です。
*2 最新情報が送られてきた順にページが更新されるため、自動でページが切り換わったときに、ページが飛ぶことがあります。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「モジ（文字）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 ↑/↓で設定を変えたい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。

4 ↑/↓で設定を変えて、真ん中を押しこんで決定する。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

設定メニュー画面で設定できる項目

項目	説明	選べる設定*1
文字番組登録初期化(☞20ページ)	「実行」にすると、番組の登録をお買い上げ時の状態に戻す	**取消**/実行
文字番組番号ケタ数	番組番号を数字ボタンで入力して選ぶとき、入力するケタ数を選ぶ	**3ケタ**/4ケタ*2

*1 太文字がお買い上げ時の設定です。

*2 将来、番組番号が3ケタを越えたときに選びます。このとき、先頭のケタは「マガジン」番号のケタとして表示されます。3ケタのとき「マガジン」は「0」になっています。

本体のボタンを使います。

1 **設定ボタンを押して、設定メニューを出す。**

2 **選択⇧/⇩で「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択⇧/⇩で設定を変えたい項目を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択⇧/⇩で設定を変えて、決定ボタンを押す。**

補完番組を見るには

放送中のテレビ番組に関連した情報を伝える文字番組(補完番組)があるときは、その補完番組を見ることができます。

1 **モジネットボタンを押す。**

2 **⬆/⬇/⬅/➡でカテゴリ目次画面の右下にある「補完」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

補完番組をやめるときは、モジネットボタンを押すか、操作パネルの「終了(☒)」を選びます。

ちょっと一言

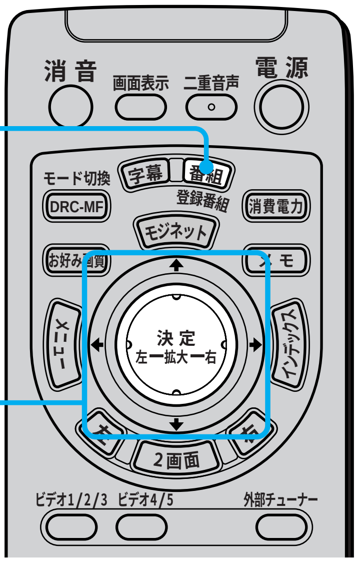
- 1つのテレビ番組につきいくつかの補完番組が送られているときは、⬅/➡で「補完番組(または補完)」を選び真ん中を押しこんで決定すると、次の補完番組を見ることができます。
- 補完番組によっては、元のテレビ画面の上に文字情報を重ねて表示することがあります。このとき、操作パネルは約3秒間表示されて消えますが、⬆/⬇/⬅/➡を動かすと再び表示されます。

好きな文字番組を登録して見る(登録番組)

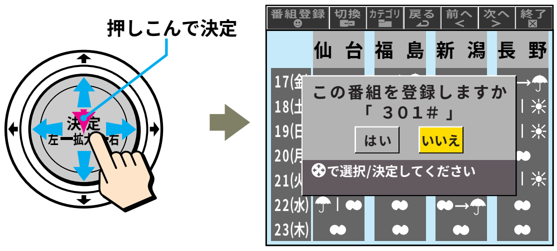
あらかじめ好きな文字番組を登録しておくと、見たいときにすばやく呼び出せます。最大8番組まで登録できます。

登録番組(番組)ボタン

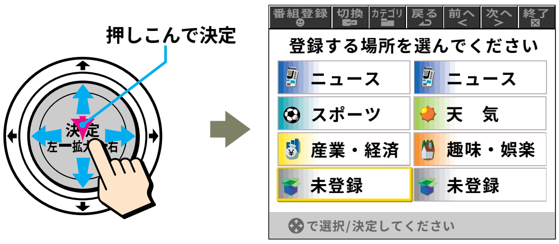
1~4



1 **登録したい番組を見ているときに、⬆/⬇/⬅/➡で「番組登録(☻)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**



2 **⬆/⬇/⬅/➡で「はい」を選んで、真ん中を押しこんで決定する。**



ここで「いいえ」を選ぶと、見ていた文字放送画面に戻ります。

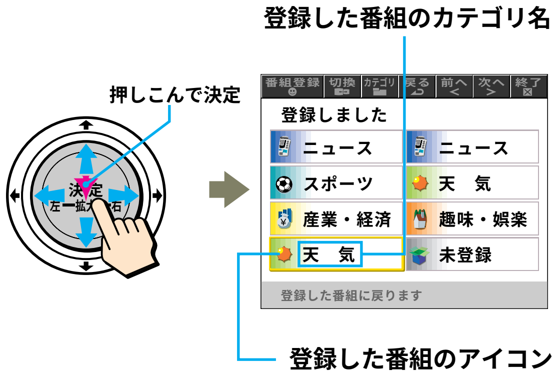
次のページにつづく

文字放送を見る（つづき）

3 ↑/↓/←/→で登録する場所を選び、真ん中を押しこんで決定する。

初めは2カ所ある未登録から選んでいくことをおすすめします。

登録した場所には、「登録番組」のカテゴリ名とアイコンが表示され、しばらくすると元の番組に戻ります。



途中で登録をやめるときは

モジネットボタンを押す。文字放送画面が消えて、テレビ画面に戻ります。

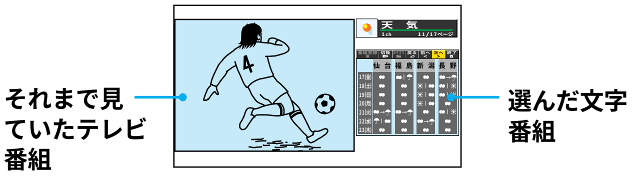
4 他の文字番組を登録するときは、手順1～3をくり返す。

登録した文字番組を見るには

見ているチャンネルとは関係なく、登録番組を表示できます。また、登録番組を見ながら、テレビ番組を自由に切り換えられます。

1 登録番組（番組）ボタンを押す。

2 ↑/↓/←/→で見たい番組を選び、真ん中を押しこんで決定する。



登録番組をやめるときは、登録番組（番組）ボタンを押すか、操作パネルの「終了（☒）」を選びます。

ご注意

- 以下の番組は、登録できません。
  - カテゴリ目次画面
  - 番組一覧画面
  - BS放送の文字番組
  - ビデオテープに記録されている文字番組
  - 外部チューナーの文字番組
  - ケーブルテレビの文字番組
  - 登録した番組から選んだ「リンク番組」
  - 補完番組
  - 字幕放送（☞21ページ）
- 登録番組を見ているときは
  - 操作パネルの「番号（＃）」と「番組登録（☻）」、「カテゴリ（▬）」は選べません。
  - テレビのチャンネルを切り換えても、文字放送画面は変わりません。

ちょっと一言

登録番組を見ているときに、「カテゴリ目次」を見たいときは、モジネットボタンを押してください。

お買い上げ時に登録されている番組

お買い上げ時には、以下の6つのNHK総合の文字番組を自動的に登録しています。お買い上げ時またはチャンネル設定（☞41ページ）後、しばらくはNHK総合チャンネルの文字放送をご覧になることをおすすめします。2つの未登録枠に登録した後、好きな番組をあらたに登録すると、これらの番組に上書きされます。お買い上げ時の設定に戻したいときは、設定メニューで「文字番組登録初期化」を「実行」にします（☞19ページ）。

カテゴリ	番組番号*	番組名
ニュース	002#	きょうのニュース
ニュース	003#	経済ニュース
スポーツ	007#	スポーツニュースハイライト
天気	301#	全国の天気
産業・経済	121#	東京外国為替市況
趣味・娯楽	803#	宝くじ情報

（1998年9月現在）

*すべてNHK総合チャンネルの文字番組です。

ご注意

モジネットの番組内容、番組番号は、予告なく変更になることがあります。

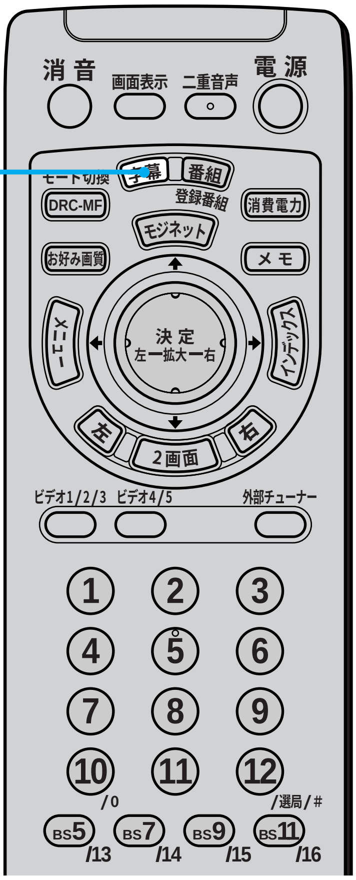
ちょっと一言

本機は、文字番組をすぐに呼び出せるように大容量メモリー（記憶素子）を内蔵しています（約2800ページ分）。ただし、記憶容量の空きが無くなったときは、自動的に古い情報を消去して、最新の情報を記憶します。

字幕放送を見る

（字幕）

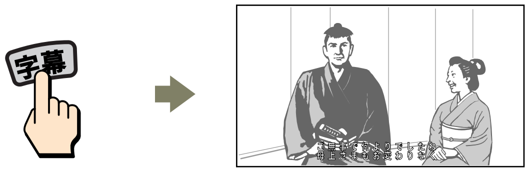
新聞などのテレビ欄で字などとマークが付いている文字多重放送（字幕放送）では、字幕を画面に表示できます。



字幕ボタン

字幕放送のある番組を見ているときに、字幕ボタンを押す。

字幕放送があるときは、字幕を表示します。



字幕放送が終了すると、字幕は消えます。

字幕放送で字幕を出したくないときは

字幕が表示されているときに、字幕ボタンを押す。

ご注意

次のものを見ているときは、字幕は表示されません。

– モジネット画面
– 2画面
– インデックス画面
– メモ画面

自動で字幕を出すには

お買い上げ時は、字幕放送の設定は「手動」になっています。

字幕放送が始まったときに、字幕ボタンを押さずに自動的に字幕を出したいときは、メニュー画面の「モジ（文字）」で「字幕放送」を「自動」にしてください（☞18ページ）。

「自動」のときのご注意

- 字幕が出ているときに、字幕ボタンを押すと字幕は消えます。
- 字幕が出ていないときに、字幕ボタンを押すと「字幕放送:切」と表示され、字幕を自動表示しなくなります。再び、自動表示するには、字幕ボタンをもう1度押してください。（または、チャンネルや入力を切り換えたり、電源を切ってください。）
- 「文字メモリー」を「入」にしても（☞18ページ）、「文字メモリー」は働きませんが、電源スタンバイ時に働いて最新情報に更新します。

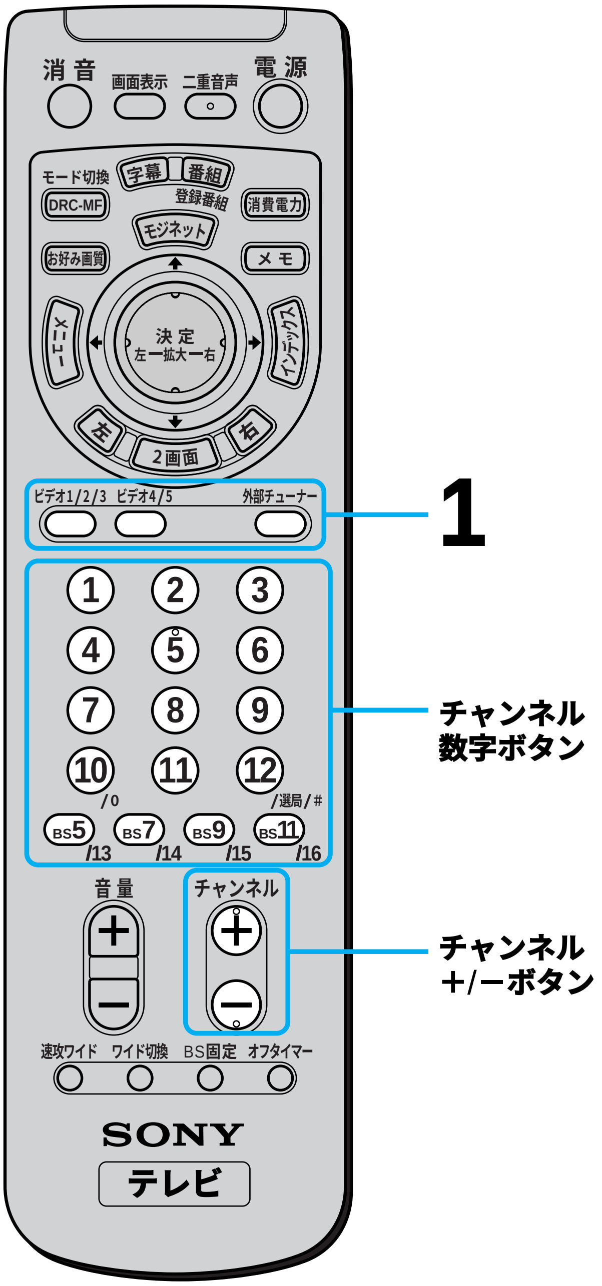
ちょっと一言

字幕放送中に、チャンネルや入力を切り換えたり、電源を切ると、メニュー画面の字幕放送の設定により、次のようになります。

–「自動」のときは、そのまま「字幕放送:入」が維持されます。切り換えたチャンネルで字幕放送があるときは、自動的に字幕を表示します。
–「手動」のときは、「字幕放送:切」となって、字幕は表示されなくなります。切り換えたチャンネルで字幕放送があるときは、もう1度字幕ボタンを押して、字幕を表示させてください。

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やテレビゲーム、デジタルCS放送などの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞51～60ページをご覧ください。



1 入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
ビデオ1/2/3	ビデオ1～3入力端子	ビデオ1*1 → ビデオ2*1 → ビデオ3*1 →（ビデオ1に戻る）
ビデオ4/5	ビデオ4、5入力端子	ビデオ4（またはビデオ4/DVD*2）↕ ビデオ5（またはビデオ5/DVD*2）
外部チューナー	外部チューナー入力端子	外部チューナー*1

*1 S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」、「Sビデオ3」、「S外部チューナー」と表示されます。

*2 ビデオ4、5入力のDVD入力（映像）端子から映像信号が入力されているとき

2 接続している機器を操作する。

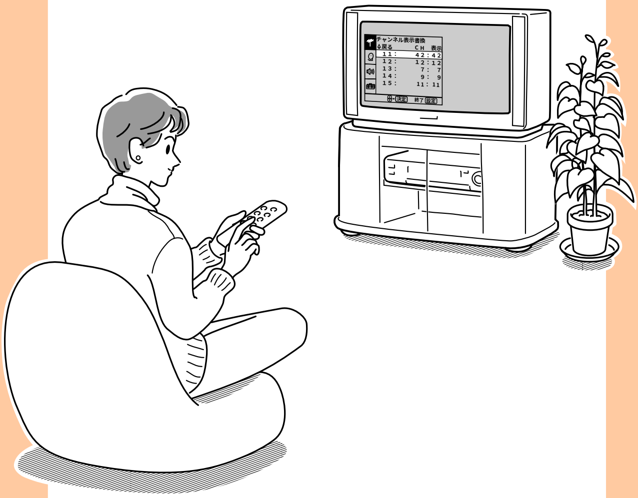
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを押す。

調整する/設定する

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。
BS放送をビデオに録画したり、予約録画したりするときの操作も説明しています。
また、本機に内蔵されている時計を使って、自動的に電源を切ったり、時刻表示をしたりする操作も説明しています。



オートワイドの設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「1」と「2」があります。

オートワイド「1」
テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送（4:3映像）には、映像を判別するための識別制御信号*[1]が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。
このような識別制御信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイドの「1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「2」
次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

お買い上げ時はオートワイドの「2」（「4:3映像」の設定も「ワイドズーム」）に設定されています。

*[1] 識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
－ワイドクリアビジョン放送
－横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS1方式）
－横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送

次のページにつづく

オートワイドの設定を変える（つづき）

映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
通常のテレビやBS放送	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったテレビ放送*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「字幕入」
ワイドクリアビジョン放送*3	「ズーム」	
横縦比を16:9（「ズーム」または「フル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*3	「ズーム」または「フル」	
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2

*2 メニューで設定します（☞25ページ）。お買い上げ時は「ワイドズーム」になっています。
*3 識別制御信号（☞23ページ）の入った映像です。

ちょっと一言
- ワイド切換ボタンで切り換えたあと（☞10ページ）などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときに速攻ワイドボタン（☞10ページ）を押すと、上記のオートワイド「1」、「2」にしたがって、オートワイドが働き続けます。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタン（☞10ページ）を押すと
  - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
  - 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。

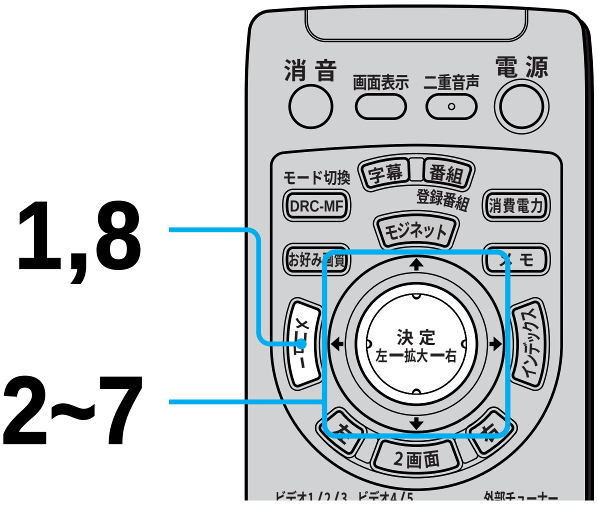
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わるときは

- 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになる（☞9ページ）ためです。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断している（☞9ページ）ためです。

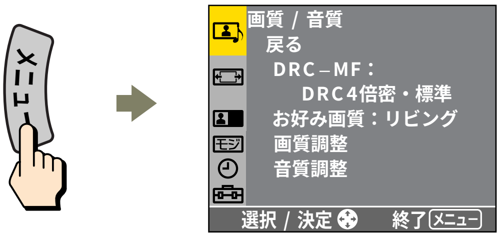
ワイド画面についてのご注意
- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、上下位置や縦サイズを調整してください（☞30ページ）。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

オートワイドを設定する/切る

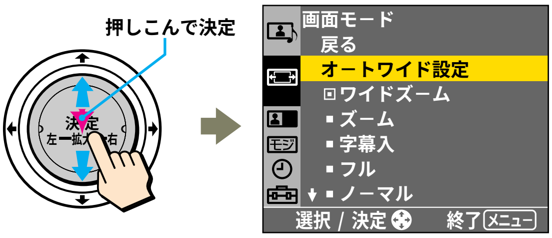
オートワイドについての詳しい説明は、☞9ページをご覧ください。



1 メニューボタンを押す。

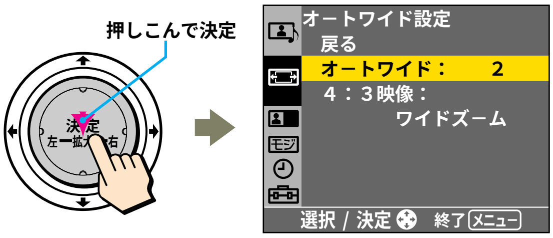


2 ↑/↓で「（画面モード）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

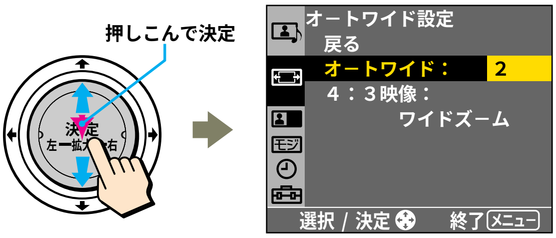


3 「オートワイド設定」を選んでいることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

選ばれていないときは、↑/↓で選び、真ん中を押しこんで決定する。



4 ↑/↓で「オートワイド」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



5 **オートワイドを切るときは**

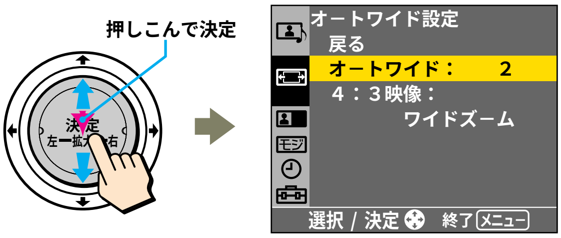
↑/↓で「切」を選び、真ん中を押しこんで決定する（手順8へ進んでください）。

オートワイドを「1」に設定するときは

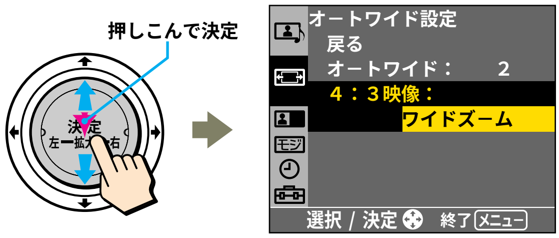
↑/↓で「1」を選び、真ん中を押しこんで決定する（手順8へ進んでください）。

オートワイドを「2」に設定するときは

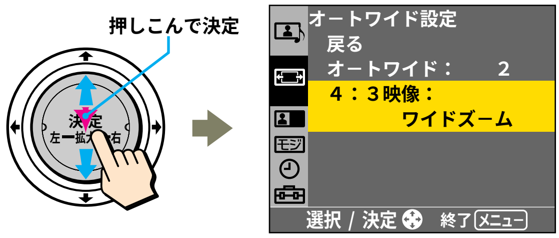
↑/↓で「2」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



6 オートワイド「2」のときは、↑/↓で「4:3映像」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



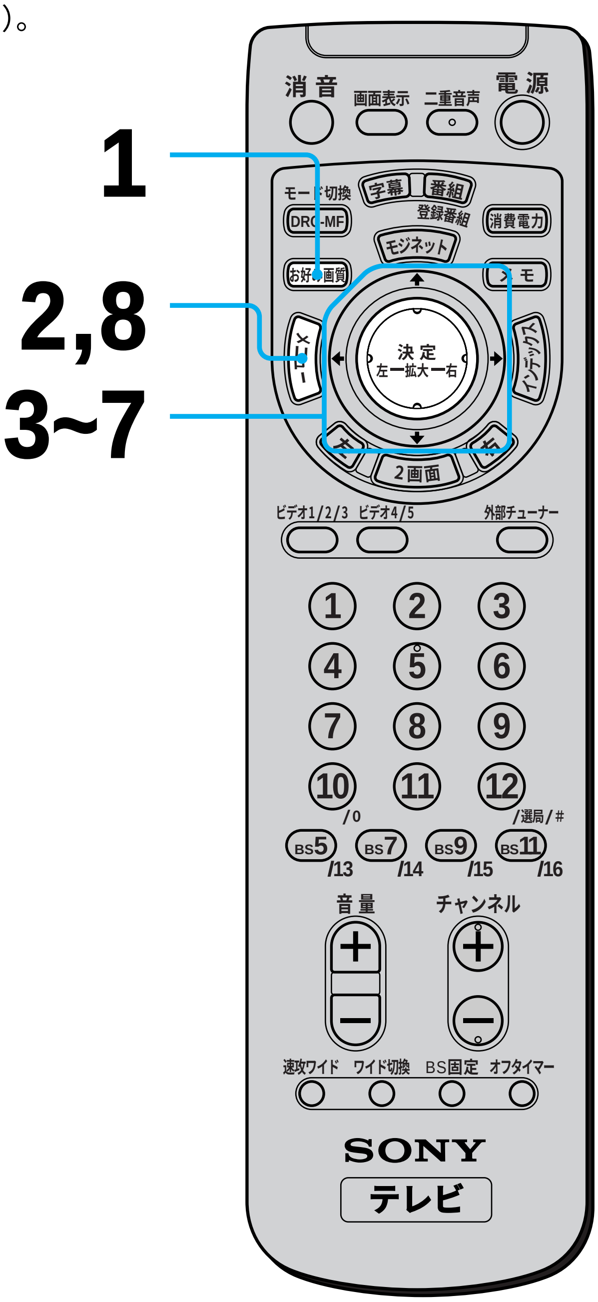
7 ↑/↓で「ノーマル」か「ワイドズーム」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



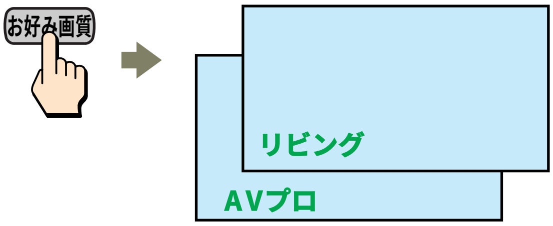
8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

画質を調整する

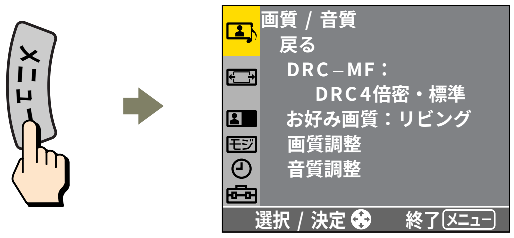
お好み画質ボタンで「リビング」や「AVプロ」を選ぶ（☞6ページ）と、画質をより細かく調整できます。画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます（ただし、通常のテレビ放送とBS放送は共通の設定になります）。



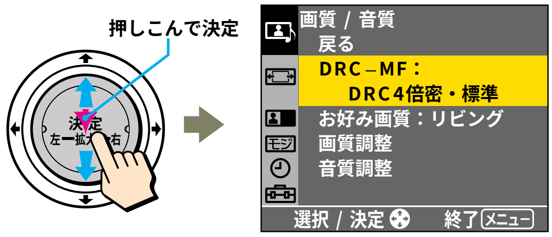
1 お好み画質ボタンをくり返し押して、「リビング」または「AVプロ」を選ぶ。



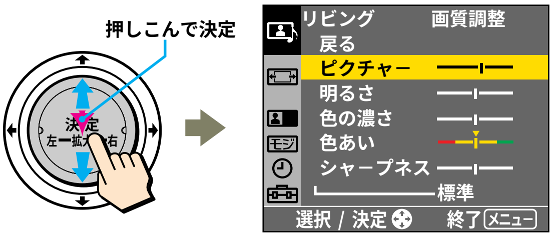
2 メニューボタンを押す。



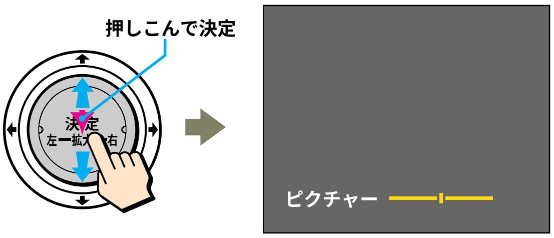
3 ⬆/⬇で「(画質/音質)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



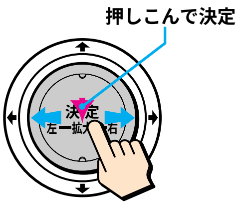
4 ⬆/⬇で「画質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



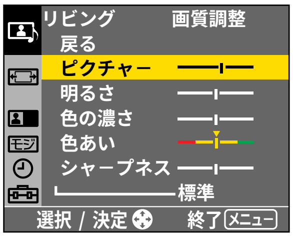
5 ⬆/⬇で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。



6 ←/→で調整し、真ん中を押しこんで決定する。



「リビング」と「AVプロ」両方で調整できる項目



項目	←を押すと	→を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

「AVプロ」でのみ調整できる項目

↓を押し続けて「シャープネス」の下まで移動すると、以下の項目が調整できます。

項目	説明	選べる設定
NR*（ノイズリダクション）	**通常は「入」にしておいてください。** 「入」:映像のざらつきや色ノイズを軽減する（ゴーストなど電波障害は軽減されない）。 「切」:テレビにつないだ機器の元の映像信号（処理していないオリジナル信号）の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがある。	入/切
VM（ベロシティモジュレーション）（速度変調）	映像の輪郭を強調する。	強/中/弱/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
Hホワイト（ハイパー）	白の鮮明さを強調する。	入/切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	強/中/弱/切

* 通常のテレビ放送とBS放送、およびビデオ4、5のDVD入力(映像)端子につないだ機器の映像のときは、調整できません。ビデオ4、5のDVD入力(映像)端子を除くビデオ1～5入力端子と、外部チューナー入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できます。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

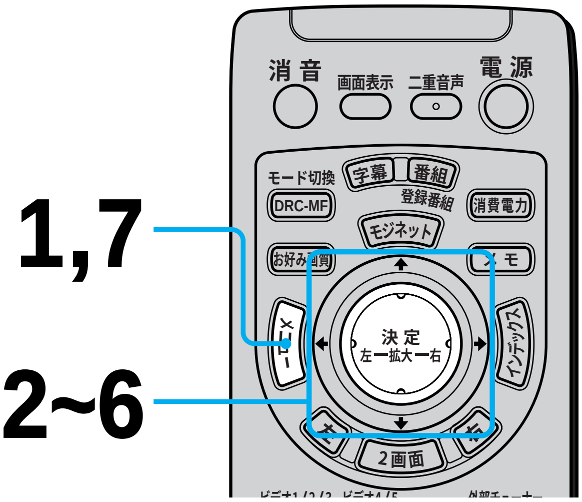
手順5で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ご注意

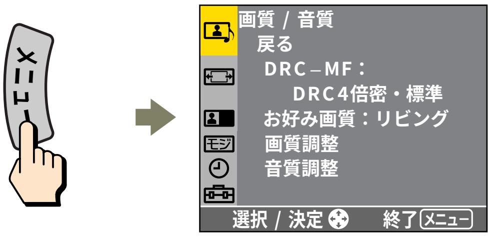
「ダイナミック」と「スタンダード」（☞6ページ）では、画質調整できません。

音質を調整する

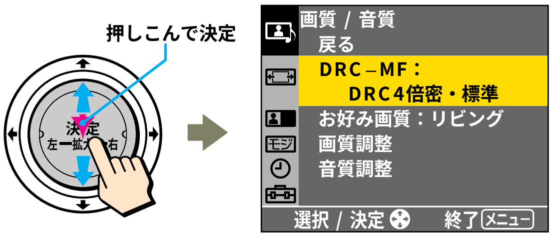
音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます（ただし、通常のテレビ放送とBS放送は共通の設定になります）。



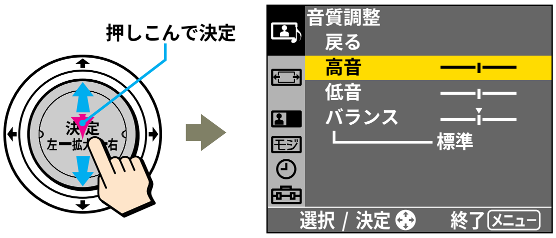
1 メニューボタンを押す。



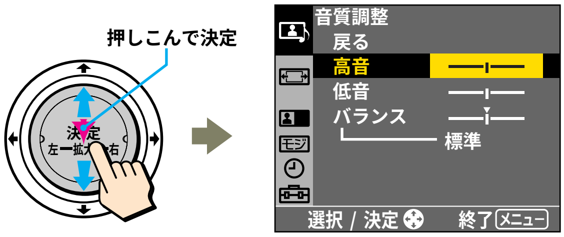
2 ↑/↓で「（画質/音質）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



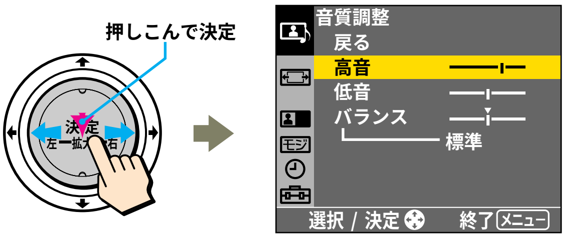
3 ↑/↓で「音質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



4 ↑/↓で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。



5 ←/→で調整し、真ん中を押しこんで決定する。



項目	←を押すと	→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左スピーカーの音が強くなる	右スピーカーの音が強くなる

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

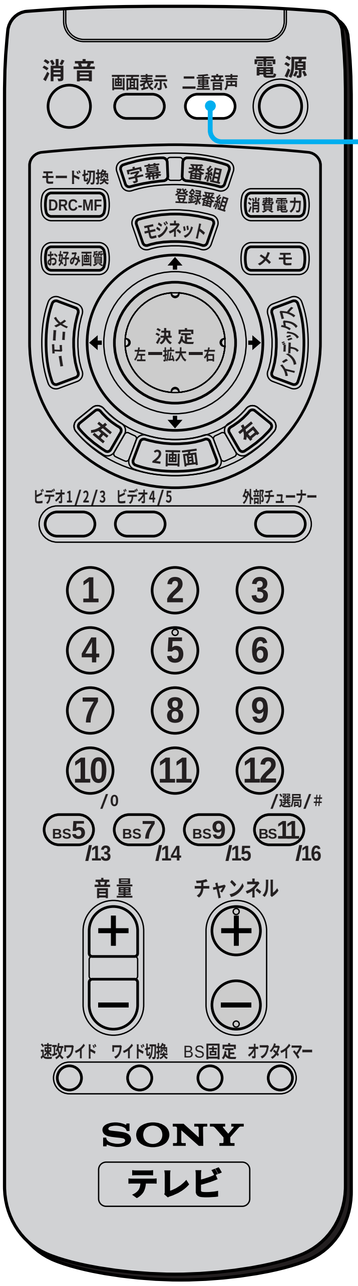
手順4で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ご注意

ヘッドホンの音質調整はできません。ヘッドホンで聞いているときに音質調整をすると、ヘッドホンを抜いたときに出るスピーカーからの音が調整されます。

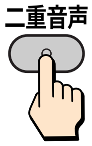
音声を切り換える
（二重音声）

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。



二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。



画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声

例：「主/副」を選んだとき

ちょっと一言

2画面のときは、操作画面の音声が切り換わります。

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

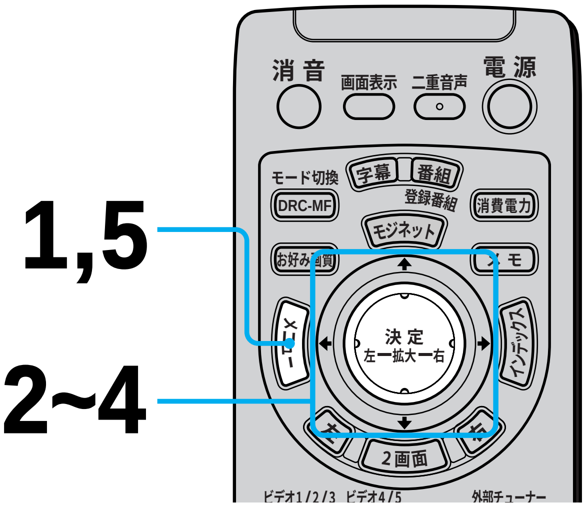
本体のボタンを使います。

1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、設定ボタンを押して、設定メニューを出す。**
2. **選択⇧/⇩ボタンで「🔊（音声設定）」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **「オートステレオ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**
4. **選択⇧/⇩ボタンで「切」にして、決定ボタンを押す。**
5. **設定ボタンを押して、設定メニューを消す。**

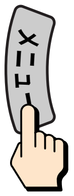
画面の上下位置/縦サイズを調整する

ワイド画像で次のようなときは、画面位置の上下や縦サイズを、画面モード（☞9ページ）ごとに調整できます。
• 「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
• 「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

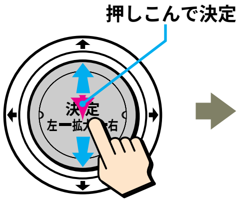
「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。

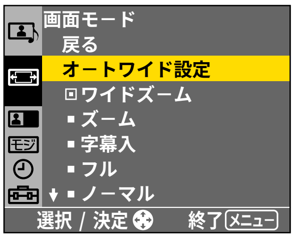


1 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。



2 ⬆/⬇で「（画面モード）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。





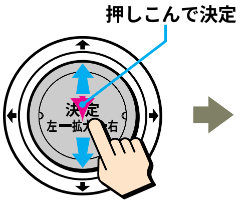
3 ⬆/⬇で調整したい項目を選ぶ。

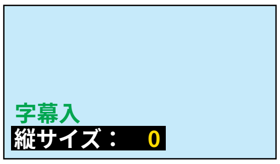
画面の上下位置を調整するときは

⬆/⬇で「画面位置　上下」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
「画面位置　上下」は、⬇を押し続けると出てくる画面にあります。

サイズを調整するときは

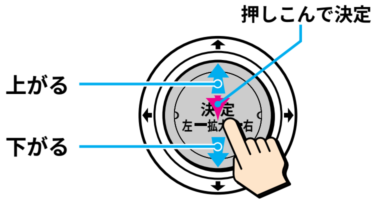
⬆/⬇で「縦サイズ」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
「縦サイズ」は、⬇を押し続けると出てくる画面にあります。



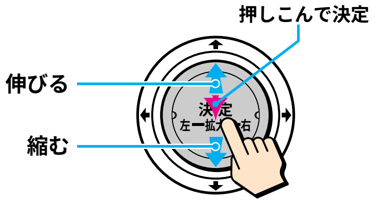


4 ⬆/⬇で調整して、真ん中を押しこんで決定する。

画面の上下位置を調整するときは



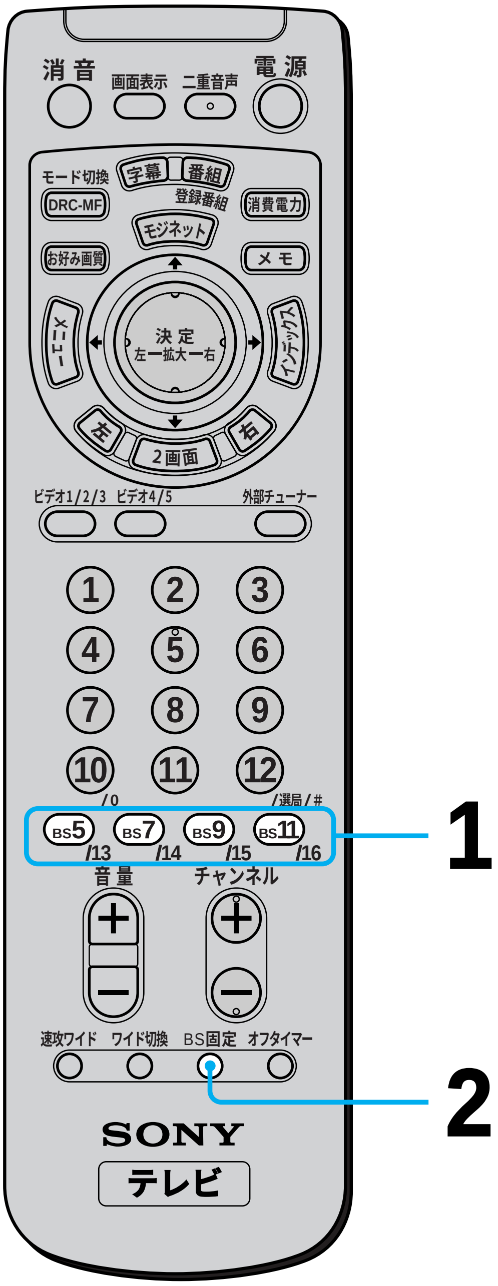
縦サイズを調整するときは



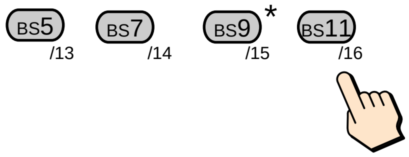
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BS放送を録画/予約録画する（BS固定）

本機内蔵のBSチューナーで、BS放送を本機につないでいるビデオに録画できます。また、録画するBSチャンネルを固定させて、裏録画や予約録画もできます。
あらかじめ、「ビデオをつなぐ」（☞51ページ）をしておいてください。



1 録画したいBSチャンネルを選ぶ。



* **ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を録画するときは**
MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ必要があります（☞56ページ）。詳しくは、必ずMUSE-NTSCコンバーターの説明書をご覧ください。

2 BS固定ボタンを押す。

本機BSチューナー部のBSチャンネルとBS/ビデオ出力端子から出る信号が固定されて、他のBSチャンネルに切り換わらなくなります。

3 S映像入力端子付きビデオのときは、ビデオ側で映像入力端子の信号を優先する設定にする。

本機のBS/ビデオ出力端子は映像出力端子のため、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてあると、映像信号がビデオに入力されないため、録画されません。
詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

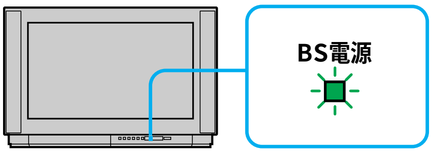
BS放送を録画/予約録画する（つづき）

4 ビデオを「外部入力（ライン入力）」に切り換えて、録画を始める。

詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

予約録画するときは

ビデオで「外部入力（ライン入力）」を録画予約し、本機のリモコンでテレビの電源を切る。
テレビの電源はスタンバイ状態になりますが、BSチューナー部の電源は48時間電源が入ったままになります（BS電源ランプが点灯）。



見ながら録画するときは

BS固定したBSチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。

裏番組として録画するときは

BSを録画しながら、テレビ放送（BS放送は除く）やビデオを見ることができます。見たいチャンネルやビデオ入力などを選んでください。

録画が終わったら/BS固定をやめるには

BS固定ボタンをもう1度押す。
BS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

ご注意

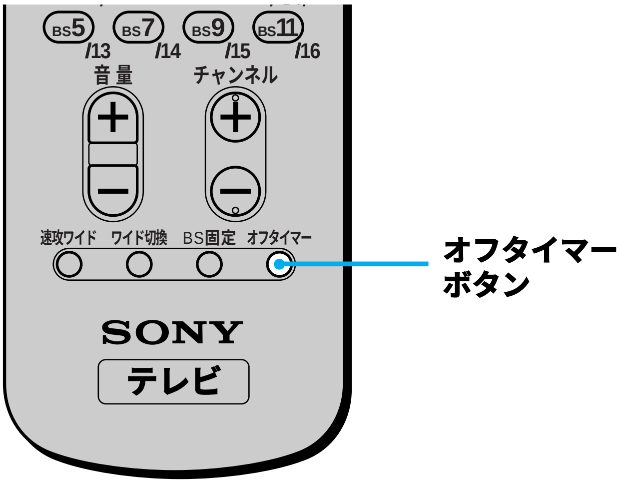
- テレビ本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- WOWOWなどスクランブル放送を録画するときは、BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れたままにしてください。

ちょっと一言

St. GIGAなど独立音声放送を録音するときは、メニューの「（各種切換）」で、「TV/独立音声」を「独立」にしてください。また、BSデコーダー（WOWOW）でも独立音声を選んでください。

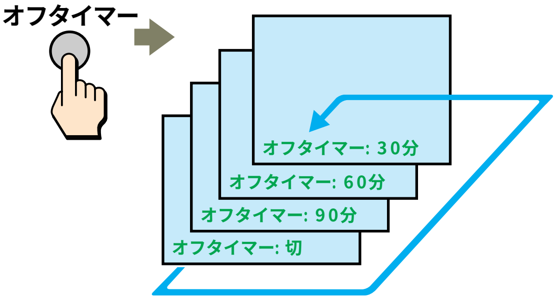
自動で電源を切る（オフタイマー）

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。



オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。



オフタイマーを途中でやめるには

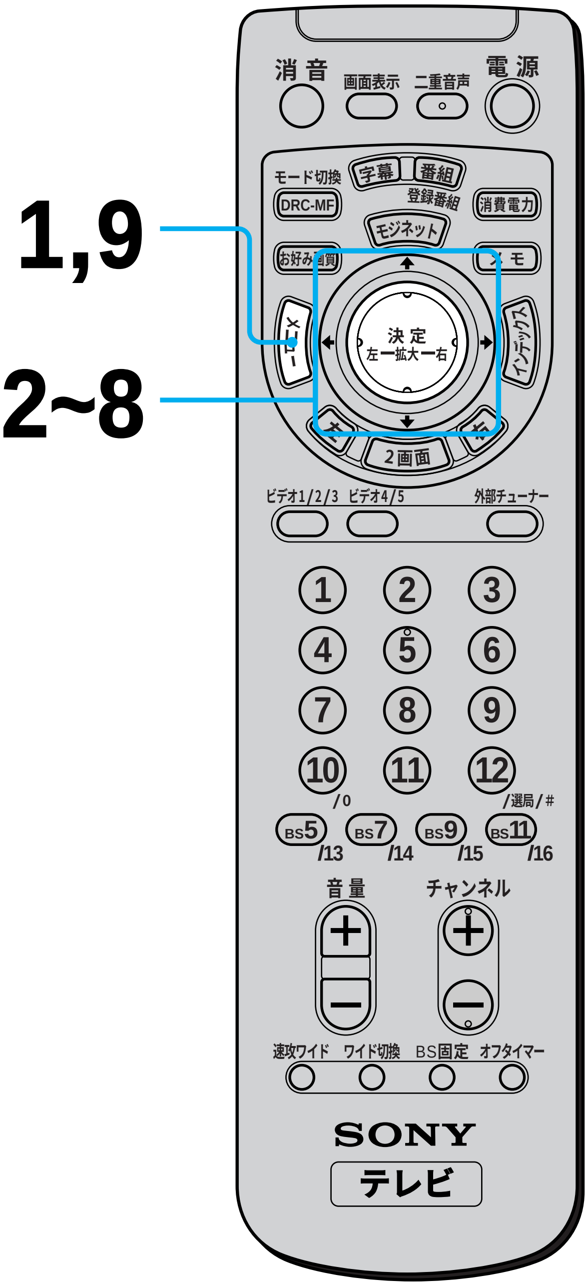
オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

ちょっと一言

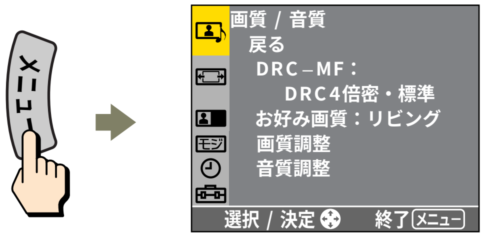
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「（タイマー）」から「オフタイマー」を選び、時間を選んでください。

時刻を設定し表示する

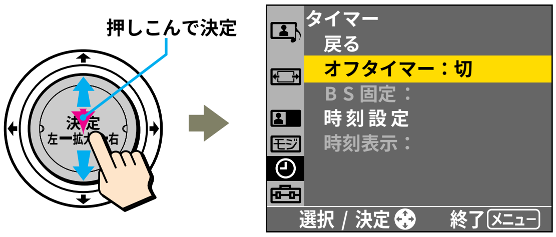
時刻を合わせて、画面に表示できます。



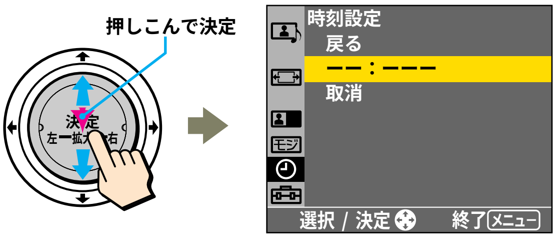
1 メニューボタンを押す。



2 ↑/↓で「◷（タイマー）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

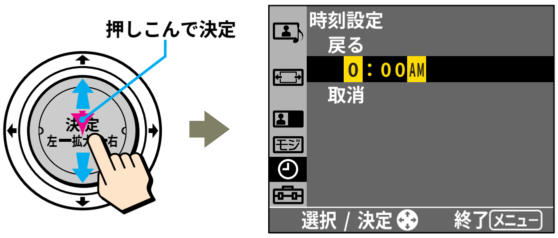


3 ↑/↓で「時刻設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



4 「－－：－－－」が選ばれていることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

「－－：－－－」が選ばれていないときは、↑/↓で選びます。



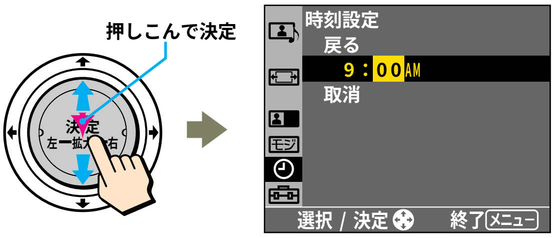
次のページにつづく

時刻を設定し表示する（つづき）

5 **「時」を設定する。**

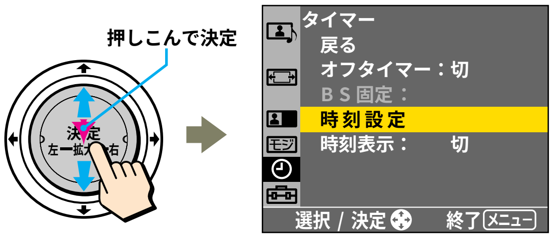
↑/↓で数字を選び、真ん中を押しこんで決定する。

昼の12時は「0:00PM」、夜の12時は「0:00AM」と表示されます。

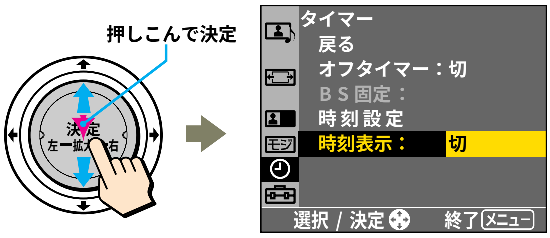


6 **「分」を設定する。**

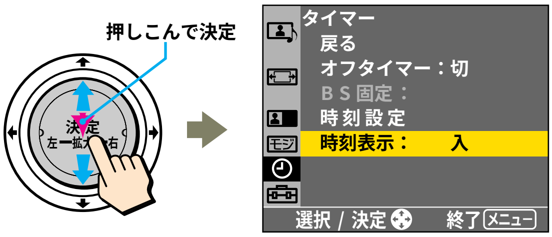
↑/↓で数字を選び、時計に合わせて真ん中を押しこんで決定する。



7 **↑/↓で「時刻表示」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

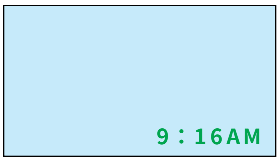


8 **↑/↓で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**



9 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

画面に時刻が表示されます。

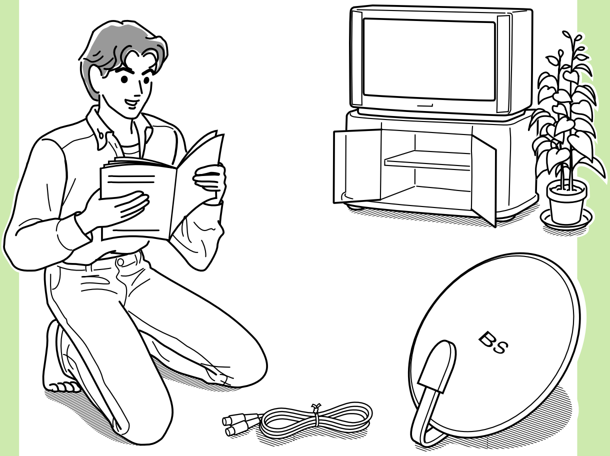


時刻の表示を消すには

「時刻を設定し表示する」（☞33ページ）の手順1、2を行った後、手順3〜6をとばして、手順8で「切」を選ぶ。

テレビの接続と準備

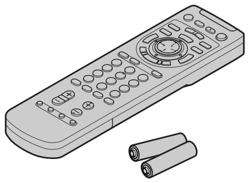
ここでは、テレビアンテナとBSアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定や、BS放送を見るための設定を説明しています。
手順1～4（☞38～46ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞49～60ページ）をご覧ください。



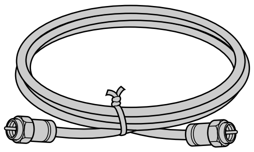
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）

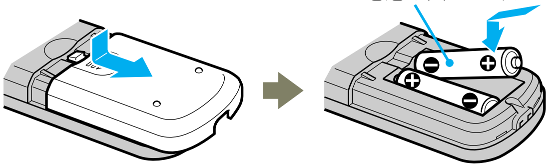


アンテナ接続ケーブル
（約1.5m:1本）



取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

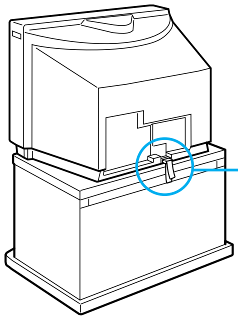
リモコンに電池を入れるには

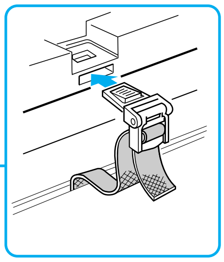


テレビの転倒を防ぐために

お子様が、テレビスタンドに載せた本機に登ったり、本機を押したりすると、テレビスタンドから本機が落ちる恐れがあります。
必ず下記を使って、転倒を防いでください。

- テレビスタンド固定ベルト（別売り）
  BLT-R10
- 固定ベルト付属のテレビスタンド（別売り）
  KV-32DR9: SU-F300P、SU-F300、SU-32V
  KV-36DR9: SU-F300P、SU-F300

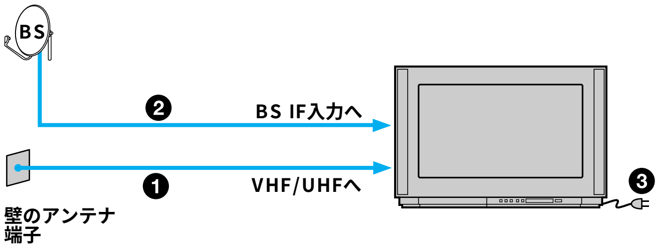




接続と準備の早わかり

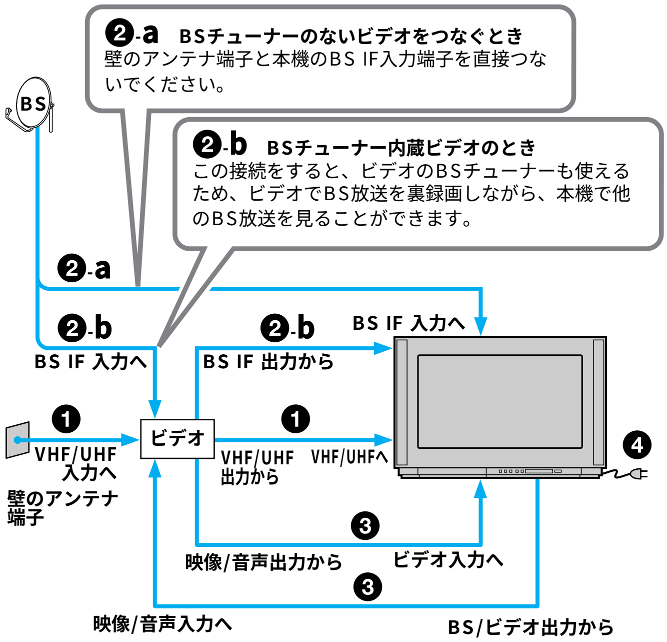
接続と準備のしかたは、放送の種類や接続する機器によって異なります。
ここでは代表的な組み合わせをあげていますので、参考にしてください。詳しくは（　）内のページ、および接続するビデオなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。
BSアンテナの接続およびBS受信の設定は、BS放送を受信しないときは不要です。

テレビ



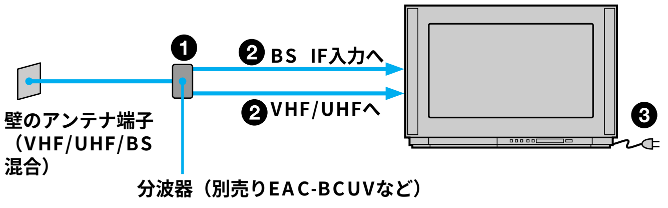
❶ テレビアンテナをつなぐ（☞38ページ）
❷ BSアンテナをつなぐ（☞40ページ）
❸ 電源コードをつなぐ
❹ テレビチャンネルを設定する（☞41ページ）
❺ BS受信の設定をする（☞44ページ）

テレビ＋ビデオ



❶ テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞51～53ページ、およびビデオの取扱説明書）
❷ BSアンテナをつなぐ
❷-a　BSチューナーのないビデオのとき:
BSアンテナをテレビにつなぐ（☞40ページ）
❷-b　BSチューナー内蔵ビデオのとき:
BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞40ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ ビデオをつなぐ（☞51～53ページ）
❹ 電源コードをつなぐ
❺ テレビチャンネルを設定する（☞41ページ）
❻ BS受信の設定をする（☞44ページ）

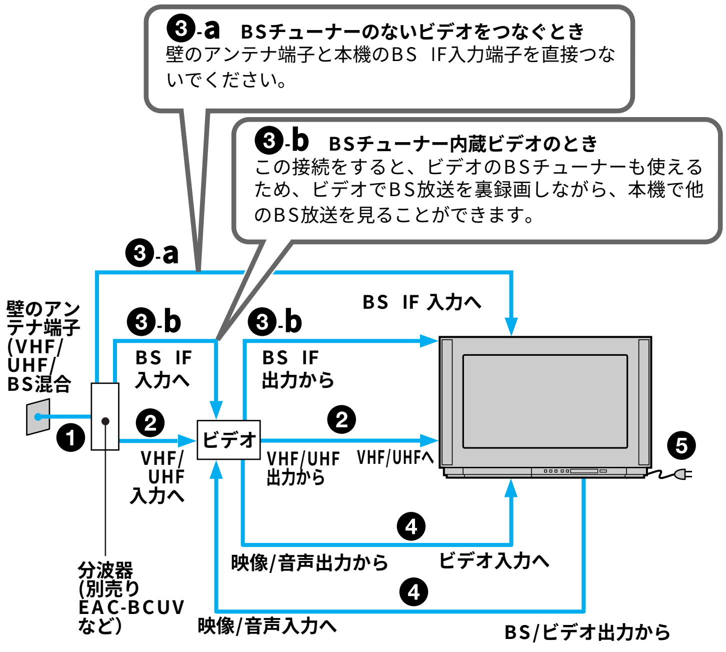
マンションなどの共同受信システム*1



*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける（☞39ページ）
❷ VHF/UHFとBSをつなぐ（☞39ページ）
❸ 電源コードをつなぐ
❹ テレビチャンネルを設定する（☞41ページ）
❺ BS受信の設定をする（☞44ページ）

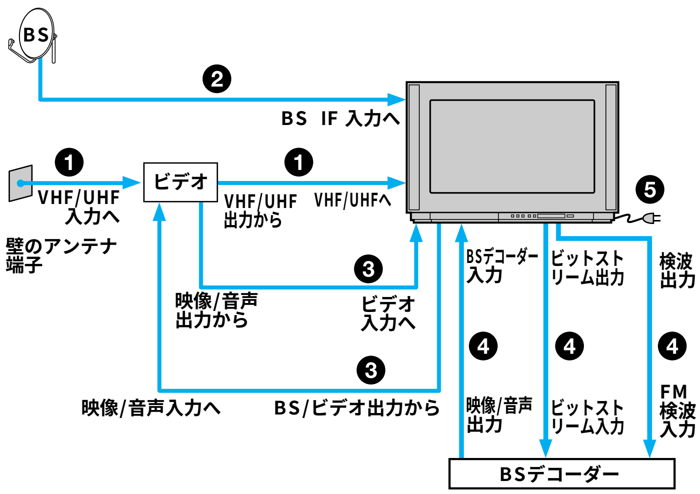
マンションなどの共同受信システム*1＋ビデオ



*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける（☞39ページ）
❷ テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞51～53ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ BSアンテナをつなぐ
　❸-a　BSチューナーのないビデオのとき:
　　BSアンテナをテレビにつなぐ（☞40ページ）
　❸-b　BSチューナー内蔵ビデオのとき:
　　BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞40ページ、およびビデオの取扱説明書）
❹ ビデオをつなぐ（☞51～53ページ）
❺ 電源コードをつなぐ
❻ テレビチャンネルを設定する（☞41ページ）
❼ BS受信の設定をする（☞44ページ）

テレビ＋WOWOW＋ビデオ*2



❶ テレビアンテナをビデオを経由してからテレビにつなぐ（☞51～53ページ）
❷ BSアンテナをつなぐ（☞40ページ）
❸ ビデオをつなぐ（☞51～53ページ）
❹ BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ（☞54～55ページ）
❺ 電源コードをつなぐ
❻ テレビチャンネルを設定する（☞41ページ）
❼ BS受信の設定をする（☞44ページ）

*2 BSチューナー内蔵ビデオのときの接続は、左の図とは異なります。「BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ:BSチューナー内蔵ビデオのとき」（☞55ページ）の接続を行ってください。

ケーブルテレビ

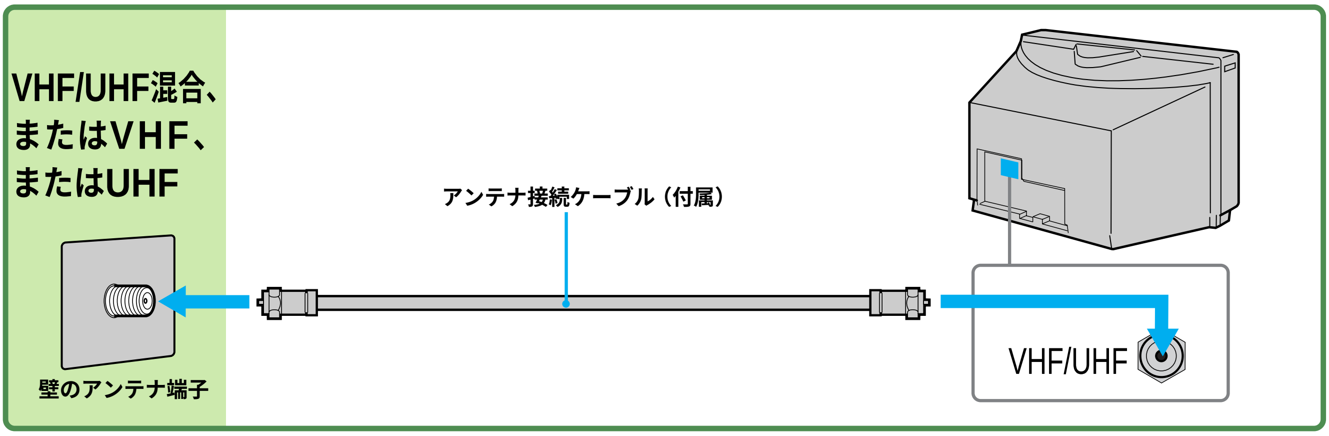
ケーブルシステムによって接続や準備のしかたが異なります。ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

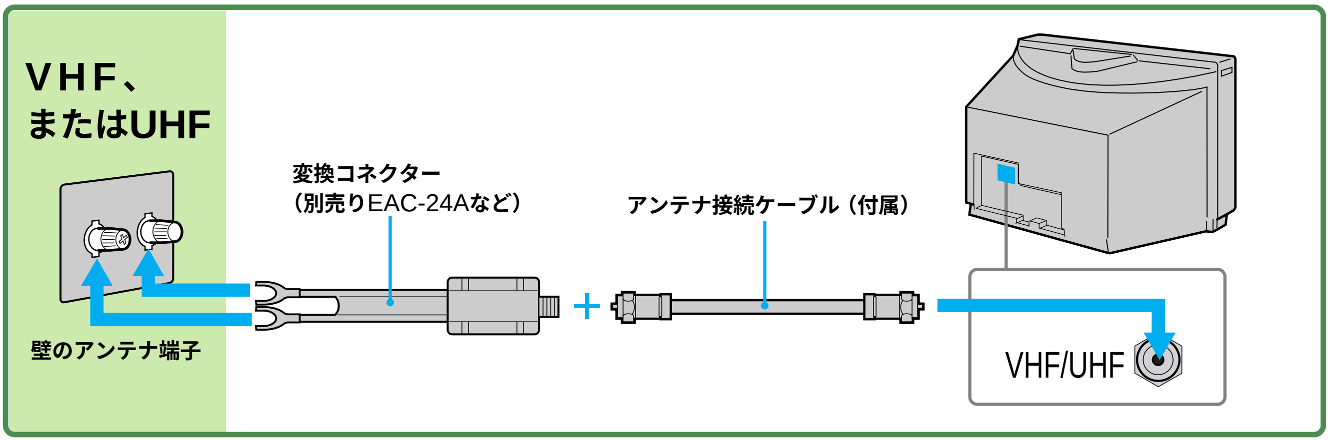
テレビは壁から10cm以上離して設置してください

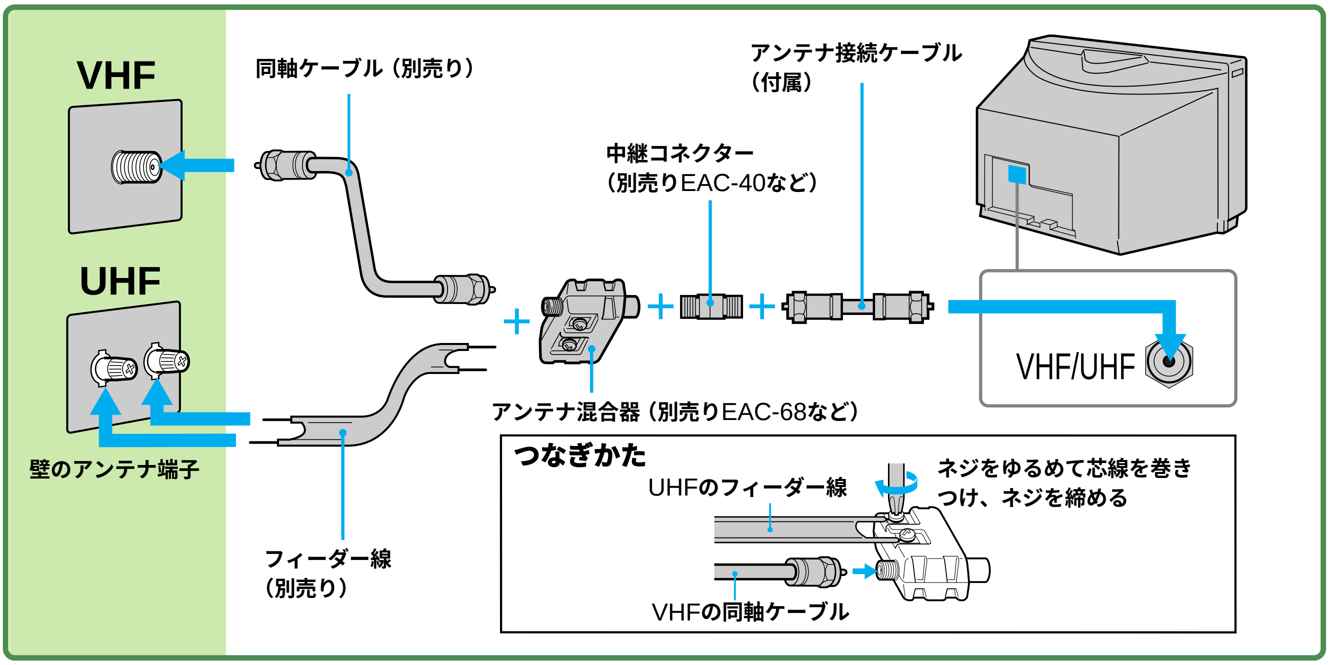
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

手順1:テレビアンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

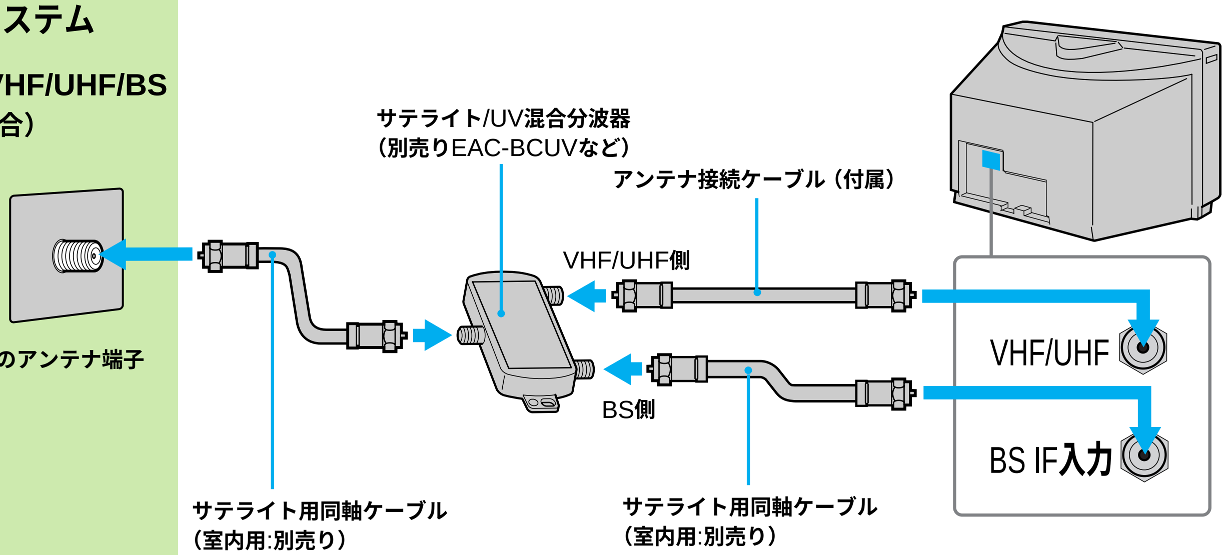






マンションなどの共同受信システム

（VHF/UHF/BS混合）



きれいな画像をお楽しみいただくために

本機には、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線または同軸ケーブルのどちらであっても、**必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。**
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

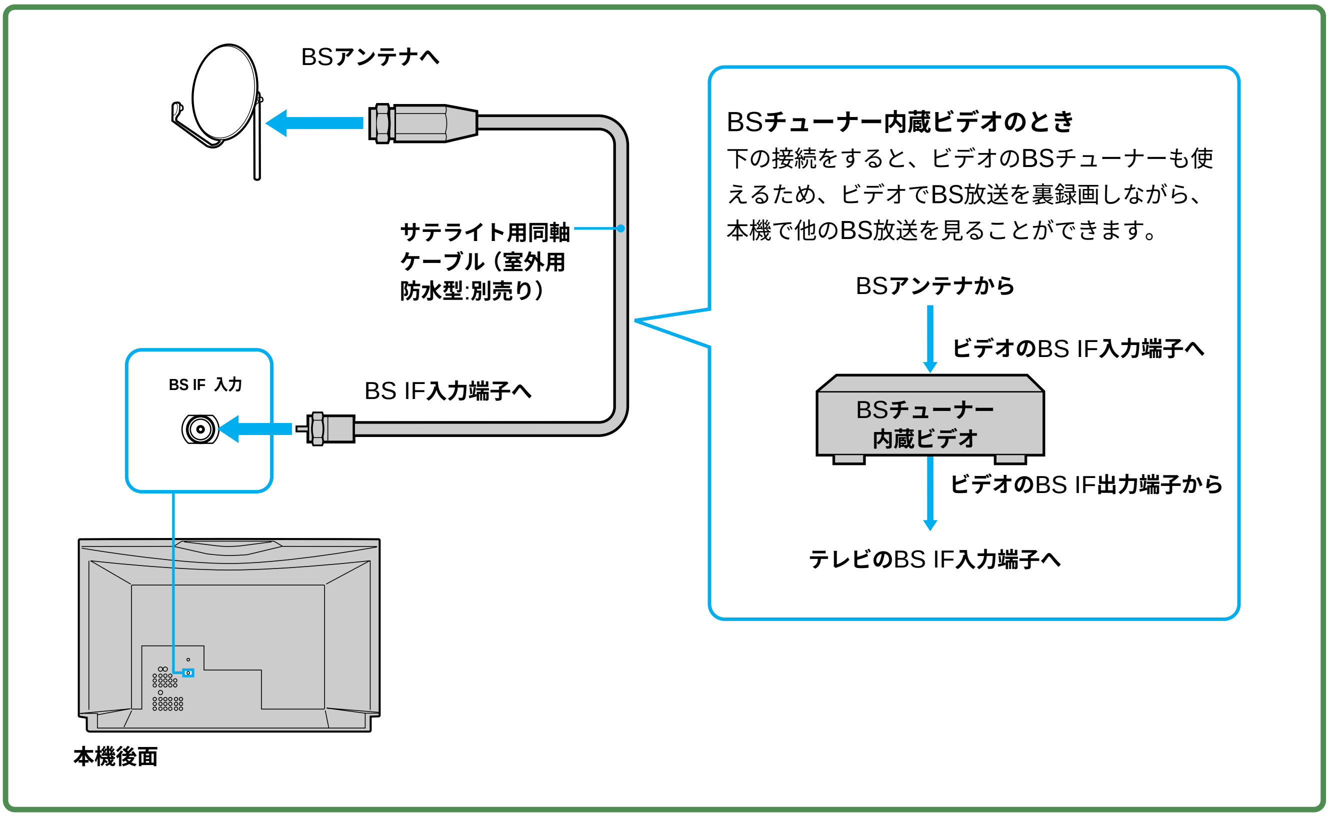
- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。
- BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル（室内用:別売り）をつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など）を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分波器を使うと、 BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

ちょっと一言

マンションなどの共同受信システムで、BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、サテライトブースター（別売りBO-BC20など）をつないでください。また、設定メニューの「（BS設定）」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてください（☞44ページ）。

手順2:
BSアンテナをつなぐ

BSアンテナをテレビに直接つなぎます。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、☞39ページをご覧ください。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。
WOWOWをご利用になるときは、「BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ」（☞54ページ）もあわせてご覧ください。



ご注意

- BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
  推奨ケーブル
  – 室外用防水型:SAK-C10/C20/C30など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – 雷、雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞45ページ）
  – 春分や秋分、日食など、太陽と地球とBS衛星が並んだ（食）とき
- BS IF入力端子につないだサテライト用同軸ケーブルの芯線と端子のまわりの金属部分が触れて、ショートしないようにご注意ください。
- サテライト分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など）を必ずお使いください。
  特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分波器を使うと、 BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。
- BSアンテナをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子を傷めることがあります。

「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たら

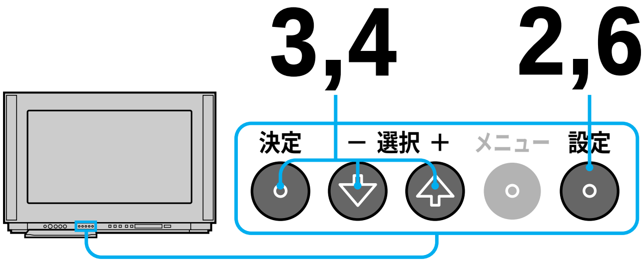
- マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「(BS設定)」で、「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください（☞44ページ）。
- BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

手順3:
チャンネルを設定する

VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。BS放送はお買い上げ時に設定されています。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞42、43ページをご覧ください。



本体のボタンを使います。

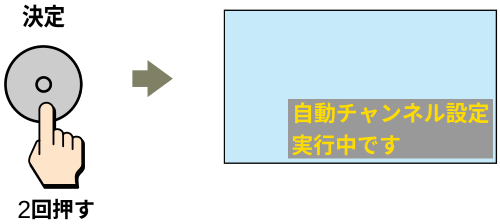
1 電源を入れ、VHF/UHF放送を映す。

2 設定ボタンを押す。

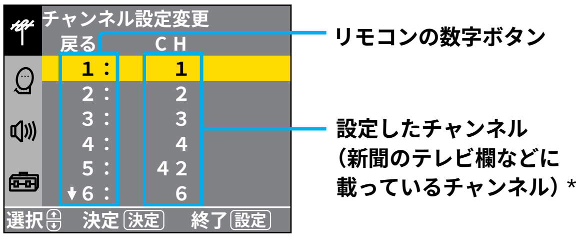
3 「(テレビ設定)」が選ばれている（黄色になっている）ことを確認した後、決定ボタンを押す。

4 「自動チャンネル設定」が選ばれていて（黄色になっていて）、「入」になっていることを確認した後、決定ボタンを2回押す。

「切」になっているときは、決定ボタンを1回押した後、選択⇧/⇩ボタンで「入」を選び、決定ボタンを押す。



「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。



* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

5 設定されたチャンネルを確認し、必要があれば、手動で設定し直す（☞42ページ）。

6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順4で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、設定ボタンを押す。

次のページにつづく

手順3:
チャンネルを設定する（つづき）

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。
詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

本体のボタンを使います。

1. **ダイレクト選局になっていることを確認する（☞46ページ）。**
2. **設定ボタンを押して、設定メニューを出す。**
3. **選択⇧/⇩ボタンを押して「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **選択⇧/⇩ボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **選択⇧/⇩ボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **選択⇧/⇩ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**
7. **選択⇧/⇩ボタンを押して、ケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。**
8. **選択⇧/⇩ボタンを押して、「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。**
   ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
   例:C24
9. **設定ボタンを押して、設定メニューを消す。**

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞46ページ）をするときは、上記で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1〜12のチャンネル数字ボタンと、BS5、7、9、11のBSチャンネルボタンの合計16チャンネルのすべてを、手動で設定できます。

ご注意

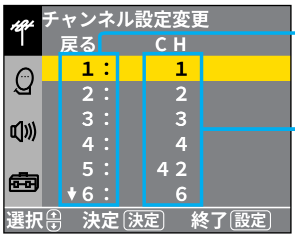
BS5、7、9、11ボタンは、ボタン名と同じBSチャンネル用としてだけでなく、13、14、15、16チャンネルボタンとしても使えます。ただし、ボタン名と異なる他のチャンネルに設定し直すと、各ボタンを押しても、BS5、7、9、11チャンネルを直接選局できなくなります。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

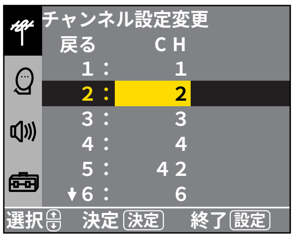
リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

本体のボタンを使います。

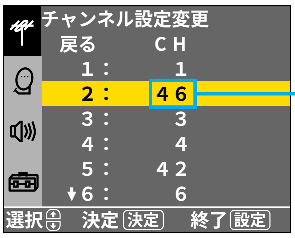
1. **設定ボタンを押して、設定メニューを出す。**
2. **選択⇧/⇩ボタンで「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **選択⇧/⇩ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**



4. **選択⇧/⇩ボタンで変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。**



5. **選択⇧/⇩ボタンで設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。**



6. **設定ボタンを押して、設定メニューを消す。**

チャンネル表示を書き換えるには

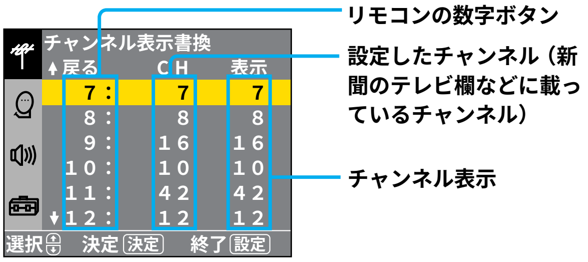
画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

本体のボタンを使います。

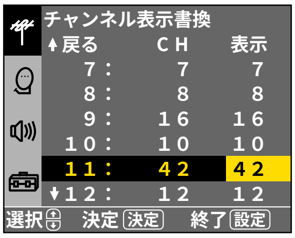
1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。

2 選択⇧/⇩ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

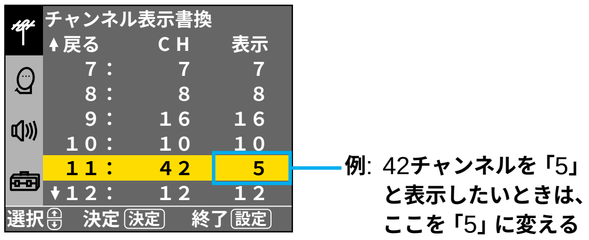
3 選択⇧/⇩ボタンで「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択⇧/⇩ボタンで書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



5 選択⇧/⇩ボタンでチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。



6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ちょっと一言

- チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。
- BS放送のチャンネル表示は書き換えられません。

放送のないチャンネルをとばすには

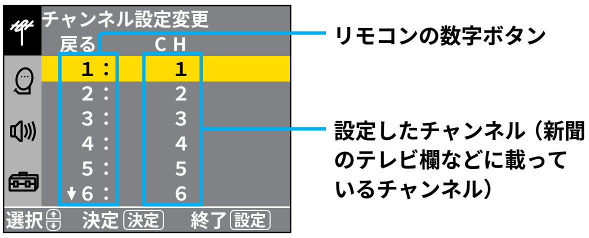
チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときや、チャンネルを一覧表示する（☞14ページ）ときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

本体のボタンを使います。

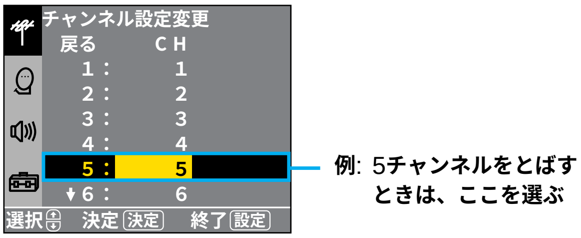
1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。

2 選択⇧/⇩ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

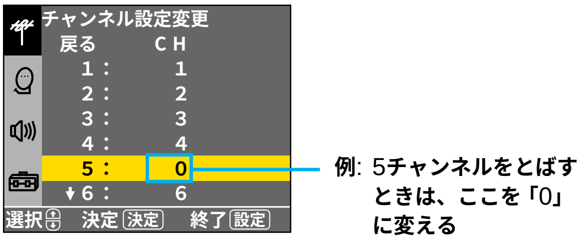
3 選択⇧/⇩ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択⇧/⇩ボタンでとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



5 選択⇧/⇩ボタンで「CH」を「0」に変えて、決定ボタンを押す。



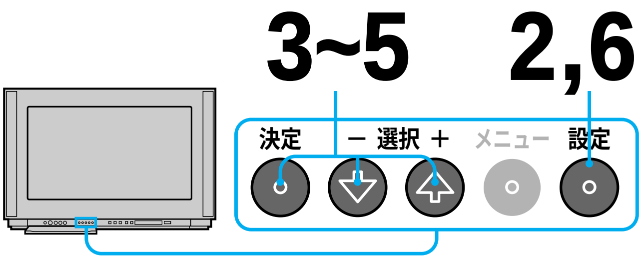
6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

手順4:
BS受信の設定をする

BS放送を見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きを調整してください。

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、テレビなどに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。

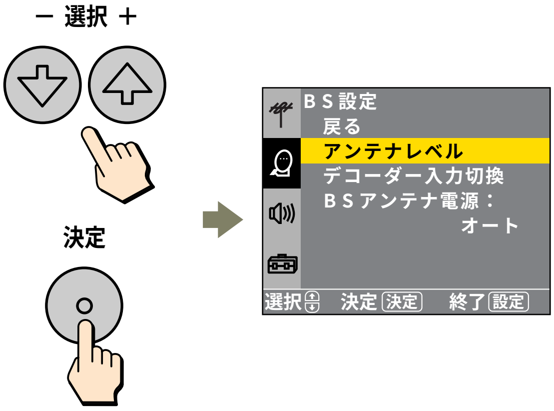


本体のボタンを使います。

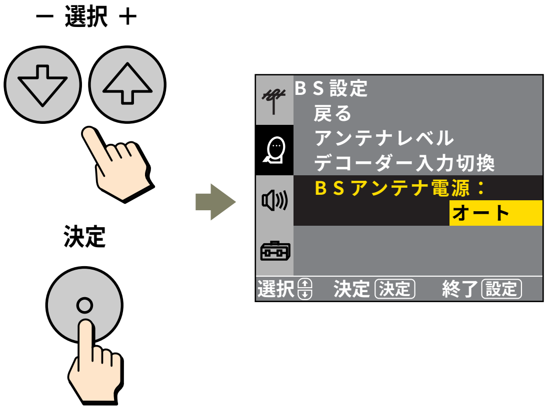
1 電源を入れ、BS放送を映す。

2 設定ボタンを押す。

3 選択⇧/⇩ボタンで「(BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択⇧/⇩ボタンで「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す。



5 マンションなどの共同受信システムのときは

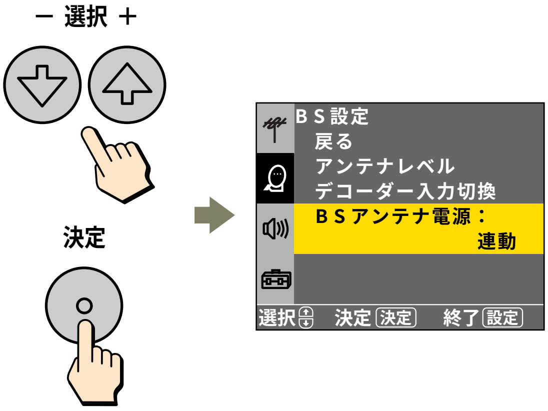
選択⇧/⇩ボタンで「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは

選択⇧/⇩ボタンで「オート」または「連動」を選び、決定ボタンを押す。

設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
●オート	テレビの電源が入っているときに、テレビがBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。テレビの電源が切れているときは供給しない。
連動	テレビの電源が入っているときはつねに電源を供給する。テレビの電源が切れているときは供給しない。BSが映ったり消えたりするときに選んでください。
切	電源を供給しない。

●：お買い上げ時の設定



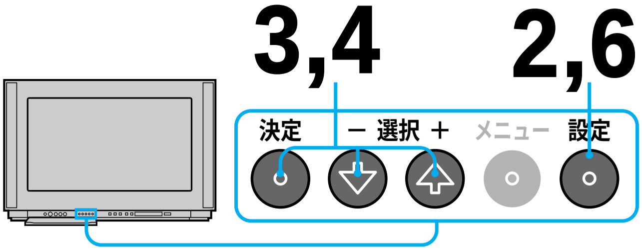
6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意
- 「オート」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「連動」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分波器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「連動」にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器にBS電源が供給されません。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナをテレビに直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がレベル表示が最大になるように、BSアンテナを動かしながら調整します。
向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
「BSアンテナ電源」が「切」になっているときは、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください（☞44ページ）。

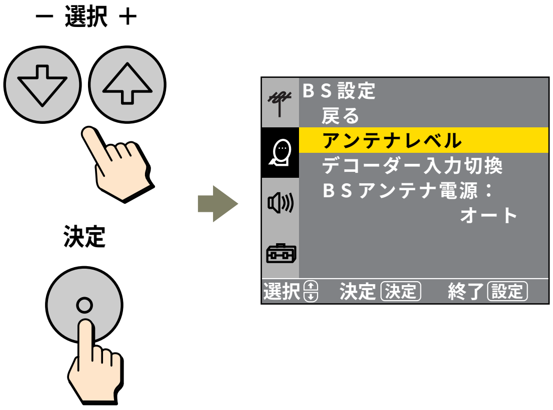


本体のボタンを使います。

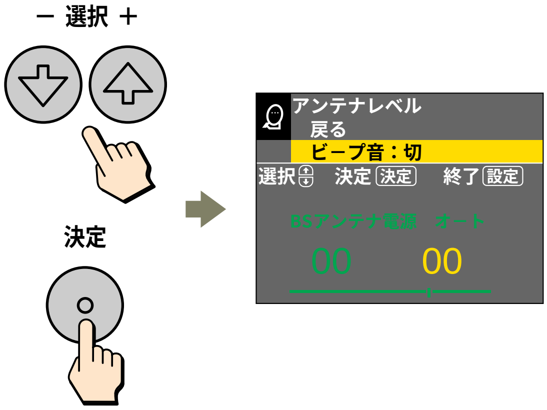
1 **電源を入れ、BS放送を映す。**

2 **設定ボタンを押す。**

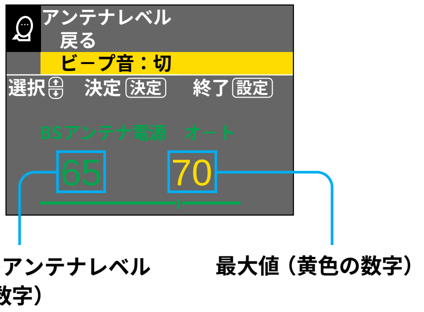
3 **選択⇧/⇩ボタンで「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**



4 **選択⇧/⇩ボタンで「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **BSアンテナを動かして調整する。**
受信中のアンテナレベルが最大値と一致、または一番近づいたところでBSアンテナを固定します。



6 **設定ボタンを押して、設定メニューを消す。**

音を聞いて調整するには
画面で確認できないときに便利です。
1 手順4のあと、選択⇧/⇩ボタンで「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。
2 選択⇧/⇩ボタンで「入」を選び、決定ボタンを押す。
3 手順5で連続した最大音になるよう、BSアンテナを調整する。

ちょっと一言
1つのBSチャンネルで調整すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

次のページにつづく

手順4:
BS受信の設定をする（つづき）

デコーダー入力を設定する

お買い上げ時は、すべてのBSチャンネルが「オート」に設定されているため、**設定しなおす必要はありません。**「オート」になっていると、BSデコーダー入力端子につないだBSデコーダー（WOWOW）などのスクランブルを自動的に判別するからです。あえて、設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

ちょっと一言
MUSE-NTSCコンバーターをBSデコーダー入力端子につなぐときは、56ページの設定をしてください。

本体のボタンを使います。

1 **本機でBS放送を映す。**

2 **設定ボタンを押して、設定メニューを出す。**

3 **選択⇧/⇩ボタンで「（BS設定）」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択⇧/⇩ボタンで「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **選択⇧/⇩ボタンでチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**
BS9〜15を設定するときは、⇩ボタンを押し続けると出てくる画面にあります。

6 **選択⇧/⇩ボタンで「テレビ」、「デコーダー」、「オート」を選び、決定ボタンを押す。**

設定	内容
オート	BSデコーダー（WOWOW）などのスクランブルを自動判別
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す

7 **他のBSチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。**

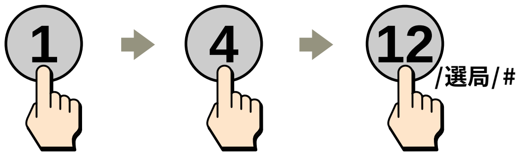
8 **設定ボタンを押して、設定メニューを消す。**

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ（10キー選局）

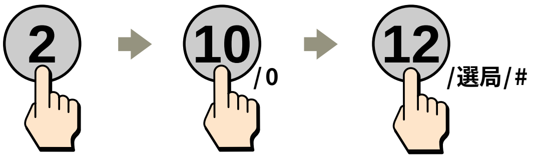
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大16局です。
そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が16局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫（＝選局）ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

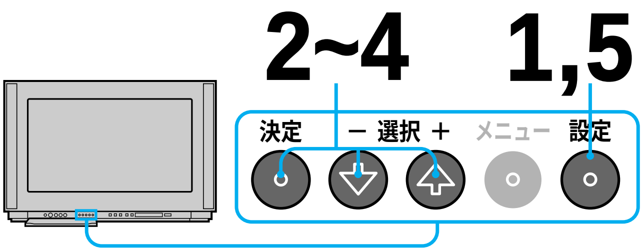
ちょっと一言
BS放送は、「10キー選局」に変えても、リモコンのBS5〜11ボタンを押して、直接選べます。

例）14**チャンネル**



20**チャンネル**

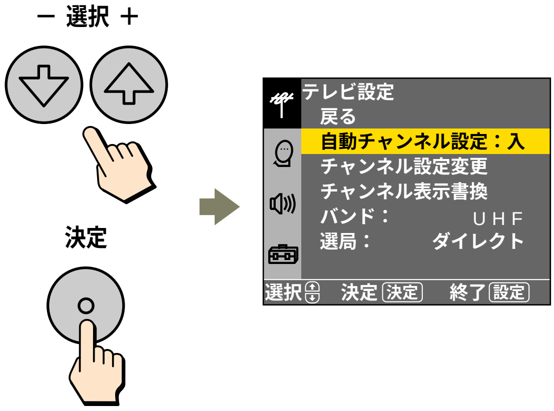




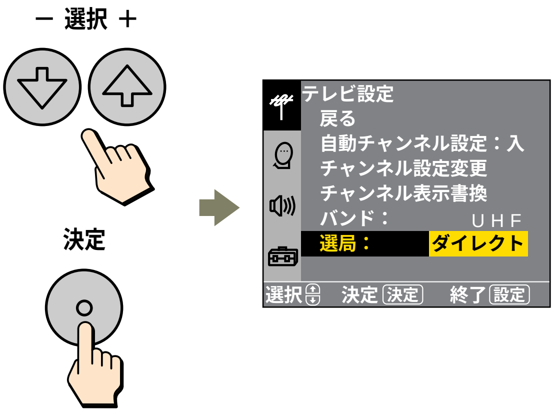
本体のボタンを使います。

1 設定ボタンを押す。

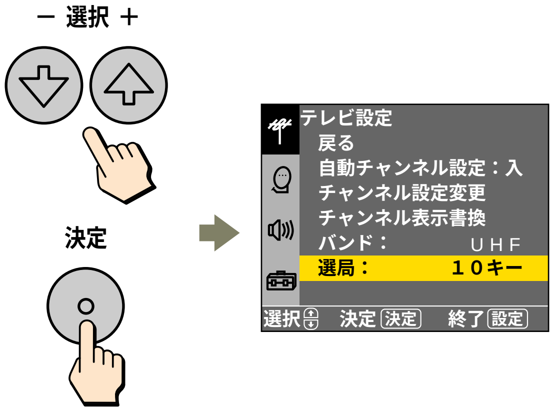
2 選択⇧/⇩で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。



3 選択⇧/⇩で「選局」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択⇧/⇩で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。



5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞41ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
  1. 選択⇧/⇩で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2. 選択⇧/⇩で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3. 手順3以降を行う。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1〜12チャンネルとBS5、BS7、BS9、BS11が順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

本体のボタンを使います。

1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。

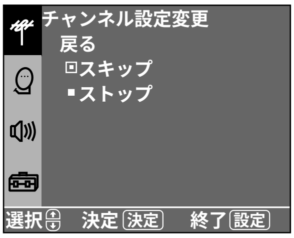
2 選択⇧/⇩ボタンで「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択⇧/⇩ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選ぶ。

例：24チャンネルのとき

5 選択⇧/⇩ボタンで見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選び、決定ボタンを押す。

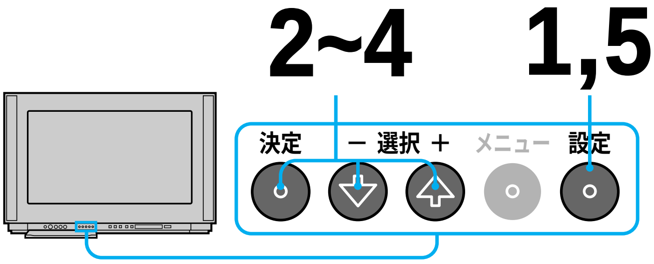


6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。

7 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

画像の傾きを補正する

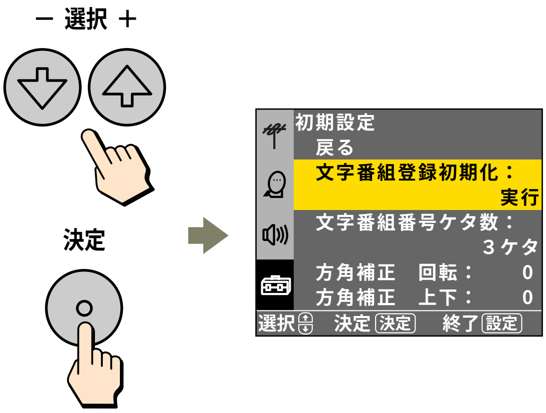
地磁気の影響で、画像が傾いたり、画面の上下位置がずれることがあります。このときは、テレビの向きを変えてみるか、次のように補正してください。



本体のボタンを使います。

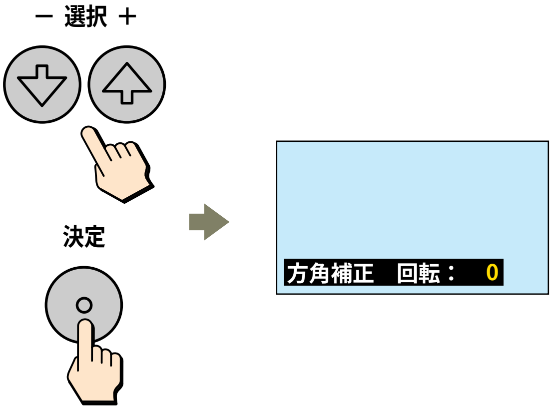
1 設定ボタンを押す。

2 選択⇧/⇩ボタンで「(初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。



3 選択⇧/⇩ボタンで「方角補正　回転」または「方角補正　上下」を選び、決定ボタンを押す。

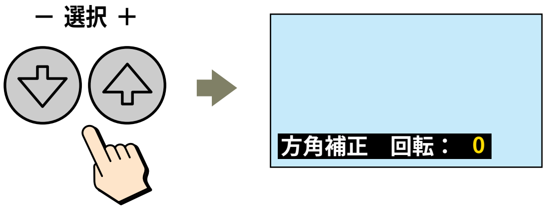
画像が傾いているときは「方角補正　回転」を、画面の上下位置がずれているときは「方角補正　上下」を選びます。



4 選択⇧/⇩ボタンで調整する。

手順3で「方角補正　回転」を選んだとき
画像を見ながら、画面内の水平の線ができる限り水平になるようにします。数値は−10〜＋10の範囲で変わります。

手順3で「方角補正　上下」を選んだとき
画面の上下位置を補正します。数値は−5〜＋5の範囲で変わります。



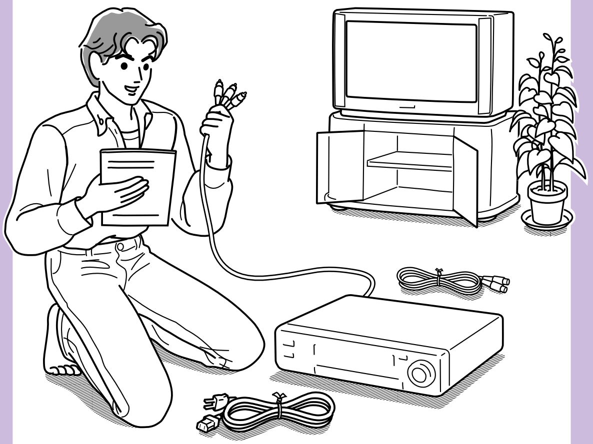
5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

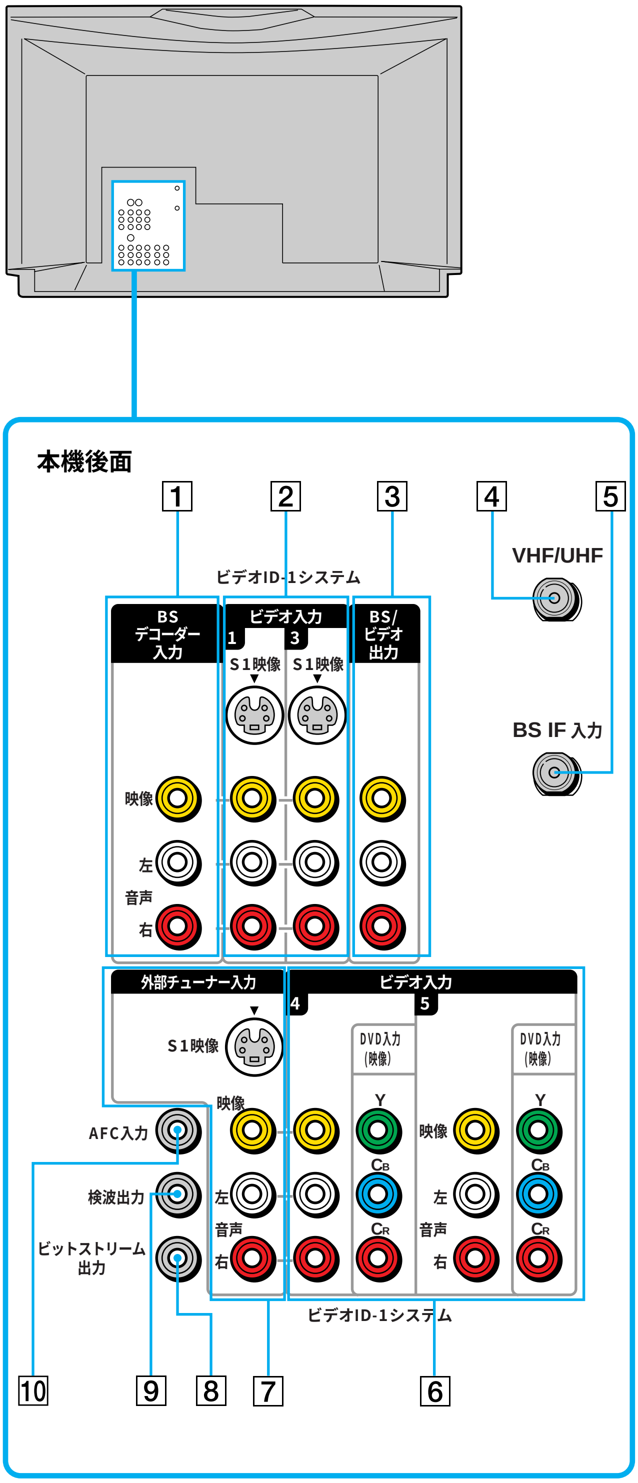
ご注意
高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のため、うまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。
また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。それでも、うまく補正されないときも、ご相談ください。

他機との接続

接続端子の名前とはたらき

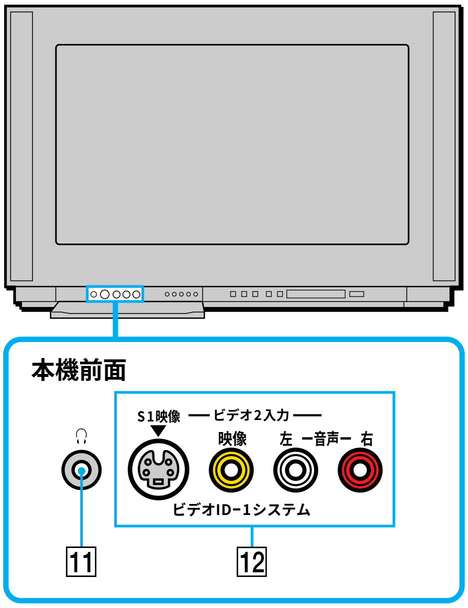
ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞35～48ページ）をご覧ください。





次のページにつづく

接続端子の名前とはたらき（つづき）



☞のページに詳しい説明があります。

1 **BSデコーダー入力端子（映像/音声）（ID-1システム）（☞54〜57ページ）**
BSデコーダー（WOWOW）やMUSE-NTSCコンバーターの映像/音声出力端子につなぎます。

2 **ビデオ1、3入力端子（S1映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞51〜53ページ）**
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなど、ビデオ機器のビデオ出力端子につなぎます。

3 **BS/ビデオ出力端子（映像/音声）（ID-1システム）（☞52ページ）**
ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。VHF/UHF、BS、ビデオ2〜5入力、外部チューナー入力の信号を出力します。
また、BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。

ご注意
- ビデオ1入力端子につないだ機器、およびビデオ4、5入力のDVD入力（映像）端子につないだ機器の信号は出力しません。
- BS固定（☞31ページ）の状態により、以下の信号を出力します。

BS固定が「切」のとき:
テレビに映っている映像と音声を出力します。

BS固定が「入」のとき:
テレビに映っている映像と音声には関係なく、固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。

多画面のときのご注意
- 2画面（☞11ページ）のときは、左画面の信号を出力します。
- インデックス（☞14ページ）のときは、中央画面の信号を出力します。

4 **VHF/UHFアンテナ端子（☞38〜39ページ）**
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

5 **BS IF入力端子（☞40ページ）**
BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。
BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

6 **ビデオ4、5入力端子（DVD入力（映像）/映像/音声）（ID-1システム）（☞59ページ）**
DVD入力（映像）端子
DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子（Y/C_B/C_Rまたは、Y/B–Y/R–Y、Y/P_B/P_R）につなぎます。

映像入力端子
ビデオ機器の映像出力端子につなぎます。
音声入力端子
ビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

ご注意
- DVD入力（映像）端子にハイビジョン機器はつなげません。
- DVD入力（映像）端子と映像入力端子の両方にビデオ機器をつないで、両方の端子から映像信号が入力されているときは、DVD入力（映像）端子の映像信号が優先されます。

7 **外部チューナー入力端子（S1映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞58ページ）**
デジタルCSチューナーなどの映像/音声出力端子につなぎます。ビデオ機器などもつなげます。

ちょっと一言
リモコンの外部チューナーボタンを押したときは、デジタルCSチューナーなど、この端子につないだ外部チューナー機器の画像を直接選べます。そのため、他のビデオ入力端子のS1映像/映像/音声端子と同じ仕様の端子ですが、あえて名称を変えています。

8 **ビットストリーム出力端子（☞54〜55ページ）**
BSデコーダー（WOWOW）のビットストリーム入力端子につなぎます。また、将来的に考えられている新放送システムにも対応します。

9 **検波出力端子（☞54〜55ページ）**
BSデコーダー（WOWOW）のFM検波入力端子につなぎます。

10 **AFC入力端子（☞56〜57ページ）**
MUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子につなぎます。

11 **ヘッドホン端子（☞13ページ）**
ヘッドホンをつなぎます。

12 **ビデオ2入力端子（S1映像/映像/音声）（ID-1システム）（☞59ページ）**
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、下表の端子につないでください。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

つなぐ機器	つなぐ端子
テレビチューナー BSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ*2 ビデオカメラの再生	S1映像
デジタルCSチューナー	S1映像
DVDプレーヤー*3	S1映像
テレビゲーム	S1映像

*1 三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
*2 TBC（タイムベースコレクター）内蔵ビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も含みます。
*3 コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは、本機のビデオ4、5入力のDVD入力（映像）端子につないでください（☞59ページ）。

本機ビデオ1～3入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

1 **ビデオ1/2/3ボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「 （各種切換）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

4 **↑/↓で「S映像」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **S1映像入力端子から入力された画像を見るときは**
↑/↓で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

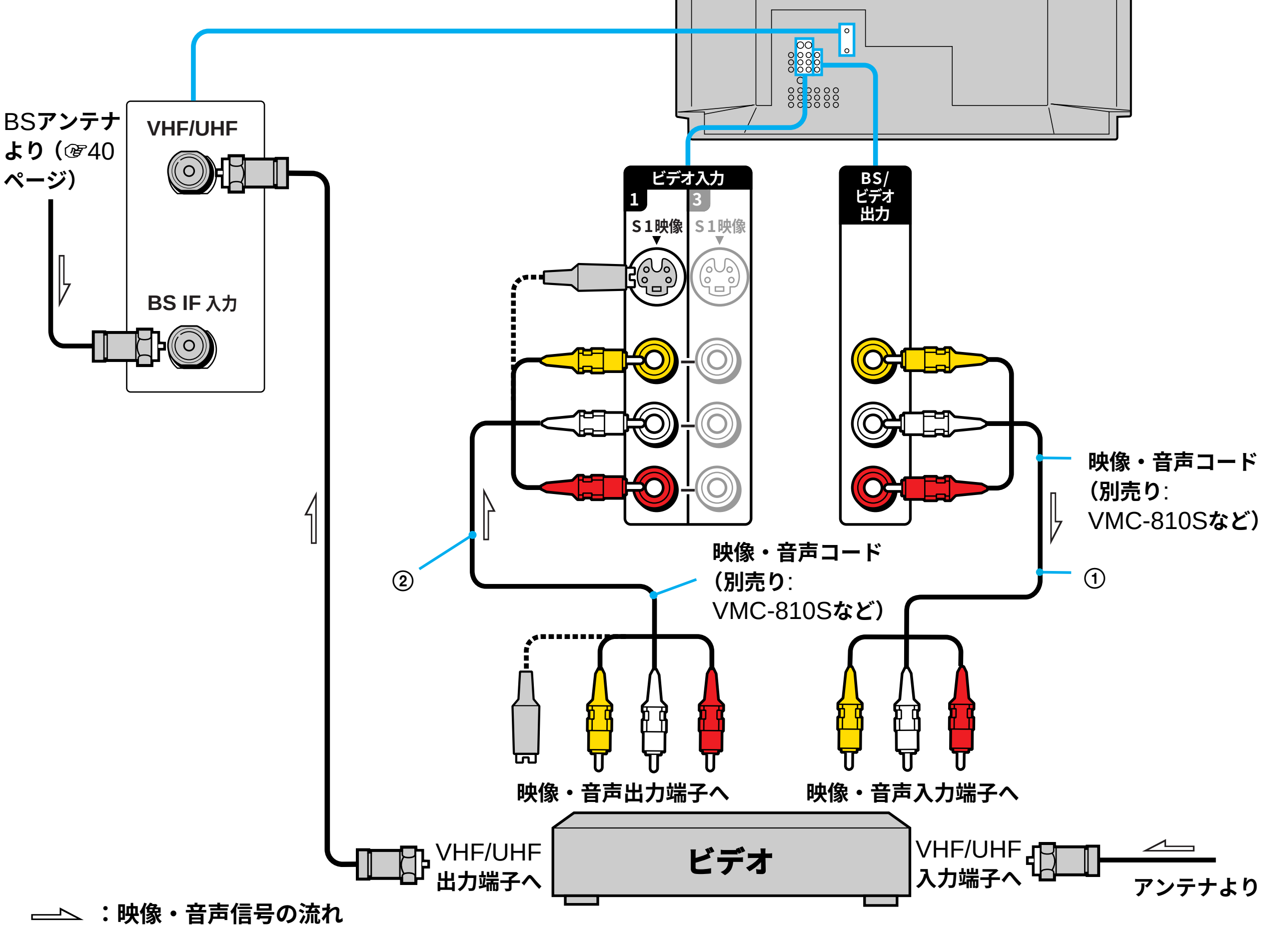
映像入力端子から入力された画像を見るときは
↑/↓で「切」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

次のページにつづく

BSチューナーのないビデオのとき

BS放送を録画したり（必ずBS固定にしてください☞31ページ）、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



①BS放送をビデオに録画するための接続です（☞31ページ）。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（☞22ページ）。ビデオにS映像出力端子があるときはS映像・音声コード（別売り:YC-810Sなど）でつなぐと、よりきれいな画像を楽しめます。

ビデオを見るには

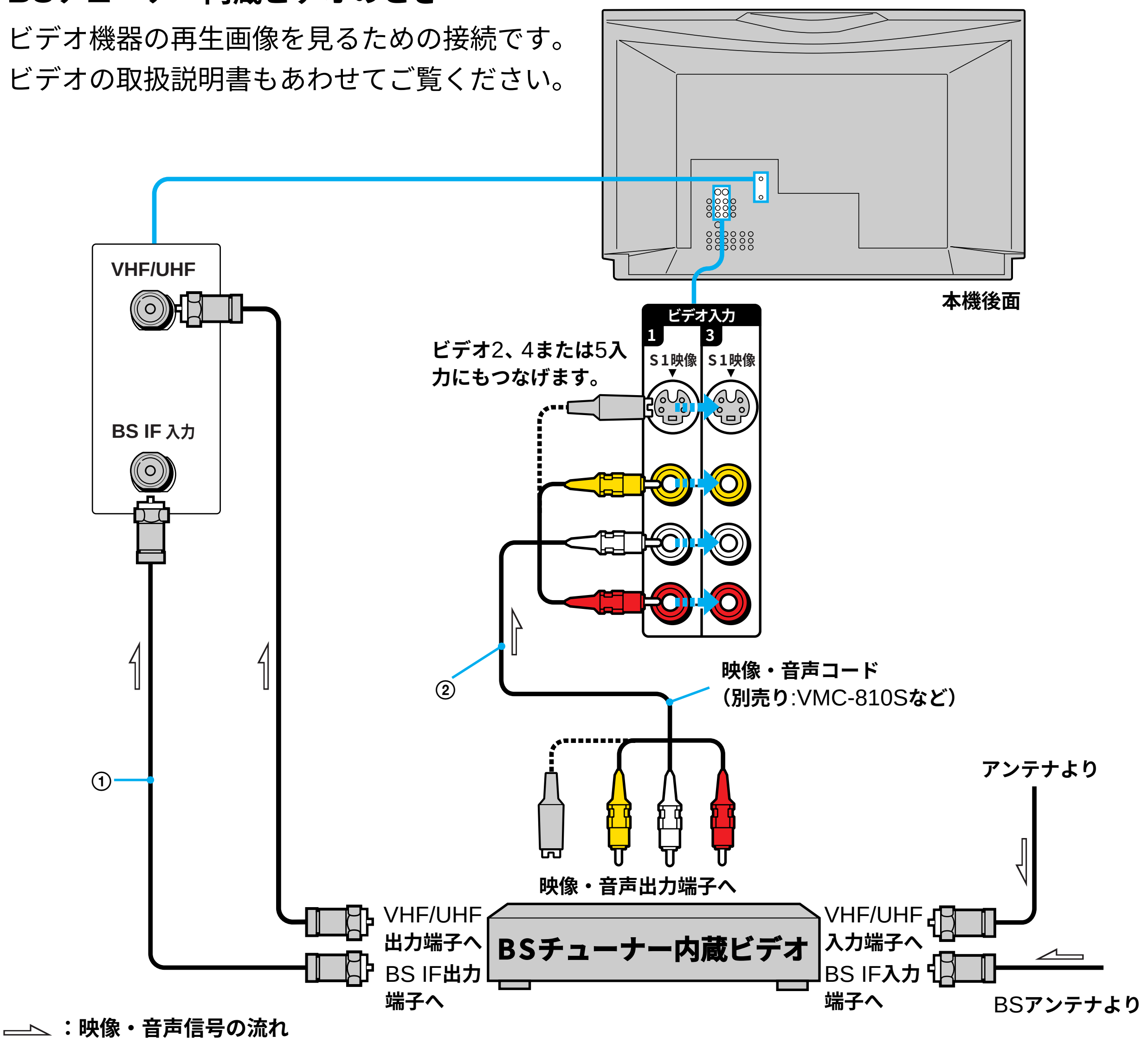
ビデオ1/2/3ボタンを押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞22ページをご覧ください。

ご注意

- BS放送を録画するときは、BS固定をしてください（☞31ページ）。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
  BS固定をしないと、ビデオ1入力端子につないで、ビデオ1入力に切り換えたときには、画像も音声も出ません。ビデオ2～5入力端子のときは、画像が乱れることがあります。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2～5入力端子につないでください。ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されないためです。

BSチューナー内蔵ビデオのとき

ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



①本機とビデオの両方のBSチューナーを使うときの接続です。ビデオ内蔵のBSチューナーでBS放送を裏録画しながら、本機内蔵のBSチューナーで他のBS放送を見ることができます。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（☞22ページ）。ビデオにS映像出力端子があるときはS映像・音声コード（別売り:YC-810Sなど）でつなぐと、よりきれいな画像を楽しめます。

ビデオを見るには

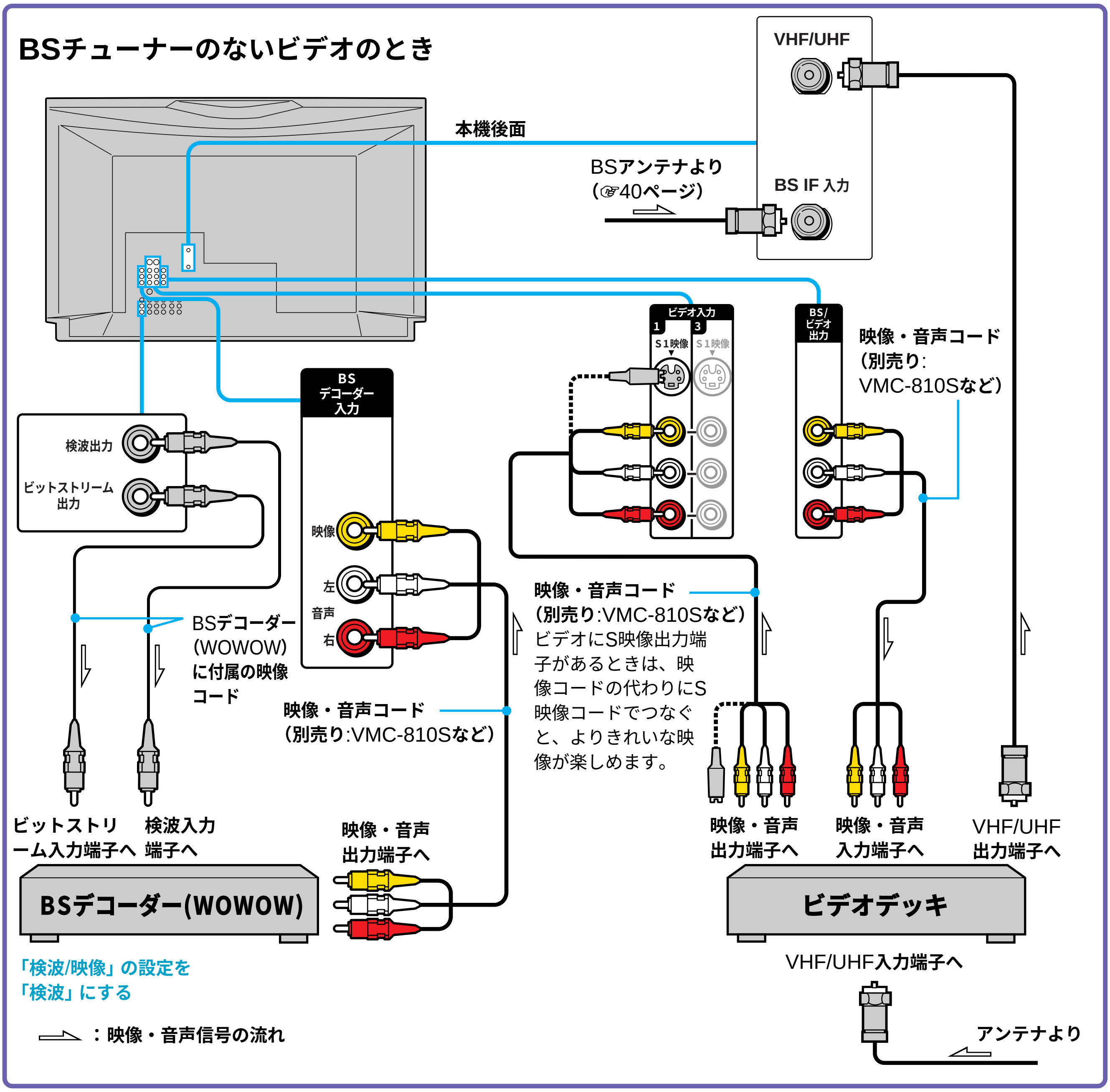
ビデオ1/2/3ボタンまたはビデオ4/5ボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ入力(「ビデオ1」～「ビデオ5」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞22ページをご覧ください。

ご注意
テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2～5入力端子につないでください。ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されないためです。

BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ

WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。
WOWOWと受信契約をすると送られてくるBSデコーダー（WOWOW）の取扱説明書もあわせてご覧ください。
また、BSデコーダー（WOWOW）とMUSE-NTSCコンバーターの両方をつなぐときは、☞57ページもあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき



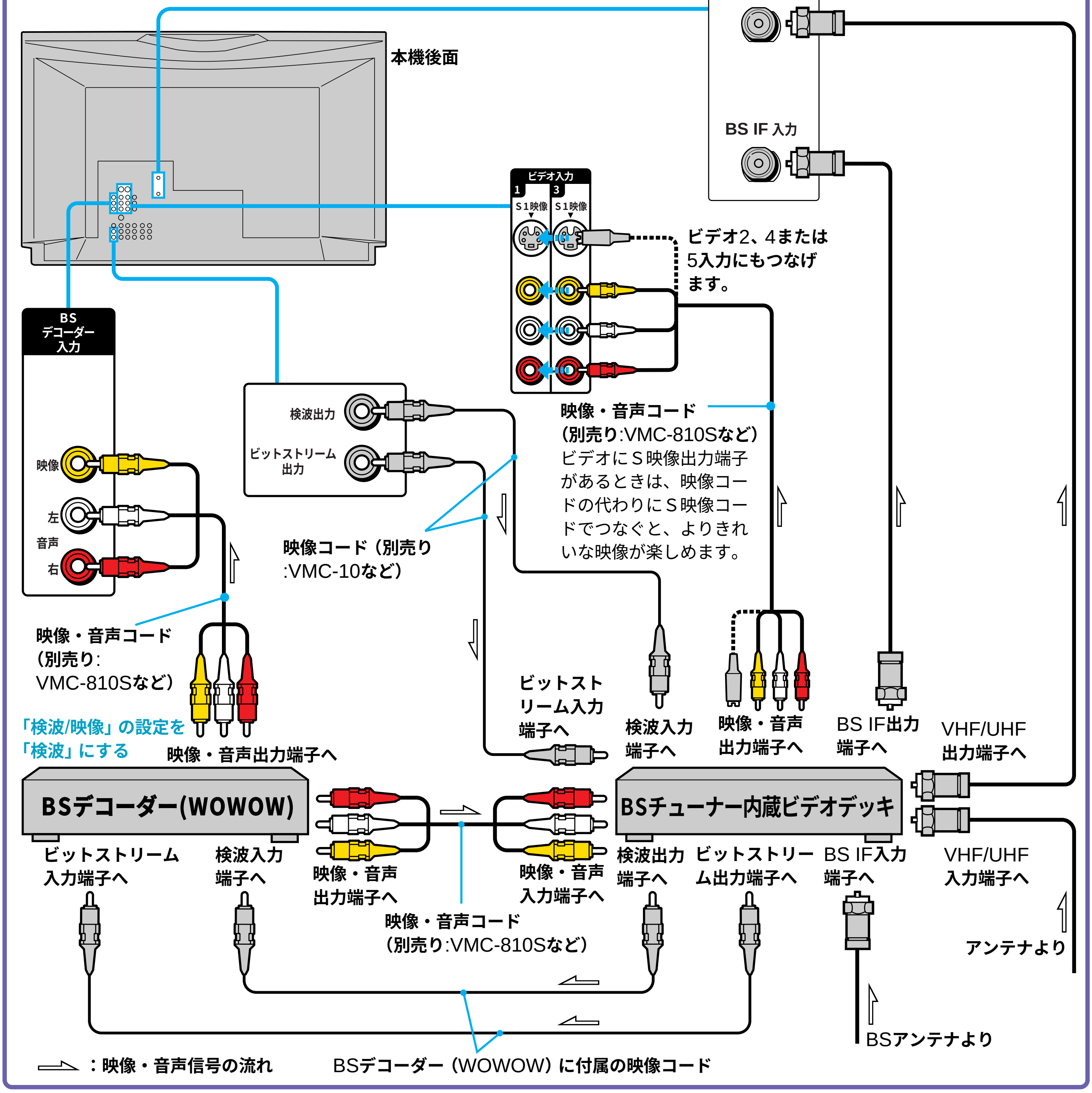
WOWOWを見るには

BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れて、本機リモコンのBS5ボタンを押す。

ご注意

- WOWOWを録画するときは、テレビ側でWOWOWを受信し、録画してください。
  WOWOWも含めたBS放送を録画するときは、BS固定をしてください（☞31ページ）。
  BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
  BS固定をしないと、ビデオ1入力端子につないで、ビデオ1入力に切り換えたときには、画像も音声も出ません。ビデオ2〜5入力端子のときは、画像が乱れることがあります。
- BSデコーダー（WOWOW）は、必ず本機のBSデコーダー入力端子につないでください。BSデコーダー入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（例:BS5）を押しても選局できません。

BSチューナー内蔵ビデオのとき



ご注意

- BSデコーダー（WOWOW）は、必ず本機のBSデコーダー入力端子につないでください。BSデコーダー入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（例:BS5）を押しても選局できません。
- WOWOWを録画するときは、ビデオ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- ソニー以外のBSチューナー内蔵ビデオデッキの中には、上記の接続でWOWOWを録画できないビデオがあります。そのときは、ビデオデッキのメーカーのお客様窓口へご相談ください。

St.GIGAを聞くには

St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約をしないと聞けません。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ♠/♣で「（各種切換）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 ♠/♣で「TV/独立音声」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

4 ♠/♣で「独立」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

スクランブルがかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

WOWOWを見ているときは、「独立」などの音声モードはテレビ画面に表示されません。デコーダー側で切り換えてください。

ちょっと一言

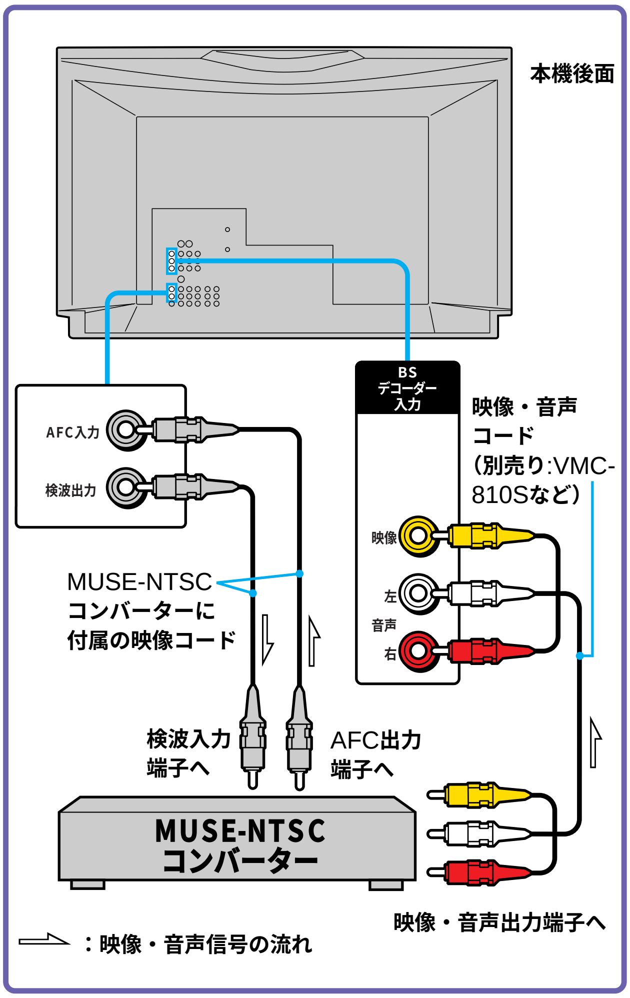
1998年9月現在、St.GIGAはBS5チャンネルでのみ放送されています。

MUSE-NTSC コンバーターをつなぐ

通常のテレビ放送と同等の画質（NTSC）で、ハイビジョン放送を見られます。
MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書も必ずご覧ください。

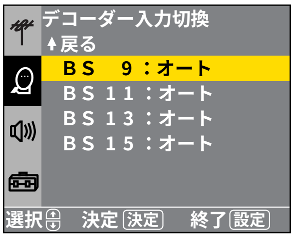
本機リモコンのBS9ボタンでハイビジョン放送を見るには

BSデコーダー（WOWOW）をつながないときは、以下の接続と設定をしてください。本機リモコンのBS9ボタンで、ハイビジョン放送を見ることができます。
MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の両方をつなぐときは、次ページをご覧ください。



設定には本体のボタンを使います。

1. **本機でBS放送を映す。**
2. **設定ボタンを押して、設定メニューを出す。**
3. **選択⇧/⇩ボタンを押して「 (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **選択⇧/⇩ボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **選択⇧/⇩ボタンを押して「BS9」を選び、決定ボタンを押す。**
   「BS9」は、⇩ボタンを押し続けると出てくる画面にあります。



6. **選択⇧/⇩ボタンを押して「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。**
7. **選択⇧/⇩ボタンを押して「BS5」を選び、決定ボタンを押す。**
8. **選択⇧/⇩ボタンを押して「テレビ」を選び、決定ボタンを押す。**
9. **設定ボタンを押して、設定メニューを消す。**
10. **MUSE-NTSCコンバーターで、画面モードを「フル」にする。**
    MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もご覧ください。
11. **本機リモコンのBS9ボタンを押す。**
    ハイビジョン放送が映ります。

ご注意

MUSE-NTSCコンバーターによっては、ハイビジョン放送を見るときにオートワイドが正しく働かないことがあります。このときは、ワイド切換ボタンをくり返し押して、画面モードを選んでください。

ちょっと一言

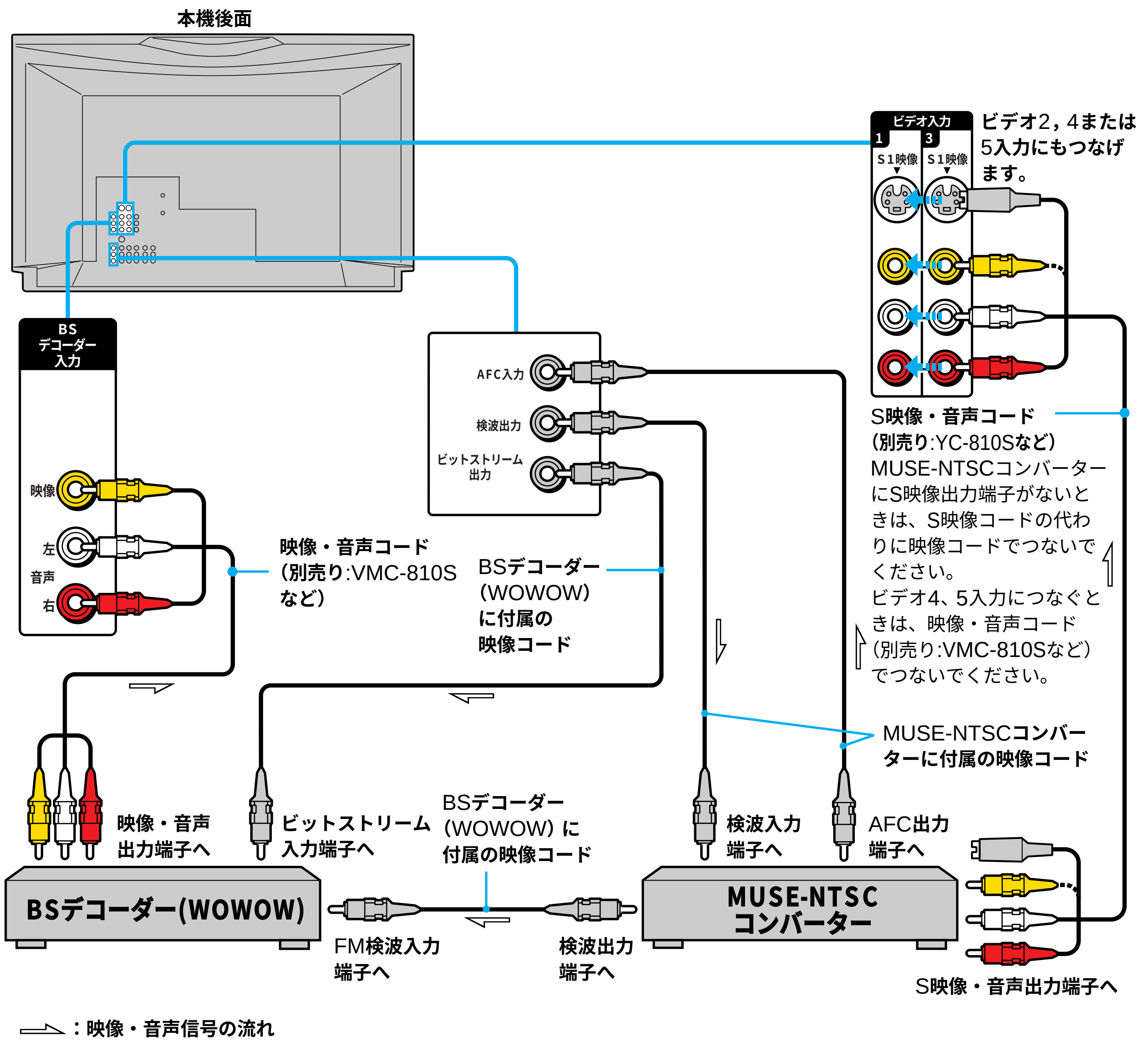
お買い上げ時「デコーダー入力切換」は、すべてのBSチャンネルとも「オート」に設定されています。「オート」にすると、デコーダー入力端子につないだ機器から入るWOWOWなどBS放送のスクランブルを、自動的に判別して映します。

MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の両方をつなぐときは

以下の接続をしてください。また、MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の取扱説明書も必ずご覧ください。

ご注意

この接続では、本機リモコンのBS9ボタンを押しても、ハイビジョン放送は映りません。MUSE-NTSCコンバーターがビデオ入力端子に接続されているためです。



ハイビジョン放送を見るには

1 リモコンのBS9ボタンを押す。

2 MUSE-NTSCコンバーターをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ5」のいずれか）を表示させる（☞22ページ）。

3 MUSE-NTSCコンバーターで、画面モードを「フル」にする。

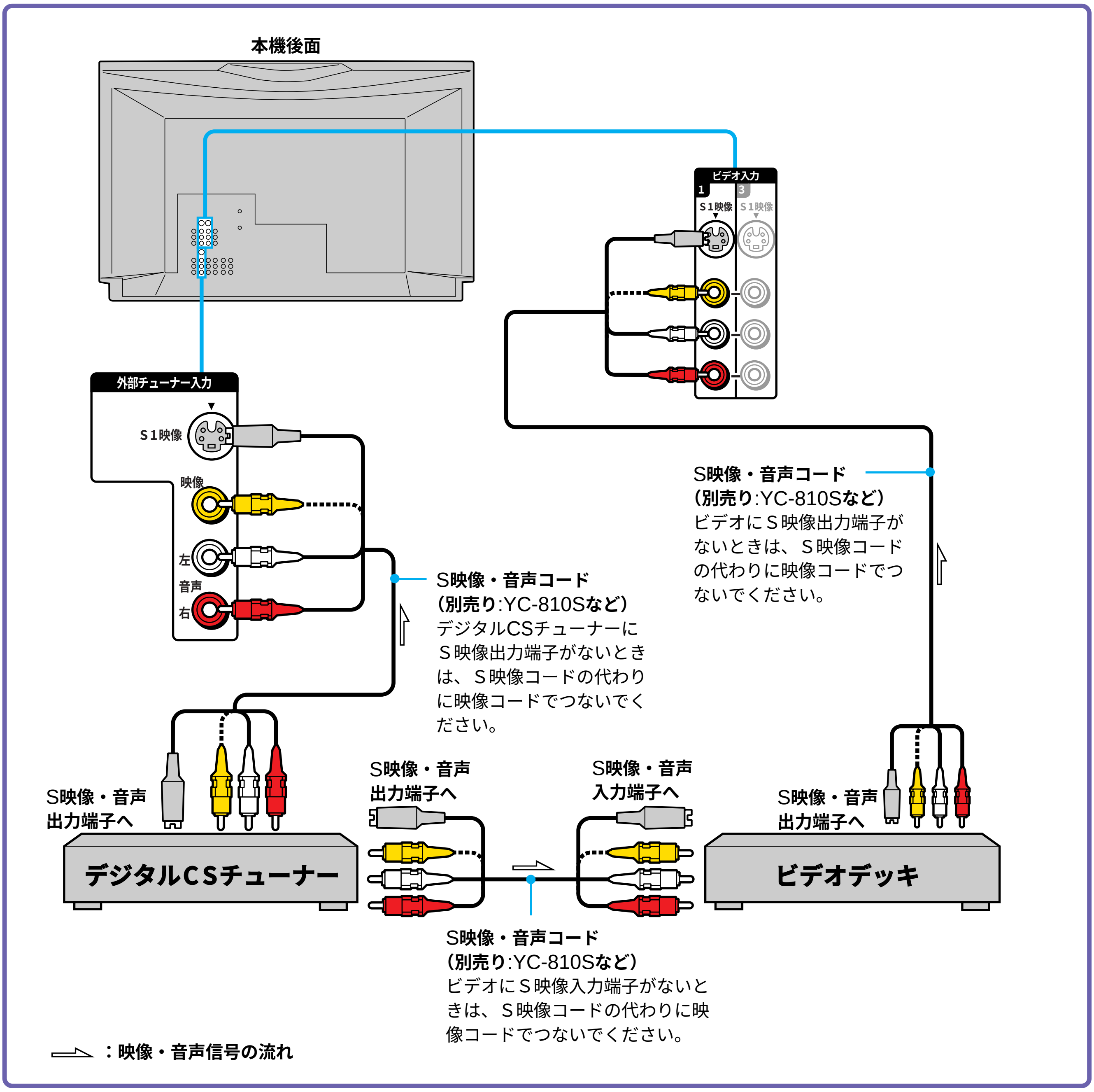
詳しくは、MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

MUSE-NTSCコンバーターによっては、ハイビジョン放送を見るときにオートワイドが正しく働かないことがあります。このときは、ワイド切換ボタンをくり返し押して、画面モードを選んでください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

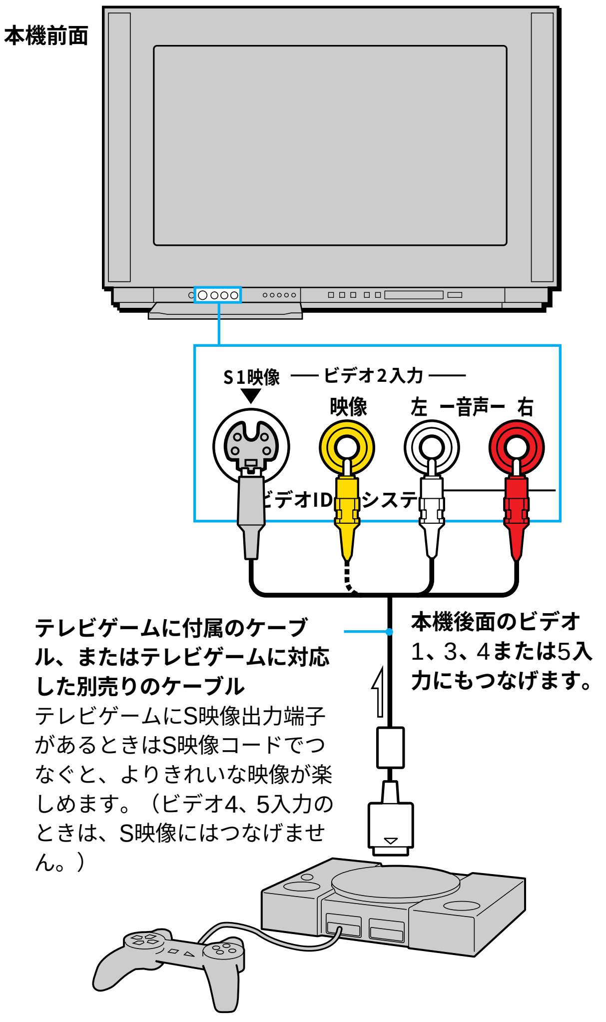


デジタルCS放送を見るには

外部チューナーボタンを押す。
詳しくは、☞22ページをご覧ください。

テレビゲームをつなぐ

テレビゲームの取扱説明書もあわせてご覧ください。



：映像・音声信号の流れ

テレビゲームをするには

ビデオ1/2/3ボタンまたはビデオ4/5ボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ5」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、☞22ページをご覧ください。

ご注意

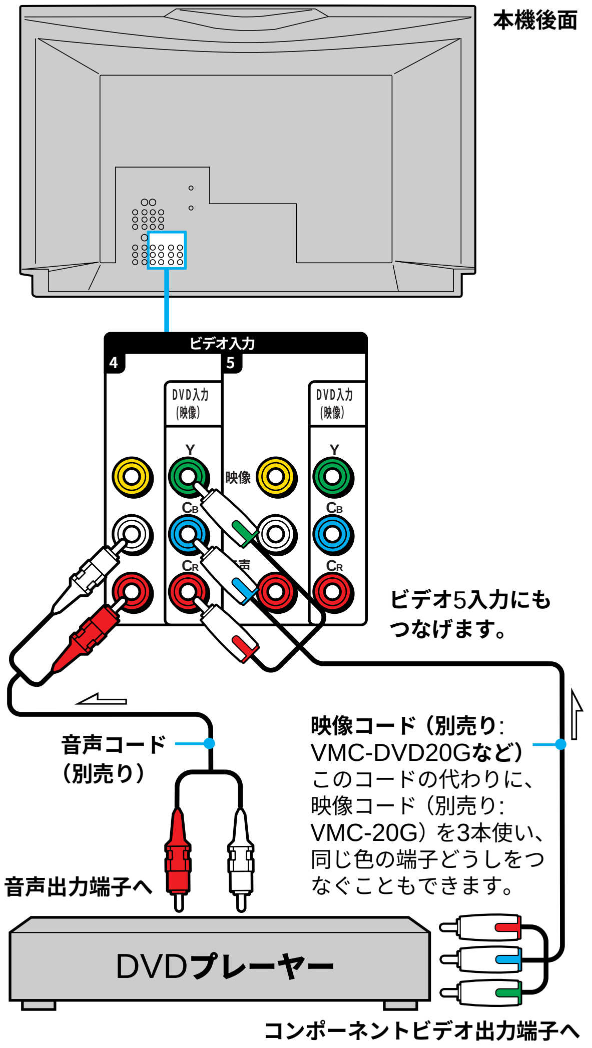
- 電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルについて詳しくは、テレビゲームの取扱説明書をご覧ください。または、テレビゲームのお買い上げ店にご相談ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のビデオ4、5入力のDVD入力（映像）端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。

DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは



DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ映像端子は、メーカーにより色や名前が異なります。右表のようにつないでください。

DVDプレーヤーの映像端子	本機の映像端子
Y端子	Y端子
C_B、B-Y、P_B端子	C_B端子
C_R、R-Y、P_R端子	C_R端子

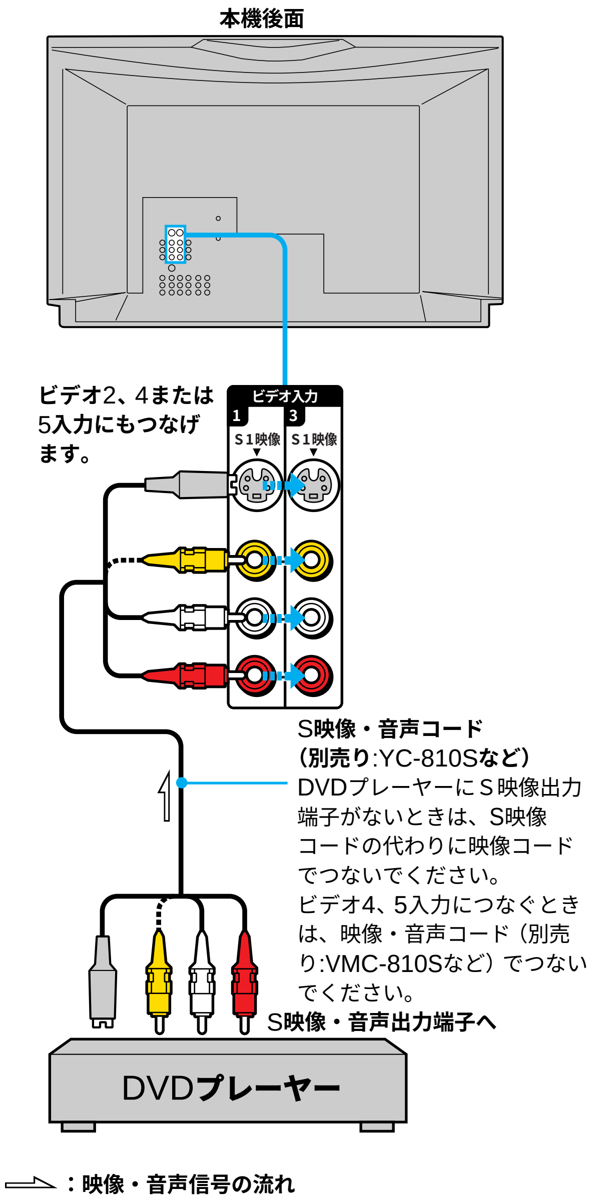
：映像・音声信号の流れ

他機との接続

次のページにつづく

DVDプレーヤーをつなぐ（つづき）

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは



DVDを見るには

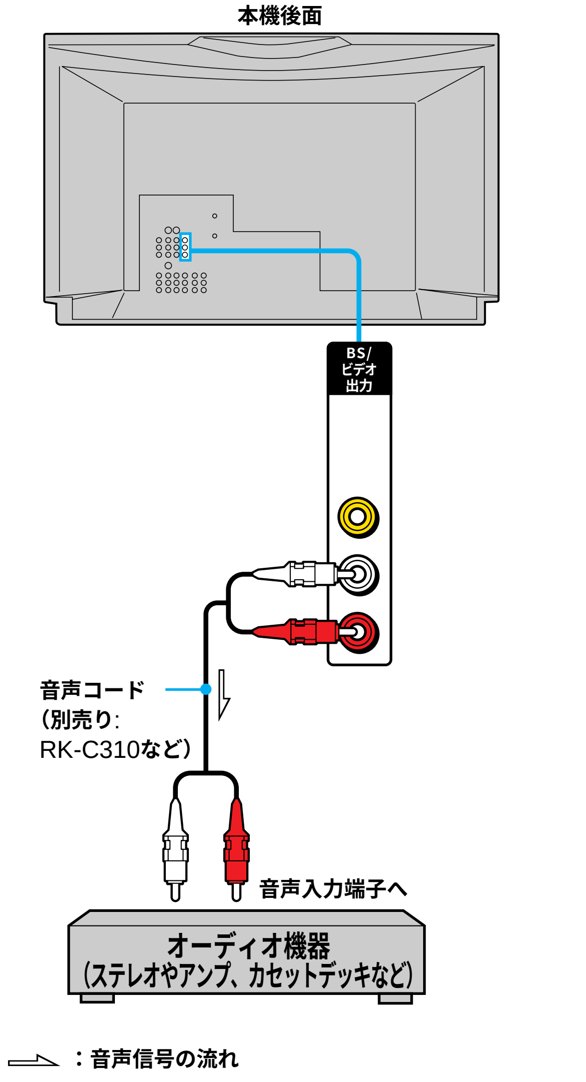
ビデオ1/2/3ボタンまたはビデオ4/5ボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ5」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、☞22ページをご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご注意

ビデオ1入力につないだ機器、およびビデオ4、5入力のDVD入力（映像）端子につないだ機器の音声信号は出力されません。

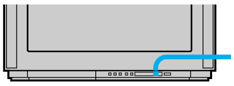
その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

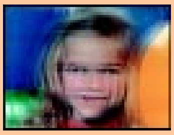
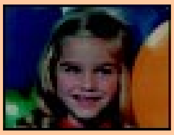
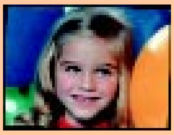


1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2 お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数を知らせてから、テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてください。

次のページにつづく

本機の症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	• 電源コードをしっかりつないでください。 • テレビ本体の電源を入れてください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	• チャンネルを合わせ直してください（☞41ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた(スタンバイ状態になった)。	• テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後（2画面では操作画面、メモでは左画面、インデックス画面では中央画面の放送終了後）、または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 • オフタイマーを設定していませんでしたか?(☞32ページ)
	つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換ボタンを押してください（☞22ページ）。 • S映像入力のときは、メニューの「（各種切換）」で「S映像:入」にしてください（☞51ページ）。
	モジネット画面が映らない/文字番組が呼び出せない/文字番組が正しく取り込めない。	• 時間帯や放送局によっては、モジネットを放送していない場合があります。放送局にモジネットの放送時間を確認してください。 • 放送局の受信状態が悪いときは、文字情報が正しく取り込めないことがあります。受信状態を確認してください。 **引越しやアンテナの設置状況を変更したときなど受信状態が変化したとき** • 以下の設定を行ってみてください。ただし、この設定を行うと、登録していた文字番組は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。 1 テレビ/BS放送のアンテナを正しく接続（☞38ページ）し、テレビ放送のチャンネルを設定（☞41ページ）する。 2 本体の設定ボタンを押して、設定メニューを出す。 3 選択⇧/⇩ボタンで「（初期設定）」を選び、決定ボタンを押す。 4 選択⇧/⇩ボタンで「文字番組登録初期化」を選び、決定ボタンを押す。 5 選択⇧/⇩ボタンで「実行」を選び、決定ボタンを押す。 6 登録番組初期化終了後(約3秒)、設定ボタンを押して終了する。
	字幕が出ない。	• 字幕放送の番組かどうか確認してください（☞21ページ）。
BS放送が映らない／乱れる	**BS放送が映らない/画像が乱れている。（次のページにつづく）**	**マンションなどの共同受信システムの場合** • 設定メニューの「（BS設定）」で「BSアンテナ電源:切」にしてください（☞44ページ）。 • サテライト分波器でVHF/UHFとBSを分けてください(☞39ページ)。 • ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 **BSアンテナを直接つないでいる場合** • 設定メニューの「（BS設定）」で「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください（☞44ページ）。 • BSアンテナ側は防水型のケーブルでつないでください。 • アンテナの大きさが適切かを確認してください。 • アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 • アンテナの方向・角度を調整してください（☞45ページ）。 **複数のBS機器をサテライト分波器でつないでいる場合** • BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。

症状		対処のしかた
BS放送が映らない／乱れる	**BS放送が映らない/画像が乱れている。(つづき)**	**その他** • BSの放送時間を確認してください。 • 雨や雪が降ると、映りが悪くなることがあります。 • BS専用のケーブルを使ってください（☞40ページ）。 • アンテナコネクター(バルーン)を使っていないかを確認してください。 • 設定メニューの「(BS設定)」で「デコーダー入力切換」を確認してください（☞46、56ページ）。 • WOWOWなどのスクランブル放送でないかを確認してください。
	BS放送のチャンネルが切り換わらない。	• BS固定にしていないかを確認してください（☞31ページ）。
きれいに映らない	**画像が二重、三重になる。** 	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください(通常3〜5年、海辺では1〜2年)。
	斑点や点模様が走る。	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けている。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。 	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(☞6ページ)。 • メニューの「(画質/音質)」で画質を調整してください。 • 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります（☞8ページ）。
	画面がまぶしい。	• お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(☞6ページ)。
	画面の一部に色むらがある。	• テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 • テレビをしばらく見た後、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。
	画像が傾いている、上下にかたよっている。 	• 設定メニューの「(初期設定)」で「方角補正　回転」と「方角補正　上下」を調整してください（☞48ページ）。
	縞状のノイズが多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	• ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
音が出ない／雑音が多い	**画像は出るが、音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 • ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 • 設定メニューの「(音声設定)」で「オートステレオ」を「切」にしてください（☞29ページ）。

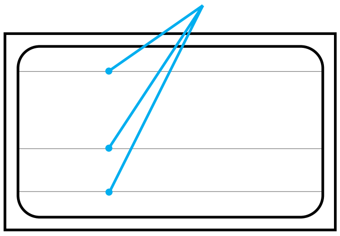
次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
メニューが選べない／表示が消えない	**メニューで選べない項目がある。**	• 暗い灰色で表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
	「BSアンテナ電源を確認してください」の表示が消えない。	• マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください（☞44ページ）。 • BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ワイド画面が切り換わる	**オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。**	• CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断しているためです（☞9ページ）。 • 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞9ページ）。 • オートワイドのときに手動でワイド画面を切り換えていませんか。手動で切り換えても、チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的にワイド画面に切り換わります。手動で切り換えた画面モードで固定したいときは、オートワイドを「切」にしてください（☞25ページ）。
テレビから異音がする	**「ピシッ」というきしみ音が出る。**	• 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	• 地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音で、本機に影響はありません。
	テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする。	• テレビ内部で発生する静電気が原因で、本機に影響はありません。
画面が一瞬光る	**暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。**	• ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • 本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞46ページ）** • 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞46ページ）** • 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 • チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

画面に細い横線が出たら（ダンパーワイヤー）

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は下図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。



ブラウン管表面のお手入れについて

ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナー、または研摩剤の入っていない中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。
表面を傷つけることがあるため、固い布の使用や、から拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も使わないでください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-32DR9, KV-36DR9
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*　KV-32DR9:FDトリニトロン102度偏向32型
KV-36DR9:FDトリニトロン102度偏向36型
* テレビの型（32型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　KV-32DR9:66.2×37.3、76cm対角
KV-36DR9:75.1×42.2、86.1cm対角
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　ウーファー12cm×2、
フルレンジスピーカー
（5×9cm楕円）×2
音声出力　音声実用最大出力（EIAJ準拠）
フルレンジスピーカー 7W×2（1kHz, 10%, 8Ω）
ウーファー 7W×2（100Hz, 10%, 8Ω）

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
ビデオ1、2、3入力端子　S1映像:
4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ
ビデオ4、5入力端子　DVD入力（映像）: ピンジャック
Y:1Vp-p（0.3V負同期付き）
C_B/C_R:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms（最大入力 –12dB）
入力インピーダンス 47kΩ以上
外部チューナー入力端子　S1映像:
4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上

BS/ビデオ出力端子　映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送の最大出力
–12dB時の数値です。
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
検波出力端子　ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子　ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子　映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、標準入力500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
AFC入力端子　ピンジャック、75Ω

電源部・その他

消費電力　KV-32DR9:189W
（リモコン待機時:0.4W「文字メモリー:切」時）
（リモコン待機時:11.3W「文字メモリー:入」時）
KV-36DR9:209W
（リモコン待機時:0.4W「文字メモリー:切」時）
（リモコン待機時:11.3W「文字メモリー:入」時）
年間消費電力量**　KV-32DR9:240kW・h/年
KV-36DR9:265kW・h/年
** 年間消費電力量とは:省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4～5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　KV-32DR9:87.4×56.3×57.2cm
KV-36DR9:95.8×61.3×59.2cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　KV-32DR9:約68.1kg
KV-36DR9:約87.8kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー　RM-J224（1）
乾電池　単3形（2）
アンテナ接続ケーブル（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド　KV-32DR9：
SU-F300P、SU-F300、SU-32V
KV-36DR9：
SU-F300P、SU-F300
ステレオヘッドホン　MDR-AV55
テレビラック固定ベルト
BLT-R10
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。
本機のDRC-MFモード切換ボタンで選べる「DRC4倍密（標準）モード」は、走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にして、1フィールド目で走査線の525本全部（本来の1フレーム分）を1/60秒で描き、次のフィールドは、1フィールド目の間を525本で飛び越し走査します。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

サ行

三次元Y/C**分離回路**

本機で使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間BS放送（WOWOWなど）では、契約者以外は視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、スクランブルを解除する機器（デコーダーなど）が必要です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デジタル・リアリティー・クリエーション:**マルチファンクション**（DRC-MF）

テレビ放送やビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少ないスッキリとした画像になり、水平方向の密度も2倍にします。また、映像によって、走査線1050本で飛び越し走査する「DRC4倍密（標準）モード」と、525本で順次走査する「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。

デジタルCS**放送**

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

独立音声放送

民間BS放送（St. GIGAなど）の中には、1つのチャンネルで映像の音声とは別に、音声だけの放送が行われている場合があります。これが独立音声放送です。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

ビットストリーム

BS放送で送られてくる電波のデジタル信号（音声とデータ）です。データ信号は、文字放送などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。
本機のDRC-MFモード切換ボタンで選べる「DRCプログレッシブモード」は、走査線525本の順次走査を行い、静止画の文字やグラフィック、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた映像にします。

マ行

モジネット

文字やイラストで構成されたテレビ番組。モジネットを受信するには、モジネットをデコード（解読）する機能が必要です。
本機はモジネットを手軽に楽しむことができます。

数字・アルファベット順

BS**デコーダー**（WOWOW）

WOWOWなど民間BS放送の電波にかかったスクランブルを解除する機器です。

ID-1**方式（ビデオ**ID-1**システム）**

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～5入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

MUSE-NTSC（M-N）**コンバーター**

MUSE方式のハイビジョン放送を現行の放送方式（NTSC）に変換するための機器です。画質は現行の放送方式（NTSC）と同等になります。

NTSC**方式**

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

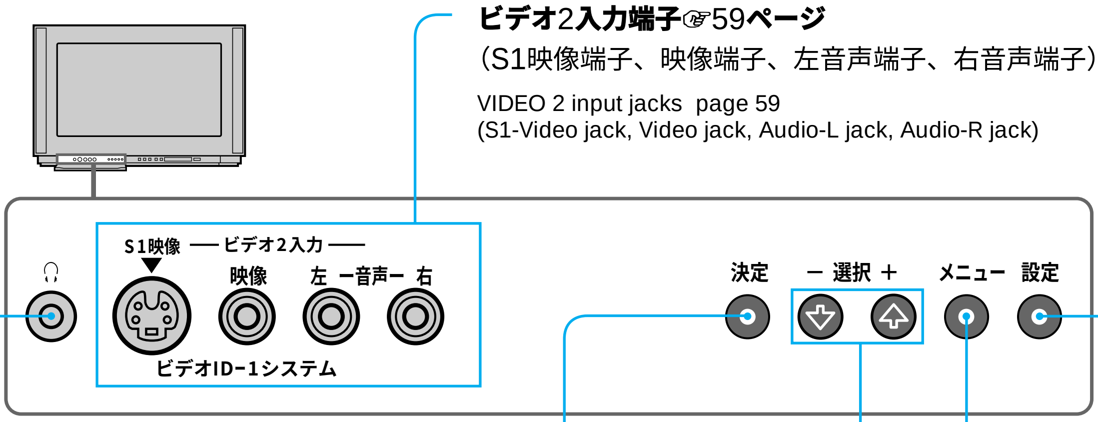
S1**方式**（S1**映像**）

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。
本機はS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前/
Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel

ビデオ2入力端子☞59ページ
（S1映像端子、映像端子、左音声端子、右音声端子）
VIDEO 2 input jacks page 59
(S1-Video jack, Video jack, Audio-L jack, Audio-R jack)



ヘッドホン端子☞13ページ
Headphones jack page 13

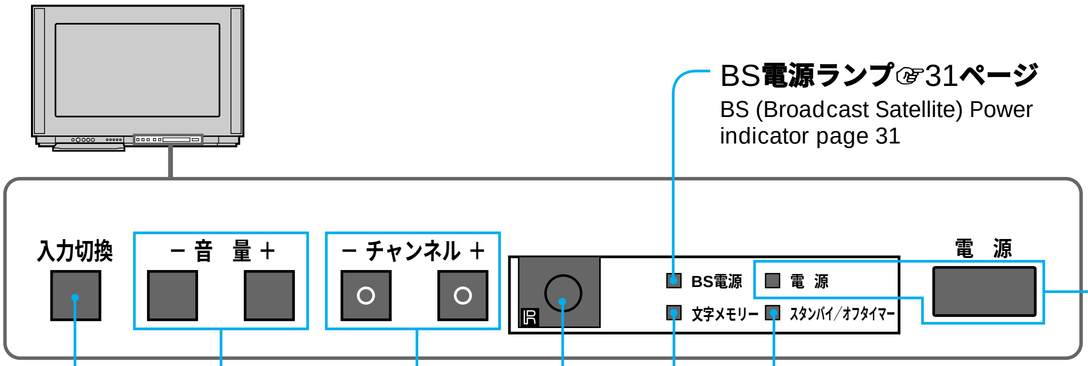
決定ボタン☞41ページ
Enter button page 41

メニューボタン☞25ページ
Menu button page 25

選択⇧/⇩ボタン☞41ページ
Select ⇧/⇩ buttons page 41

設定ボタン☞41ページ
Preset button page 41

BS電源ランプ☞31ページ
BS (Broadcast Satellite) Power indicator page 31



音量＋/ーボタン ☞5ページ
Volume +/– buttons page 5

リモコン受光部
Remote Control sensor

スタンバイ/オフタイマーランプ☞5、61ページ
Standby/Off Timer indicator pages 5, 61

入力切換ボタン ☞22ページ
Input Select button page 22

チャンネル＋/ーボタン☞5ページ
Channel +/– buttons page 5

文字メモリーランプ ☞16ページ
Text Memory indicator page 16

電源スイッチ/ランプ ☞5ページ
Power switch/indicator page 5

リモコン/Remote Control

画面表示ボタン☞4ページ
Display button page 4

消音ボタン☞4ページ
Mute button page 4

字幕ボタン☞21ページ
Subtitle button page 21

DRC-MFモード切換ボタン☞7ページ
DRC-MF Mode Selection button page 7

お好み画質ボタン☞6ページ
Favorite Picture button page 6

メニューボタン☞25ページ
Menu button page 25

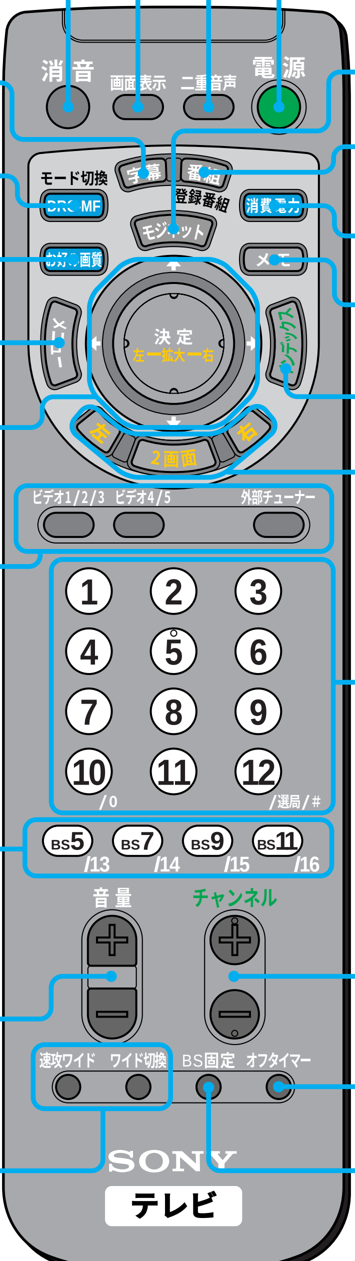
↑/↓/←/→/決定/左拡大/右拡大☞11、25ページ
↑/↓/←/→/Select/Left Enlarge/Right Enlarge pages 11, 25

入力切換ボタン☞22ページ
ビデオ1/2/3ボタン
ビデオ4/5ボタン
外部チューナーボタン
Input Select buttons page 22
Video 1/2/3 button
Video 4/5 button
External Tuner button

BSチャンネルボタン☞5、31ページ
BS (Broadcast Satellite) Channel buttons pages 5, 31

音量+/−ボタン☞5ページ
Volume +/– buttons page 5

ワイド画面操作部☞10ページ
Wide Mode Select buttons page 10



二重音声ボタン☞29ページ
Audio Mode (Bilingual) button page 29

電源スイッチ☞5ページ
Power switch page 5

モジネットボタン☞16ページ
Teletext button page 16

登録番組（番組）ボタン☞19ページ
Registered Program button page 19

消費電力ボタン☞8ページ
Power Saving button page 8

メモ☞15ページ
Memo button page 15

インデックスボタン☞14ページ
Index button page 14

2画面/左/右ボタン☞11、12ページ
Picture-and-Picture/Left/Right Picture Operation buttons pages 11、12

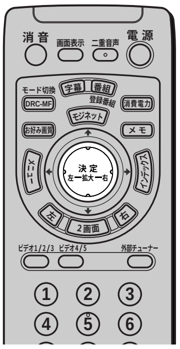
チャンネル数字ボタン☞5ページ
Channel Number buttons page 5

チャンネル+/−ボタン☞5ページ
Channel +/– buttons page 5

オフタイマーボタン☞32ページ
Off Timer button page 32

BS固定ボタン☞31ページ
BS Recording button page 31

↑/↓/←/→の使いかた

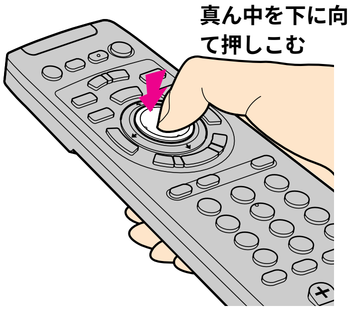


選択するには

移動させたい方向の
矢印の部分を押す

決定するには

真ん中を下に向け
て押しこむ



その他

メニュー一覧

リモコンの メニュー を押すと出るメニュー

画質/音質
(☞ 26ページ)

画質 / 音質
戻る
DRC－MF：
　DRC4倍密・標準
お好み画質：リビング
画質調整
音質調整
選択 / 決定　終了 メニュー

画質調整 (☞ 26ページ)

リビング　画質調整
戻る
ピクチャー
明るさ
色の濃さ
色あい
シャープネス
　標準
選択 / 決定　終了 メニュー

画質調整
AVプロ
シャープネス
NR：　入
VM：　弱
色温度：　高
Hホワイト：切
黒補正：　弱
　標準
選択 / 決定　終了 メニュー

音質調整 (☞ 28ページ)

音質調整
戻る
高音
低音
バランス
　標準
選択 / 決定　終了 メニュー

画面モード
(☞ 25、30ページ)

画面モード
戻る
オートワイド設定
ワイドズーム
・ズーム
・字幕入
・フル
・ノーマル
選択 / 決定　終了 メニュー

画面モード
ワイドズーム
・ズーム
・字幕入
・フル
・ノーマル
画面位置　上下：　0
縦サイズ：　0
選択 / 決定　終了 メニュー

オートワイド設定
(☞ 25ページ)

オートワイド設定
戻る
オートワイド：　2
4：3映像：
　ワイドズーム
選択 / 決定　終了 メニュー

2画面 (☞ 11ページ)

2画面
戻る
2画面：　入
操作入替：　左操作
左拡大／右拡大
ヘッドホンモード：1
選択 / 決定　終了 メニュー

文字 (☞ 16ページ)

文字
戻る
番組番号入力：　切
ページ送り：　自動
字幕放送：　手動
文字メモリー：　入
選択 / 決定　終了 メニュー

タイマー (☞33ページ)

タイマー
戻る
オフタイマー：切
BS固定：　切
時刻設定
時刻表示：　切
選択 / 決定　終了 メニュー

時刻設定 (☞ 33ページ)

時刻設定
戻る
－－：－－－
取消
選択 / 決定　終了 メニュー

各種切換 (☞ 51、55ページ)

各種切換
戻る
消費電力：　標準
二重音声：　主
画面表示：　入
TV／独立音声：　TV
S映像：　入
選択 / 決定　終了 メニュー

本体の 設定 を押すと出るメニュー

テレビ設定
(☞ 41ページ)

テレビ設定
戻る
自動チャンネル設定：入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　UHF
選局：　ダイレクト
選択　決定 決定　終了 設定

チャンネル設定変更
(☞ 42ページ)

チャンネル設定変更
戻る　CH
1：　1
2：　2
3：　3
4：　4
5：　42
6：　6
選択　決定 決定　終了 設定

チャンネル表示書換
(☞ 43ページ)

チャンネル表示書換
戻る　CH　表示
7：　7　7
8：　8　8
9：　16　16
10：　10　10
11：　42　42
12：　12　12
選択　決定 決定　終了 設定

BS設定
(☞ 44ページ)

BS設定
戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
BSアンテナ電源：
　オート
選択　決定 決定　終了 設定

アンテナレベル
(☞ 45ページ)

アンテナレベル
戻る
ビープ音：切
選択　決定 決定　終了 設定
BSアンテナ電源　オート
00　00

デコーダー入力切換
(☞ 56ページ)

デコーダー入力切換
戻る
BS　9：オート
BS 11：オート
BS 13：オート
BS 15：オート
選択　決定 決定　終了 設定

音声設定
(☞ 29ページ)

音声設定
戻る
オートステレオ：　入
選択　決定 決定　終了 設定

初期設定
(☞ 19、48ページ)

初期設定
戻る
文字番組登録初期化：
　実行
文字番組番号ケタ数：
　3ケタ
方角補正　回転：　0
方角補正　上下：　0
選択　決定 決定　終了 設定

- メニューは↑/↓/←/→で選び、真ん中を押しこむかまたは→で決定します。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 灰色で表示される部分は選べません。

索引

五十音順

あ行

インデックス 14
衛星放送 .... BS参照
オートワイド 9
　切る 25
　設定する 25
お好み画質 6
オフタイマー 32
音質調整 28

か行

各部の名前 68
画質調整 26
画像の傾き補正 48
画面上下位置調整 30
ケーブルテレビ 42
ゲーム 59

さ行

時刻表示 33
自己診断表示 61
字幕入 9
字幕放送 21
主音声 29
消音 4
消費電力 8
ズーム 9
接続する
　オーディオ機器 60
　端子の名前とはたらき 49
　デジタルCSチューナー 58
　テレビ（VHF/UHF）アンテナ 38
　テレビゲーム 59
　早わかり 36
　ビデオ機器 51
　BSアンテナ 40
　BSデコーダー（WOWOW） 54
　DVDプレーヤー 59
　MUSE-NTSCコンバーター 56
設定する
　選局方法 46
　チャンネル 41
　デコーダー入力切り換え .... 46、56
　S映像切り換え 51
節電 8
速攻ワイド 10

た行

ダイレクト選局 46
縦サイズ調整 30
チャンネル合わせ（設定） 41
　自動設定 41
　手動設定 42
　ダイレクト選局 46
　10キー選局 46
チャンネル表示書き換え 43
調整
　音質調整 28
　画質調整 26
　ワイド画面 9
　BSアンテナレベル 45
デジタル・リアリティー・
　クリエーション:マルチファンクション
　（DRC-MF） 7
デジタルCS放送 58
テレビ（VHF/UHF）アンテナの接続 ... 38
テレビゲーム 59
独立音声放送（St.GIGA） 55

な行

二重音声 29
入力切換 22
ノーマル 9

は行

ビデオ
　接続する 51
　見る 22
副音声 29
付属品 35
フル 9
ヘッドホンモード 13

ま行

メニュー一覧 70
メモ 15
モジネット 16
文字放送 16

ら行

リモコン
　各部の名前 69
　電池を入れる 35

わ行

ワイド切換 10
ワイドズーム 9

数字・アルファベット順

数字

2画面 11
10キー選局 46

アルファベット

BS（衛星放送）
　裏録画する 31
　設定する 44
　見る 5
　予約録画 31
　録画のための接続 52
　BS固定 31
BSアンテナ 40
　アンテナレベルを調整する 45
　接続する 40
BSアンテナ電源 44
BSデコーダー（WOWOW） 54
CATV 42
DRC-MF 7
DVDプレーヤー 59
MUSE-NTSCコンバーター 56
S映像切り換え 51
St.GIGA 55
VHF/UHFアンテナ 38
VHF/UHFのチャンネル設定 41
WOWOW 54

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

➡

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Printed in Japan

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。